大学向け
クラウドソリューションカタログ
２０１９

大学ICT推進協議会
クラウド部会

本カタログの収録対象

本カタログに収録するソリューションの範囲は以下の通り規定しています。

（1）パブリッククラウドサービス系

・IaaS、PaaS、SaaS

・パブリッククラウド運用支援製品・サービス

（2）プライベートクラウドサービス系

・プライベートクラウド構築関連製品、サービス

・プライベートクラウド運用関連製品、サービス

・データセンタサービス

「大学向けクラウドソリューションカタログ２０１９」の発行に寄せて

大学 ICT 推進協議会　クラウド部会

主査　西村　浩二（広島大学）

　クラウドサービスを利用することは、我々の日々の活動では当たり前のこととなりつつあります。大学 ICT 推進協議会クラウド部会にご参加いただいている賛助会員様のご協力により、今年度も本カタログを発行できる運びとなりました。昨年度から冊子体による提供は目次および一覧のみとし、サービス情報は電子データでの提供とさせていただいたことにより、より多くのサービスを掲載できるようになっております。
日頃から本部会の運営へのご助言やご協力、情報提供をいただいております賛助会員の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後ともお引き立てのほど、よろしくお願いいたします。

　さて本カタログでは、クラウドサービスやソリューションにおける検討事項を同一の尺度で掲載し、比較検討の材料としていただくことを目的としております。これらは、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）クラウドセキュリティの認証審査における根拠資料として活用できることが確認されております。国立情報学研究所の学認クラウド導入支援サービス（https://cloud.gakunin.jp）で公開されている「スタートアップガイド」や「チェックリスト」と合わせてご活用いただければ幸いです。

　クラウド部会では、年次大会における企画セッションの開催のほか、北海道大学や広島大学で開催される関連シンポジウムをはじめとし、クラウド普及活動との連携を推進しております。すでにクラウドを活用されているあるいはクラウドの導入を検討されている正会員様、大学向けにクラウドサービスやソリューションを提案されたい賛助会員様のご参加をお待ちしております。

大学向けクラウドソリューションカタログ２０１９　目次

「大学向けクラウドソリューションカタログ２０１９」の発行に寄せて／
大学 ICT 推進協議会 クラウド部会　主査　西村 浩二　・・・・・・・・・　01

特集：国立情報学研究所のクラウド導入・活用支援サービス「学認クラウド」　・・・・・・　05

1．　教育支援系ソリューション

（1）Prime Learning　大学向けの LMS の e ポートフォリオ／SCSK 株式会社　・・・・・・・・・・　16
（2）Amazon WorkSpaces／Amazon Web Services Inc.　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
（3）Amazon Chime／Amazon Web Services Inc.　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20
（4）オールインワン型 USB ビデオ バー／エイチ・シー・ネットワークス株式会社　・・・・・・・・　22
（5）Cisco WebEx，Cisco TelePresence／シスコシステムズ合同会社　・・・・・・・・・・・・・　24
（6）Cisco Webex Teams，Cisco Webex Board／シスコシステムズ合同会社　・・・・・・・・・・　26

2．研究支援系ソリューション

（1）FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス／富士通株式会社　・・・・・・・・　30
（2）さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス／さくらインターネット株式会社　・・・・・・・　32
（3）さくらのセキュアモバイルコネクト／さくらインターネット株式会社　・・・・・・・・・・・　34
（4）AWS IoT Core／Amazon Web Services Inc.　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　36
（5）AWS RoboMaker／Amazon Web Services Inc.　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　38
（6）Amazon SageMaker／Amazon Web Services Inc.　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　40

3．事務支援系ソリューション

（1）証明書学外発行サービス／株式会社内田洋行　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　44
（2）codemari クラウドサービス／株式会社内田洋行　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　46
（3）FUJITSU 文教ソリューション iLiswave-J 図書館クラウドシリーズ／富士通株式会社　・・・　48
（4）図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス／株式会社リコー　・・・・・・・・・・・　50
（5）RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん／株式会社リコー　・・・・・・・・・　52
（6）RICOH カンタンストレージ活用 for Box/Dropbox/OneDrive for Business／株式会社リコー　54
（7）RICOH カンタンバーコード活用 for Cloud／株式会社リコー　・・・・・・・・・・・・・・　56
（8）DreamCampus for Cloud（ドリームキャンパス）／SCSK 株式会社　・・・・・・・・・・・　58
（9）TWX-21 MRO 集中購買サービス／株式会社日立製作所　・・・・・・・・・・・・・・・・　60

４．情報基盤系ソリューション

（１）VMware Cloud™ on AWS／ヴイエムウェア株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
（２）ＮＥＣ　神奈川ＤＣ-ＳＩＮＥＴ接続サービス／日本電気株式会社 ・・・・・・・・・・・・・ 66
（３）エンタープライズクラウドサービス／株式会社日立製作所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
（４）フェデレーテッドクラウド／株式会社日立製作所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
（５）出前クラウドサービス／株式会社日立製作所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
（６）アマゾン ウェブ サービス(AWS)／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・・ 74
（７）Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)／Amazon Web Services Inc. ・・・・・ 76
（８）Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)／Amazon Web Services Inc. ・・・・・ 78
（９）Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)／Amazon Web Services Inc. ・・・ 80
（10）Amazon Redshift／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
（11）Amazon EMR／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
（12）Amazon Elasticsearch Service／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・ 86
（13）AWS Lambda／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
（14）Amazon DynamoDB／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
（15）Amazon Kinesis／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
（16）Amazon Route 53／Amazon Web Services Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
（17）USiZE（ユーサイズ）／SCSK 株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 96
（18）SINET 接続サービス／さくらインターネット株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
（19）さくらのクラウド／さくらインターネット株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
（20）さくらの VPS／さくらインターネット株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102
（21）さくらの専用サーバ／さくらインターネット株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 104
（22）Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション／シスコシステムズ合同会社 ・・・・・・ 106
（23）Cisco Umbrella／シスコシステムズ合同会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 108
（24）FortiCloud／Fortinet Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110
（25）Amazon Web Service 向けパブリッククラウドセキュリティ／Fortinet Inc. ・・・・・・・ 112
（26）MS Azure 向けパブリッククラウドセキュリティ／Fortinet Inc. ・・・・・・・・・・・・ 114
（27）FortiCWP、FortiCASB／Fortinet Inc. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
（28）WisePoint Shibboleth on CLOUD／ファルコンシステムコンサルティング株式会社 ・・・・ 118

５．その他ソリューション

（１）IT 資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE／株式会社内田洋行 ・・・・・・・・・・・・ 122
（２）ソフトウェア配布提供システム Download Station／株式会社内田洋行 ・・・・・・・・・・ 124
（３）Microsoft Office 学割特別プラン U365／株式会社内田洋行 ・・・・・・・・・・・・・・・ 126
（４）Cisco Unified Computing System(UCS) ／シスコシステムズ合同会社 ・・・・・・・・・・ 128

６．大学向けクラウドソリューション比較表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 130

7．大学におけるクラウド導入事例

（1）学校法人常翔学園／富士通株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 144
（2）VMware Cloud™ on AWS 事例／ヴイエムウェア株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 146
（3）アマゾン ウェブ サービス 大学導入事例／アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 ・・・ 148

8．クラウドプロバイダ紹介

（1）内田洋行株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 152
（2）ヴイエムウェア株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 154
（3）さくらインターネット株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 156

企業別索引 ・・ 158

大学 ICT 推進協議会クラウド部会の歩み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 160

大学 ICT 推進協議会クラウド部会　ご入会のご案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 162

特集

国立情報学研究所の
クラウド導入・活用支援サービス
「学認クラウド」

国立情報学研究所は大学共同利用機関として学術情報基盤の整備、およびその活用基盤の高度化を推進している。そのうちのクラウド導入・活用支援サービスである「学認クラウド」の全体像を紹介頂く。

クラウド導入・活用支援サービス「学認クラウド」

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術基盤課 クラウド支援室

1　はじめに

国立情報学研究所（以下「NII」）では、我が国にクラウドを活用した高度な学術情報基盤を整備することを目的として、大学・研究機関（以下「大学等」）におけるクラウド導入・利活用を支援するための活動を進め、「学認クラウド」[1]として、クラウドの導入から利用までの各段階に対する3つの支援サービス（導入支援サービス、ゲートウェイサービス、オンデマンド構築サービス）を提供しています。

大学等がクラウドサービスを利用する際には、以下の3つの段階に大きく分けることができます。

(1) クラウドの情報収集
　業務の実現にあたりクラウドの導入を選択肢とするための情報収集や調査を行う。

(2) 広い意味でのクラウドの調達
　目的の業務をクラウド導入して実現するかどうかの検討、業務要件の定義、要件を満たすクラウドの調査、調達仕様の検討、クラウド導入に関する機関内承認などを行う。

(3) クラウドの利用
　調達されたクラウドを使って業務を構築し、実運用を行ってクラウドを利用する。

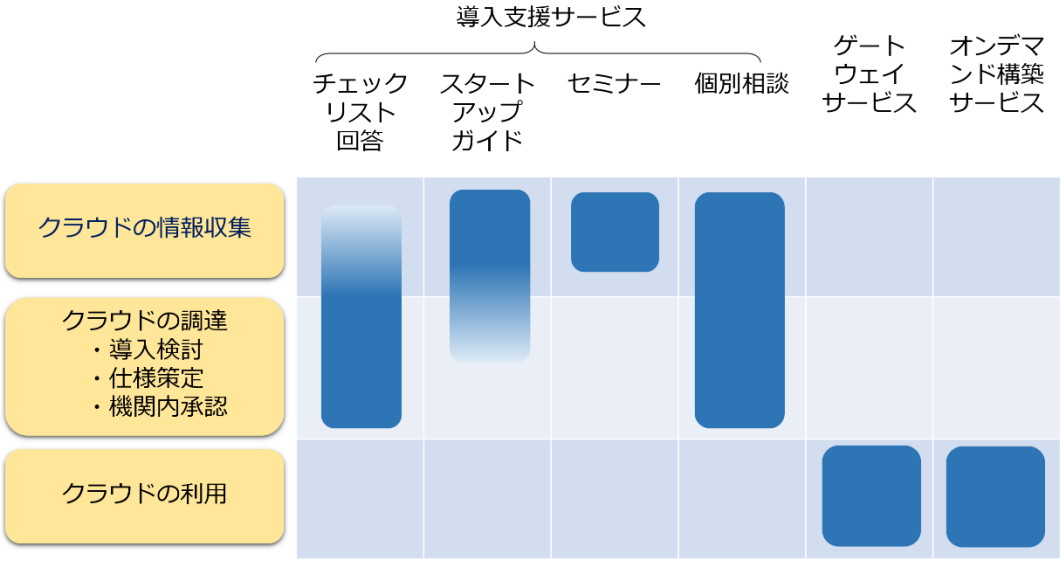


図 1 クラウド利用の各段階と学認クラウドのサービス

図1のように、クラウドの情報収集からクラウドの調達では、学認クラウド導入支援サービス（以下「導入支援サービス」）[2]が利用できます。また、クラウドの利用では、学認クラウドゲートウェイサービス（以下「ゲートウェイサービス」）[3]と学認クラウドオンデマンド構築サービス（以下「オンデマンド構築サービス」）[4]が利用できます。

以降、学認クラウドの3つのサービスについて説明します。

2　学認クラウド導入支援サービス

導入支援サービスは、大学等がクラウドを導入・利用する際の課題解決に役立つ知識・情報の共有・流通を進めるサービスで す。図2にあるように、大学等とクラウド事業者（以下「事業者」）を結ぶ枠組みを作ることにより、クラウド導入の課題を解決し、大学等における仕様策定や比較検討の負担を減らして、ニーズに合うクラウドを調達できるように支援します。その中心となる活動として、大学等がクラウドを導入する場合の着眼点（信頼性、セキュリティ、契約条件等）をまとめたチェックリスト[5]を策定し、事業者による回答に基づくクラウドサービスの検証結果（以下「チェックリスト回答」）を大学等との間で共有しています。

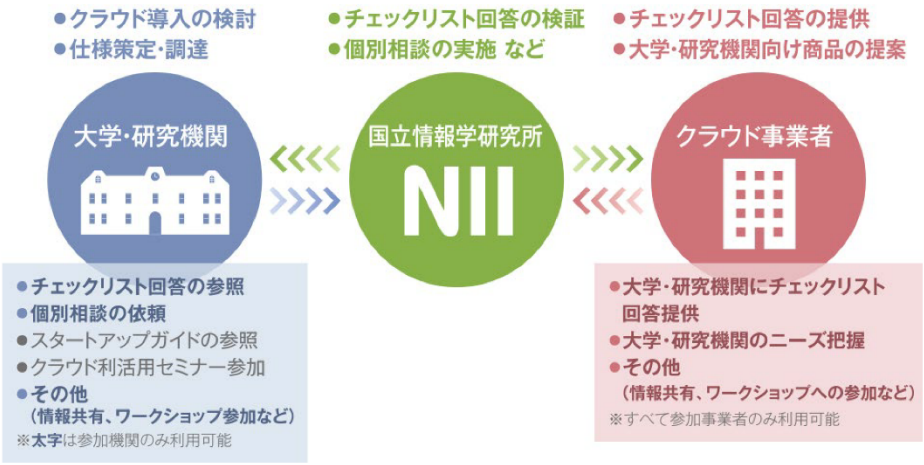


図2 学認クラウド導入支援サービス

導入支援サービスによって提供される知識・情報は、クラウド導入の各局面で以下のように利用することができます。

- クラウドの情報収集段階では、「大学・研究機関のためのクラウドスタートアップガイド」（以下「スタートアップガイド」）[5]や定期的に開催しているクラウド利活用セミナーが参考となります。
- クラウドの情報収集から調達の段階では、チェックリストとチェックリスト回答が有用です。このチェックリスト回答は、クラウドサービスの調査や仕様策定で活用するこ

とができ、クラウド導入にあたっての要件定義でも参考になります。チェックリストの活用にあたっては、スタートアップガイドも参考となります。

- 情報収集から調達までのすべての作業について、必要に応じて大学等に対する個別相談サービスも提供しています。

【導入支援サービスが提供するチェックリスト】

大学等のクラウドサービスの導入・利用における大きな課題として、クラウドを導入する際の仕様策定が困難であることが挙げられます。クラウドの導入にあたっては、技術的な機能要件から、性能・信頼性などの非機能要件、契約条件など多岐に渡る項目を考慮しなければなりません。仕様策定ではこれらの要件・項目について選択基準を明確にし、大学等の業務のニーズに合うサービスを探し出す必要があります。さらに、クラウドサービスは「サービス商品」であることから、契約・SLA（Service Level Agreement）などの手続きや法律の領域に踏み込んだ検討も必要です。

導入支援サービスのチェックリストには、大学等のク ラウド導入で考慮すべき項目が網羅的に含まれていますので、クラウドの情報収集や調達におけるいろいろな局面で活用できます。最新のチェックリスト（Ver. 4.1)の項目は 19 種類のチェック項目（大項目）に分類されています。それぞれの大項目は複数の詳細チェック項目（小項目)を含み、合計で 122 種類の小項目が用意されています。一方で、その網羅性から、実際に利用する場合にはどの項目を重点的にチェックすればよいのか分かりにくいという声も聞かれます。そのような声にこたえるために、NII ではクラウド調達の作業フェーズに合わせた推奨チェック項目やセキュリティに着目した調達仕様を検討する場合の推奨チェック項目をスタートアップガイドで提示しています。また、クラウド上に構築するシステムの用途（ストレージ、LMS など）に合わせた推奨チェック項目も提示しています。

チェックリストの全項目に対して、導入支援サービスにご参加(無料)いただいた事業者の方々に、自社のクラウドサービスにおける提供状況を回答していただいております。NIIは、その回答に対して以下の検証を行った上で、導入支援サービスにご参加(無料)いただいた大学等に、専用のWebサイトから提供しています。

- 記述内容の根拠の確認
- 事業者間・サービス間で用語を統一
- 記述すべき内容や記述の深さを事業者間・サービス間で合わせる

チェックリスト回答の利用方法としては、大学等が求める項目の回答内容をクラウドサービスを選択する際の基準とすることや、大学等が求める要件に対応する項目を抽出し、それらの項目に対する各サービスの回答状況（ほとんどのサービスで実現されている、実現しているサービスは少ない、など）を調べること、その結果を参考としながら調達仕様を検討することなどを想定しています。

導入支援サービスのチェックリストの項目と本クラウドソリューションカタログの記述項目には共通の情報があります。表 1 にチェックリストの項目と、それに対応するクラウ

ドソリューションカタログ項目を示します。なお、表1には含まれていませんが、チェックリストのサービス区分選択はクラウドソリューションカタログのパブリッククラウド分類に相当します。

表 1 導入支援サービスチェックリストVer.4.1項目とクラウドソリューションカタログ項目

項番	大項目	小項目数	クラウドソリューションカタログの項目
A	商品 ／ サービスの概要	4	製品・サービス名称、提供企業名、紹介サイトURL、分類、製品サービスの特長
B	運用実績	2	一般事項
C	契約申込み	12	一般事項、契約、問合先
D	認証関連	3	機能
E	信頼性	6	信頼性、保守・運用
F	サポート関連	5	保守・運用
G	ネットワーク・通信機能	9	信頼性、機能
H	管理機能	12	機能
I	ソフトウェア環境	4	―
J	スケーラビリティ	6	―
K	データセンター	7	契約
L	セキュリティ	10	保守・運用
M	データ管理	11	信頼性、保守・運用
N	バックアップ	6	信頼性
O	クラウド事業者の信頼性	6	一般事項
P	契約条件	6	契約
Q	データの取り扱い	5	―
R	データの引継ぎ	4	―
S	第三者認証	4	保守・運用

実際のクラウドの導入にあたっては、クラウドソリューションカタログ、導入支援サービスチェックリスト、チェックリストに対する事業者回答などのすべての情報を活用して作業を進めてゆくことが有効です。たとえば、クラウドソリューションカタログによって事業者が提供するサービスにはどのようなものがあり、それらの内容やその特徴は何かということを十分把握した上で、導入支援サービスのチェックリストを利用して調達作業を系統的に進め、未確認・未検討項目を残さないようにするといった利用方法が考えられます。

3　学認クラウドゲートウェイサービス

ゲートウェイサービスは、大学等で法人契約済であるなど、その組織の構成員（以下「一般利用者」）が使えるクラウドサービスを一覧表示し、ワンストップで利用したいサービ

スにアクセスできるようにするポータル機能のサービスで、大学等の認証基盤とクラウドの橋渡しを行います。学認参加サービスに対しては、シングルサインオン（一つのID・パスワードであらゆるシステムが利用可能であること）も可能です。

もはや大学等にとって欠かすことのできない存在となっているクラウドですが、当然ながら組織内の教育・研究・事務処理など、多様なニーズに応えるために、複数の事業者が提供している複数のクラウドを一つの組織内で利用することになります。このような状況で一般利用者がサービス毎にアカウントを管理するというのは利便性の点で大きな問題となります。また、大学等の情報基盤センターなど組織内のIT利用を管理する立場の観点では、クラウドには書類の提出等の煩雑な手続きをすることなく利用を開始できるサービスも多数存在するため、いわゆるシャドーITとよばれる組織内の情報管理が行き届かない状況の発生も懸念されます。

このような状況に対応するための方策の一つとして、NIIは「学認（GakuNin）」とよばれる大学等の認証基盤と商用・非商用のオンラインサービスの間のシングルサインオンのための枠組みである学術認証フェデレーション[6]を提供しています。さらに学認の上で提供されるゲートウェイサービスが、組織内での適切なクラウド利用を誘導する手段を提供します。

ゲートウェイサービスの仕組みは難しいものではなく、図3のように、大学等のIdP管理者が利用可能なサービスを学認申請システムやゲートウェイサービスに登録しておき、一般利用者はゲートウェイサービスにサインインするとその登録サービスを一覧・利用できる、といったシンプルなものです。

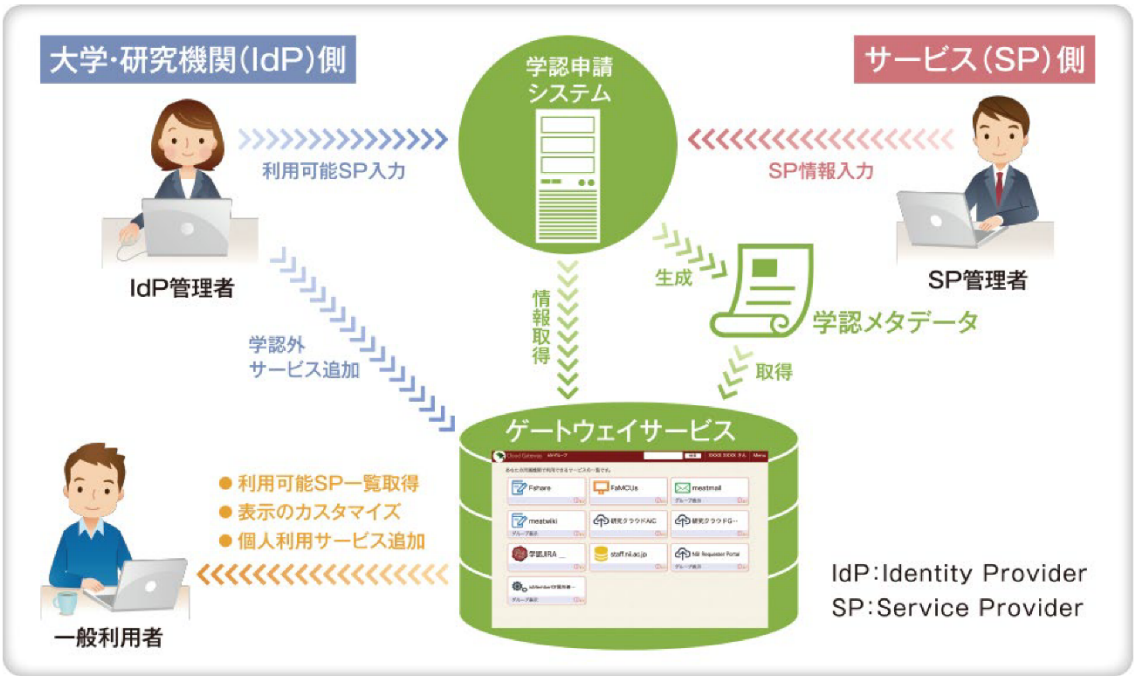


図3　学認クラウドゲートウェイサービス

学認対応のサービスは世の中にたくさんありますが、その中から実際に利用できるのは、自分の大学等が契約しているか、利用を許可しているサービスのみです。この場合、使えないサービスを利用しようとして使えなかったという問題が発生しますが、ゲートウェイサービスを利用するとそのような煩雑さからも解放されます。図4は、ゲートウェイサービスの利用イメージですが、教職員や学生が、学認のアカウントでゲートウェイサービスにサインインすると、大学等が契約しているクラウドサービスや電子ジャーナルなど、自分が利用できるすべてのサービスが一覧で表示されるため、利用できないサービスにアクセスすることがなくなります。また、大学等が契約している以外で自分が契約しているクラウドサービスなどを登録したり、表示の並べ方をカスタマイズすることも可能です。

図4　学認クラウドゲートウェイサービスの利用イメージ

4　学認クラウドオンデマンド構築サービス

オンデマンド構築サービスは、SINET[7] で接続された複数のパブリッククラウドサービスおよびオンプレミスの ICT 資源に対して、あらかじめ用意されたテンプレートに従って、アプリケーション環境を自動構築するサービスです。本サービスの利用によって、クラウド上に再現性の高い（OSやライブラリのバージョン等が同一の）アプリケーション環境を構築することが可能となり、オンデマンドに環境を構築する際の再現性担保の負担を軽減し、安定したアプリケーション環境を構築することができます。

クラウドの利用には多くの利点がありますが、クラウドの計算資源を本格的に利用するには、環境設定や環境再現の難しさ、複数プロバイダの利用や切替えの難しさ、ネットワーク接続設定の難しさなど、いくつかのハードルがあります。オンデマンド構築サービスは、これらのハードルを低減します。図5にあるように、大学等のクラウド環境構築担当者の最小限の操作は、①本サービスにサインイン、②構築したいクラウド環境の内容が記述されているテンプレートの選択、③構築の起動、の3ステップだけです。このような簡単な操作で、図5左の1つの単一クラウド環境から、図5右の複数クラウド環境まで構築できます。

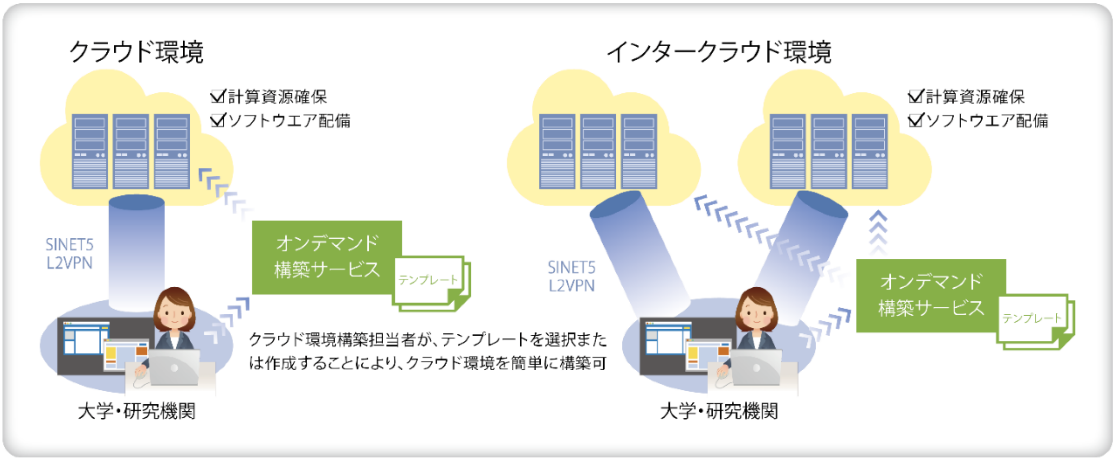


図5　学認クラウドオンデマンド構築サービス

オンデマンド構築サービスはテンプレートにしたがってアプリケーション環境を構築します。このため、初めてのアプリケーション環境を構築するときにはテンプレートの作成が必要です。基本的な計算環境やいくつかの研究・教育用アプリケーションの実行環境の構築テンプレートは、NIIやコミュニティによって開発され提供されています。これをダウンロードし、パラメータを各自の環境に合わせて書き換えて利用することもできます。テンプレート化されているため、変更すべき設定項目は明確です。また、テンプレートにはソフトウェア構築作業の全ての手順が記述されているため環境の再現も正確です。

クラウドプロバイダのユーザインタフェースは、プロバイダによって異なるため、複数のプロバイダの計算資源の利用やプロバイダの変更を行うには、すべてのプロバイダのユーザインタフェースを習得する必要があります。しかし、本サービスはプロバイダのユーザインタフェースの違いを吸収する機能を持っているため、利用機関の担当者は本サービスのユーザインターフェースを習得するだけで複数のクラウドプロバイダに対応できます。複数のクラウドプロバイダの計算資源を確保するには、テンプレートに計算資源のプロバイダ名が異なる計算資源確保指示行をプロバイダ数分記述するだけです。プロバイダを切り替える場合も同様です。

クラウドを安全に利用するにはネットワーク接続設定が重要になります。大学等が希望する接続形態に合わせて、NIIのオンデマンド構築サービス運用担当者が本サービス内の設定を実施します。ただし、大学や研究機関側、クラウド側のネットワーク設定はそれぞれの管理者が行う必要があるため、利用機関の担当者の作業となります。必要に応じ、NIIの本サービス運用担当者が設定項目や設定方法の支援を行います。

図6は本サービスの利用イメージです。クラウド上にソフトウエアの環境を構築する機能を持つ仮想クラウドコントローラーはNIIで動作しています。利用機関でアプリケーション環境を構築したい管理者（クラウド環境構築担当者）が本サービスのポータルにサインインし、テンプレートを選んで実行すると、仮想クラウドコントローラがテンプレートに従ってアプリケーション実行環境をクラウド上に構築します。構築が終了すれば、構築されたアプリケーション環境を利用したい利用者（アプリ利用者）はアプリケーションを利用することができます。

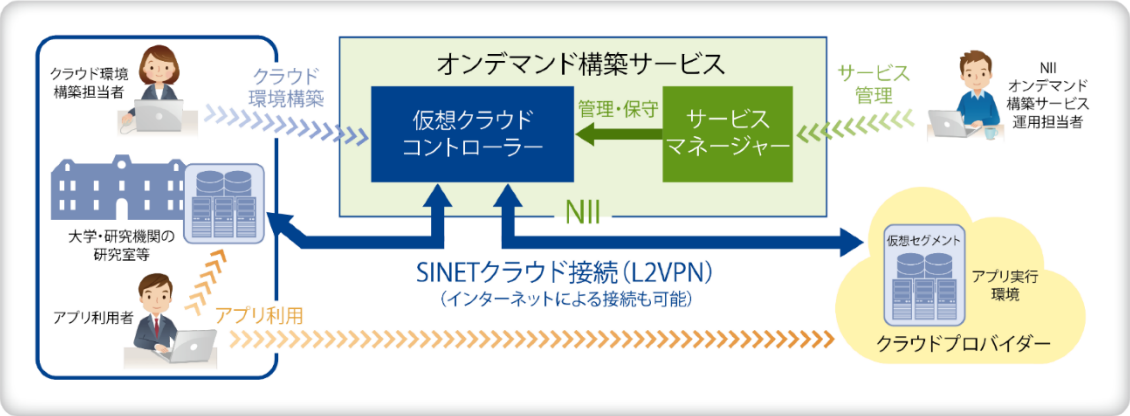


図6　学認クラウドオンデマンド構築サービスの利用イメージ

5　問合せ先

今後も大学等のクラウドの導入・活用に役立てるようサービスの改善に努めてまいりますので、「学認クラウド」についてのご質問やご意見はNIIクラウド支援室までご連絡ください（ https://cloud.gakunin.jp/ ）。

参考情報

[1] 学認クラウド、https://cloud.gakunin.jp/
[2] 学認クラウド導入支援サービス、https://cloud.gakunin.jp/cas/
[3] 学認クラウドゲートウェイサービス、https://cloud.gakunin.jp/cgw/
[4] 学認クラウドオンデマンド構築サービス、https://cloud.gakunin.jp/ocs/
[5] 学認クラウド導入支援サービス チェックリスト、大学・研究機関のためのクラウドスタートアップガイド、https://cloud.gakunin.jp/foracademy/#academy- 02
[6] 学術認証フェデレーション、https://www.gakunin.jp/
[7] SINET クラウド接続サービス、https:// www.sinet.ad.jp

GakuNin Cloud

１．教育支援系ソリューション

製品・サービス名称	**Prime Learning** **大学向けの e ポートフォリオ　プラットフォーム**
提供企業名	SCSK 株式会社
紹介サイト URL	http://edu.scsk.jp/

■製品サービスの特長

e ポートフォリオは、学生の活動や成果を蓄積して整理を行いながら、振り返りを行う仕組みです。

SCSK の考える e ポートフォリオは、このサイクルに組織・個人目標(到達度基準)、評価分析を追加することで、目標に対する成果を振り返り、目指すべき姿の実現をサポートするシステムです。

弊社の e ポートフォリオは、目標、評価分析を追加することで、目標に対して成果を振り返りながら次の学習を計画し、目指すべき姿の実現を手助けするシステムとなっております。

ポイント

・大学様ご要望に対応するセミスクラッチ開発を短期間で構築

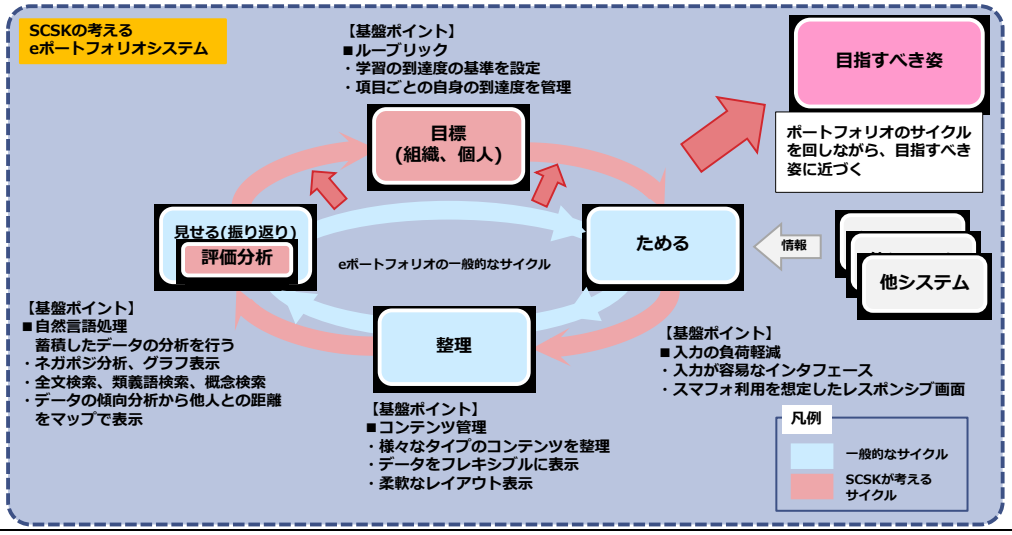
～共通基盤であるプラットフォームの採用により実現～

・様々な角度からの分析を実現

～辞書組み込み機能、自然言語分析機能といった特色ある機能実装～

・ご利用開始後、段階的な機能拡張が容易

～e ポートフォリオ共通基盤による機能拡張が可能な API～



製品・サービス名称	Prime Learning　大学向けの LMS(学習管理システム)の e ポートフォリオ

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	国立大学、公立大学、私立大学にてご利用中
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。
利用条件	【クラウドの場合】お客様のご利用ケースにより別途ご相談 【製品の場合】ユーザー数に制限のないライセンス形態、保守費用・カスタマイズ費用は別途お見積り
支払方法	現金振り込み
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（契約締結）	利用開始までの期間	6 か月～
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・(別途ご相談)
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・(別途ご相談)
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：お客様のご利用ケースにより別途ご相談）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	実績稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	データ暗号化	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	Shibboleth 対応	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間 365 日対応も可能	QA 対応時間帯	別途ご相談
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	同上
計画停止の頻度	有	サービス停止の通知	同上
ログの開示	有・無（保守条件による）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：SCSK 株式会社 部署名：製造システム事業本部 製造システム第三部 担当者・文教サービス課	電話番号：03-5548-5237 FAX 番号：03-5166-1279 Mail：campusinnovations-info@ml.scsk.jp

製品・サービス名称	**Amazon WorkSpaces**
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/workspaces/

■製品サービスの特長

Amazon WorkSpaces

Amazon WorkSpaces はクラウドで動作する、マネージド型仮想デスクトップコンピューティングサービスです。Amazon WorkSpaces を使用することで、クラウドベースのデスクトップを簡単にプロビジョニングでき、ユーザーは Windows や Mac のコンピュータ、Chromebook、iPad、Kindle Fire タブレット、および Android タブレットといったサポート対象デバイスから、必要なドキュメント、アプリケーション、およびリソースにアクセスできるようになります。月単位または時間単位のいずれかで支払うことができるため、従来のデスクトップやオンプレミスの VDI ソリューションに比べて、費用を削減できます。Amazon WorkSpaces では、ハードウェアのインベントリ、OS バージョンとパッチ、仮想デスクトップインフラストラクチャ（VDI）の複雑な管理作業をなくして、デスクトップ提供戦略を簡素化します。Amazon WorkSpaces では、高速で応答性の高いデスクトップをユーザーが選択し、サポートされているデバイスを使用していつでも、どこからでもアクセスできます。

使用しやすい

Amazon WorkSpaces を導入すると、デスクトップコンピューティングインフラストラクチャの管理を省力化できます。先行投資が不要になり、大きくかさばる物理デスクトップ環境や複雑な仮想デスクトップインフラストラクチャ（VDI）ソリューションの保守、更新、管理といった煩わしい作業から解放されるからです。

データを安全に保つ

Amazon WorkSpaces では、各ユーザーが AWS クラウドの永続的ストレージを利用できます。ユーザーが Amazon WorkSpaces を使用してデスクトップにアクセスすると、リモードディスプレイプロトコルによってデータの圧縮、暗号化、およびエンコードが行われ、画像のみが伝送されます。また、Amazon WorkSpaces では、AWS Key Management Service (KMS) との統合によって WorkSpaces ストレージボリュームの暗号化機能が実現しています。

アプリケーションのデプロイと管理

Amazon WorkSpaces Application Manager (Amazon WAM) を使うと、組織で使用する Amazon WorkSpaces 向けデスクトップアプリケーションを迅速、柔軟、かつ安全にパッケージ化、デプロイ、アップデートできます。

選べるハードウェア・ソフトウェア構成

Amazon WorkSpaces では、CPU 性能、メモリ容量、ストレージ容量のさまざまな組み合わせをご用意しており、お客様のご要望に合わせてお選びいただけます。Amazon WorkSpaces は Windows 7 にすでにインストールされているか、あるいは Windows 7 か Windows 10 のデスクトップオペレーティングシステムで起動できます。加えて Amazon WorkSpaces では、一連の基本的なアプリケーションが無料で提供され、Microsoft Office を月額で追加することも選択できます。

多様なデバイスに対応

Amazon WorkSpaces はクラウドに存在するため、ユーザーは Windows や Mac のコンピュータ、Chromebook、iPad、Fire タブレット、および Android タブレットなど、どのサポート対象デバイスからでもデスクトップにアクセスできます。

社内ディレクトリとの統合

Amazon WorkSpaces は、お客様企業の Active Directory とセキュアに統合し、ユーザーが既存の認証情報を使って社内リソースへシームレスにアクセスできるようにします。これにより、お客様が WorkSpaces を現在お使いのシステム管理ツールで管理することも可能になります。

製品・サービス名称	Amazon WorkSpaces

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	実際に使用した分の料金のみの支払いで、バンドルタイプと Amazon WorkSpaces の起動数に基づいて課金されます。お支払い方法には、月額料金または時間料金があります。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Chime
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/chime/

■製品サービスの特長

Amazon Chime でコミュニケーション

Amazon Chime は、セキュアで使いやすい、信頼できるアプリケーションを使ってオンライン会議を変革するコミュニケーションサービスです。Amazon Chime は Android、iOS、Mac、Windows などのさまざまなデバイスでシームレスに使用できるため、いつでも相手と連絡を取り合うことができます。Amazon Chime では組織の内外のユーザーと、オンライン会議、ビデオ会議、電話、チャット、コンテンツの共有を行うことができます。Amazon Chime は Alexa for Business と連携でき、Alexa を使って自分の声で会議を開始できます。Alexa を使って大きな会議室でビデオ会議を開始することも、小さな打ち合わせ室または自分のデスクからオンライン会議に自動的にダイヤルインすることもできます。

信頼のセキュリティ

Amazon Chime は万全のセキュリティを備えているため、安心してコミュニケーションできます。コミュニケーションはすべて AES 256 ビット暗号化を用いて暗号化され、チャット履歴はデバイス上には保存されません。また、会議に参加できるユーザーを制限することもできます。

Microsoft Active Directory を用いて Amazon Chime のユーザーを管理できるため、自社のログインポリシーを適用できます。また、ユーザーは既存の認証情報を使用してログインできます。Amazon Chime はセキュリティを最優先事項とするアマゾン ウェブ サービスの提供するサービスです。

ビデオ会議

Amazon Chime では、タップまたはクリック 1 回だけでビデオ会議の呼び出しを実行できます。デスクトップでは最大 16 名、モバイルデバイスでは最大 8 名でビデオ会議を利用でき、画面にはビデオタイトルが見やすく表示されます。会話に Chime in して、議論に集中できます。高音質の広帯域オーディオと高精細ビデオにより、声を懸命に聴き取る必要はなく、会議に集中できます。電話からも音声参加が可能です。

チャット

Amazon Chime では、組織の内外の人とチャットができます。新着メッセージがあると通知され、自分が送信したメッセージがいつ送信され、配信され、読まれたかを確認できます。チャットは 1 人だけと行うことも、グループで行うこともでき、ファイルの共有は会話に添付するだけで直ちに行えます。チャットは自動的に自分の複数のデバイス間で同期され、チャット履歴を検索することができます。

チャットルーム

Amazon Chime では、チャットルームを作成し、プロジェクトで仕事をする人々を簡単にまとめられます。@Username を指定すれば、会議室の中の適切な人にアラートを送信できます。また、ファイルは単に会話に添付するだけで共有できます。チャットルームはすべてのデバイスで使用可能で、チャット履歴を検索することができます。

開発者は、着信 Webhook を使用して、更新が発生するとすぐに Amazon Chime のチャットルームにメッセージを投稿するようにアプリケーションを設定できます。これにより、Amazon Chime のチャットルームをリアルタイムのチームコラボレーションのセントラルハブにすることができます。こうした場では、参加者は、重要なアプリケーションからのメッセージや互いのメッセージに、より迅速に応答できるようになります。

スマートプレゼンス

Amazon Chime では、スマートプレゼンスを使ってユーザーの状況が示されます。緑は対応可能、赤は多忙を意味します。プレゼンスは手動で設定し、対応不可であることを示すことも、プレゼンスの状況を完全に隠すこともできます。

製品・サービス名称	Amazon Chime		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）		
費用	Amazon Chime Pro 機能に対しては、お客様のユーザーがその機能にアクセスする日だけに 1 ユーザー当たり 1 日 3USD 、1 か月では 15USD の制限付きで課金がされます。また電話でのダイヤルイン、Call me に関しては通話時間に応じて費用が発生します。チャットや会議へ出席をする Amazon Chime Basic の機能は無料です。		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	オールインワン型 USB ビデオ バー
提供企業名	エイチ・シー・ネットワークス(株)
紹介サイト URL	https://www.polycom.com/hd-video-conferencing/room-video-systems/poly-studio-x-series.html#overview

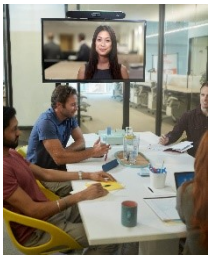
■製品サービスの特長

【遠隔教育に利用可能な最新コミュニケーションソリューション】

多様性ある学習や専門性の高い授業などを実現させる観点から、今後ますます遠隔教育は推進されます。現在の教育現場では、「在宅でありながらひとつ上のレベルの講義を受けたい」、「講師の移動時間が取れない」、「遠隔講義は高価なシステムが必要そう…」、「操作が難しい」など、お客さまからの声が聞こえています。

Poly 社が提供する最新ソリューション「Poly Studio X シリーズ」は、いろいろなコミュニケーションクラウドサービスと共に、適切な場所から優しい操作感で上質な映像音声コミュニケーション環境を提供します。
弊社エイチ・シー・ネットワークスはそれらの導入をご支援します。

■上質な映像音声コミュニケーションを実現するユニークな機能



①４K Ultra HD カメラ（自動話者切り替え、自動フレーミング）
４K 画質対応の高精細カメラで話者や参加者を自動的に切り替えます。

②ノイズブロックやアコースティックフェンス機能によるクリアな音声
周囲から聞こえる環境ノイズや特定範囲外の音をできる限り阻止することで環境騒音が会話を妨げないしくみを提供します。

③Zoom モードの搭載
従来の H.323/SIP 通信に加え、Zoom アプリを搭載し、PC など必要とせずネーティブに Zoom クラウドへ接続が可能です。

■ラインアップは 2 種類

	Poly Studio X30	Poly Studio X50
Zoom モード	○	○
H.323/SIP 対応	○	○
ワイヤレスコンテンツ共有	○	○
内蔵スピーカー	1 個(モノラル)	2 個(ステレオ)
タッチコントローラー(Poly TC8)対応	○	○
モニター接続数	1	2
カメラズーム	4 倍	5 倍
拡張マイク	×	○（1 個）

【X30】研究室や小スペースで 2～4 人程度の講義に最適（集音範囲が 4.5M）

【X50】少し大きめの研究室や中小スペースで 2~8 人程度の講義に最適（集音範囲　7.6M 拡張マイク付）

なお、ハドルルーム向け Polycom Studio、大会議室向け、G7500 シリーズなどさまざまな製品も提案できます。

製品・サービス名称	オールインワン型 USB ビデオ バー　Poly Studio X30・Poly Studio X50

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	契約実績 当該製品は、新製品につき、契約実績なし。当該メーカーの製品実績については、以下の通り。 大学数　（約２０）校　利用大学名（北海道教育大学、筑波大学、福岡歯科大学、慶應義塾大など）
費用	※オープン価格
利用条件	買取、保守（初年度から・センドバック / オンサイト）
支払方法	検収月翌月末までのお振込（支払通貨：日本円）
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（弊社営業）	利用開始までの期間	1~1.5ヶ月程度
約款の有無	有・無（個別契約　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容　　）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他(サービス選択による)	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（Polycom Device Management Service for Enterprise　クラウドポータルによる一元管理）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	原則　平日 9-17（相談可）	QA 対応時間帯	原則　平日 9-17（相談可）
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	（※頻度、時間帯　）	サービス停止の通知	※（例：１ヶ月前に通知）
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO9001、ISMS、P マーク

問合先	企業名：エイチ・シー・ネットワークス株式会社 部署名：製品お問合せ窓口 担当者・	電話番号：03-6381-8856 FAX 番号： URL:https://www.hcnet.co.jp/

製品・サービス名称	Cisco Webex Meetings
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/conferencing/index.html https://www.webex.co.jp/

■製品サービスの特長

■Cisco Webex Meetings

Cisco Webex は簡単な操作で、いつでも、どこでも、誰とでも、遠隔会議を開催できるクラウドサービスです。PC やスマートフォンはもちろんテレビ会議端末、電話など自分が使いたいツールから世界のどこにいても会議に参加をすることができます。
現在、AI 連携を強化しており録画した会議への字幕挿入（現在英語のみ）、リアルタイムの自動翻訳、文字起こし（2020 年春に正式リリース予定）の機能を提供いたします。

また、Cisco Webex デバイス（世界・国内シェア No1）を使って会議に参加をすることで感情、表情、声色を遠く離れた相手に伝えることができます。1 対 1 の会議から学長レベルの重要な会議はもちろん、授業の配信、入試などの面接にも多くご利用を頂いております。

さらにこの度、大学限定の格安プログラム「教育機関向け特別プロモーション 」をご用意させて頂きました。本プログラムをご契約頂けますと教職員、事務員の皆様はいつでも遠隔会議を開催することができ、さらに全学生の皆様には Cisco Webex Teams の有償アカウントを無料で提供致します。

https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/solutions/collaboration/new-webex-ui.html

■利用シーン

- 遠隔地との会議や講義
- 海外の学生との入試面接やオンラインでの大学紹介
- 海外や国内の企業、研究所など遠く離れた外部との会議

■特徴

- 毎月世界で 1,000 万人以上が利用をしている、グローバルスタンダードのクラウド会議サービス
- アプリケーション、Skype for Business、テレビ会議、電話などあらゆる手段で会議に参加をすることができる
- 世界中に展開しているデータセンターを専用線で結び遅延の少ない快適な会議環境を提供
- 物理セキュリティから暗号化、認証、アクセス管理にわたる強固なセキュリティを実現
- 全ての会議に関わる機能をオプションではなく標準機能として提供

製品・サービス名称	Cisco Webex Meetings		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（　4,000　）社：利用企業名（　トヨタ自動車、野村証券、楽天、三菱商事など　） 大学数（　多数　）校：利用大学名（　国立大学法人 東京農工大学、学校法人 慶應義塾大学など　）		
費用	トライアル有り、１ユーザあたりの年間契約、音声オプションあり、会議開催数、会議参加者による料金の変動はありません。詳細は代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【Cisco Webex Meetings】１ライセンス１２ヶ月から使用可能 【Cisco Webex デバイス 】用途や利用人数による豊富な機種からご選択を頂くことができます 保守（販売代理店へお問い合わせください）		
支払方法	年次請求（複数年契約可）、前払、支払方法（代理店経由）、支払通貨は日本円		
販売代理店	有（代理店名：国内代理店 約 100 社）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（　代理店に依る　）	利用開始までの期間	ご発注後約２週間
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（日本とシンガポール）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（　99.99%　）	目標稼働率	有・無・その他（ 100% ）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（ AES128/256 ）	暗号化通信	有・無・その他（ TLS ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	契約体系による
管理ツール	有・無・その他（ 管理サイト有り ）	API 公開	有・無・その他（　　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	24 時間 365 日
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜有り	サービス停止の通知	有（メンテナンス時もサービス利用可能）
ログの開示	有・無（問い合わせにより対応）	第三者認証取得状況	ISO 27001, ISO 27002 SafeHarbor, SSAE-16
問合先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：公共営業 東日本営業本部 文教担当　米谷 昌己		電話番号：03-6434-2278 Mail：cisco-edu-j@cisco.com

製品・サービス名称	**Cisco Webex Teams,** **Cisco Webex Board**
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/solutions/collaboration/spark-edu-promo.html

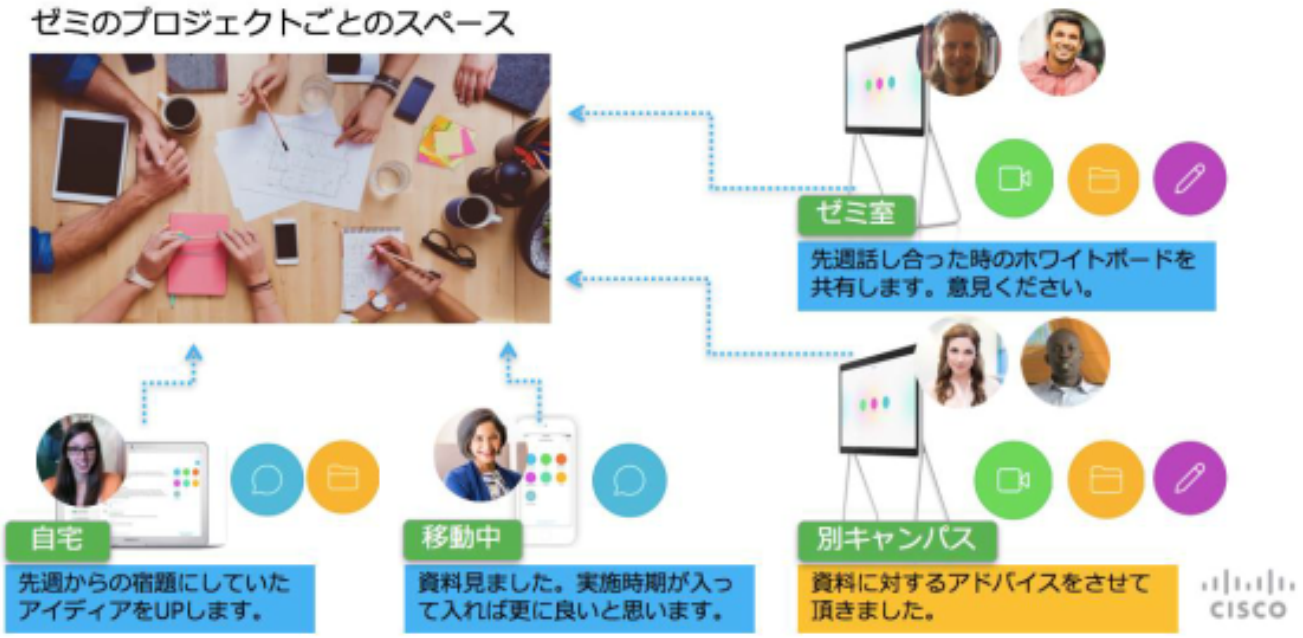
■製品サービスの特長

■Cisco Webex Teams & Cisco Webex Board

Cisco Webex Teams は通話・チャット・資料共有・電子ホワイトボード機能などコミュニケーションに必要な手段全てを一つにまとめたクラウドサービスです。ウェブブラウザや PC、モバイルデバイスを通してメンバーやトピック、プロジェクトごとなどに仮想スペースを作り、同じスペースに入ったメンバーとのメッセージの送受信やファイルの共有、ビデオ通話等を通して、離れていても繋がることが出来ます。

Cisco Webex Board はワイヤレスプレゼンテーション機能、デジタルホワイトボード機能およびビデオ会議が可能なチームコラボレーションデバイスです。また Cisco Webex Teams と組み合わせる事で、チームで行う共同作業を更にアシストします。

また、全職員様にご契約頂くことで全ての学生の皆様に Cisco Webex Teams 有償アカウントを無料で提供および Webex Board を特別価格で提供させて頂く「教育機関向け特別プロモーション」もご提供しております。



■利用シーン

- ゼミごとやプロジェクトごとに仮想スペースを作り、メッセージや資料の共有を行う
- 学生同士、学生と教員との連絡を仮想スペースで行う
- 仮想スペースに参加しているメンバーとのビデオコミュニケーション、画面共有会議開催が可能
- 仮想スペースに学外のユーザーを含めることも出来るため、外部講師や特別講師を含めたコミュニケーションも可能

■特徴

- End to End で暗号化がされているため、セキュリティも安心
- ユーザー管理、学内ユーザーの検索から必要なユーザーを必要なスペースに参加させることが可能
- スペース内で最大 200 名人までのビデオコミュニケーションが可能、録画にも対応
- 21 カ国の言語に対応

製品・サービス名称	Cisco Webex Teams, Cisco Webex Board		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（数 100）社：利用企業名（　鹿島建設様、サツドラホールディングス様　他） 大学数（数 10）校：利用大学名（　玉川聖学院様、東洋大学様　他　）		
費用	Cisco Webex Teams　1 ユーザあたり/年額払い、無償版あり Cisco Webex Board 端末代＋月額使用料プランを基本に他プランあり Cisco Webex Teams および Webex Board を格安でご購入頂ける「教育機関向け特別プロモーション」あり。 詳細は代理店までお問い合わせ下さい。		
利用条件	1 ライセンス 1 カ月から 60 か月まで契約可能（60 か月以上は要相談）		
支払方法	※年次請求（複数年契約可）、前払、支払方法（代理店経由）、支払通貨は日本円		
販売代理店	無・有（代理店名：国内代理店約 40 社　）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（代理店に依る）	利用開始までの期間	ご発注後約 2 週間
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（ 北米 ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（ 東京地方裁判所）
■信頼性			
SLA	有・無（　）		
実績稼働率	有・無・その他（ 99.99% ）	目標稼働率	有・無・その他（ 100% ）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　）
データ暗号化	有・無・その他（ AES256 ）	暗号化通信	有・無・その他（ TLS ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	契約体系による
管理ツール	有・無・その他（ 管理サイト有り ）	API 公開	有・無・その他（　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	24 時間 365 日
コンタクト方法	電話・メール・その他	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	適宜	サービス停止の通知	有
ログの開示	有・無（ 問い合わせにより対応 ）	第三者認証取得状況	なし
問合先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：公共事業 東日本営業本部 文教担当　米谷 昌己		電話番号：03-6434-2278 Mail：cisco-edu-j@cisco.com

２．研究支援系ソリューション

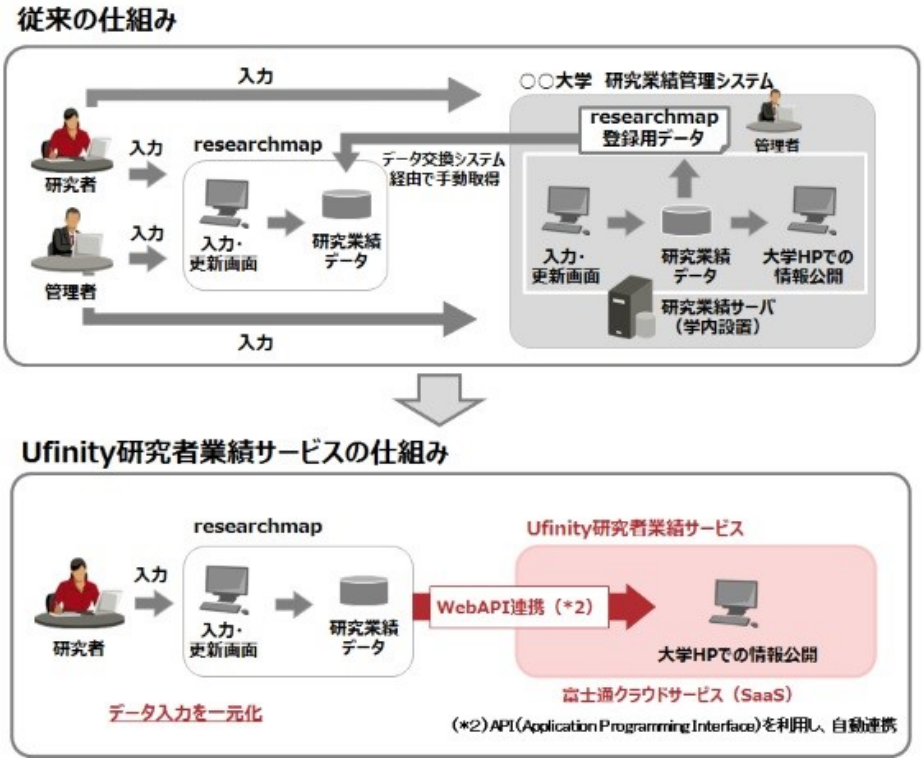
製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス
提供企業名	富士通株式会社
紹介サイト URL	http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/campus/management/research/

■製品サービスの特長

【製品の概要】

「Ufinity 研究者業績サービス」は、「researchmap」（注）に登録されている研究者の業績情報を活用した、大学ごとに研究者の研究業績が公開可能な SaaS 型サービスです。

本サービスにより、大学は、独自の研究者業績データベースの構築や運用が不要になります。



（注）国立情報学研究所が開発し、独立行政法人科学技術振興機構が運営する、26 万件におよぶ研究者の研究業績情報が登録された国内最大のデータベース。

【製品の特長】

■ **富士通データセンターでサーバ管理する安全・安心な SaaS サービスです**

- データベースは researchmap を活用。**独自にデータベースを用意する必要なく、**すぐにサービスを開始することができます。
- サーバ等のシステムは当社データセンターにて一元管理し、防犯・防災などのセキュリティ対策や日々のデータバックアップも万全です。大学様毎にサーバを購入する必要がありません。

■ **日本最大の研究者情報データベース「researchmap」を活用**

- データは既に researchmap に用意されていますので、すぐにサービスを利用できます。 独自のデータベースのように情報更新のつど、同期を取る必要はありません。

■ **大学専用の閲覧サイトをご用意します**

- 大学様に合わせた学部、学科、研究分野別など多様な検索ページ・一覧表示設定が可能です。デザイン、レイアウトも大学様に合わせブラウザ上で自由に変更できるように複数パターンご用意しております。

NetCommons®2 系（国立情報学研究所 情報・システム研究機構が研究開発しているオープンソースソフトウエア）をベースとした CMS(コンテンツマネジメントシステム）機能で、容易に編集・公開が可能です。

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（　）社：利用企業名（　　） 大学数（ 9）校：利用大学名（　　）
費用	トライアル：無、課金体系：定額制、割引プラン：なし
利用条件	利用対象：ｒｅｓｅａｒｃｈｍａｐに登録している大学及び研究機関
支払方法	月次または年次請求の後払、支払方法：振込、支払通貨：円
販売代理店	無、有（代理店名：富士通パートナー各社　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（契約書）	利用開始までの期間	別途ご相談
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（対象外）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定（対象外）
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	Web サイト	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	月２回　夜間	サービス停止の通知	３ヶ月前に通知
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	情報セキュリティ認証 P マーク

問合先	企業名：富士通株式会社 部署名：富士通コンタクトライン(総合窓口) 担当者：	電話番号：0120-933-200 FAX 番号： Mail：

製品・サービス名称	さくらのレンタルサーバ　リセール向けサービス
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ne.jp/

■製品サービスの特長

さくらのレンタルサーバ http://www.sakura.ne.jp/

豊富な Web サーバ機能	CMS の標準機能（WordPress、XOOPS 等） マルチドメイン対応 アクセスログの保有・解析機能を提供
メールサーバ機能	Web メールを標準提供 POP before SMTP を利用可能 POP3 / APOP / IMAP4 対応
充実したセキュリティ機能	WAF の標準提供 ウイルスチェック機能の標準提供 Web 改ざん検知機能の提供（オプション） OS やアプリのバージョンアップを弊社が管理
安定した運用・稼動	99.95%以上の稼動実績 DISK の二重化 日次バックアップの取得

さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス

数多くの研究室に存在するサーバを本サービスで集約することにより、情報システム部門の管理者様の運用負荷を軽減することができます。

事業者様向けコントロールパネル	多数のエンドユーザアカウントの管理を簡便に管理できる機能をご提供。 ■アカウント管理機能 ： アカウント一覧確認、登録、削除 / アカウント一括登録 ■サーバモニタリング機能 ： サーバリソース（ CPU / メモリ）のモニタリング / アクティビティ / アカウント収容数 ■お知らせ ： メンテナンス・障害情報通知 / 監視情報 ■管理用ユーザ ： ユーザ追加・削除 / 特権変更 ■コントロールパネル管理機能 ： コントロールパネル編集
エンドユーザ向けコントロールパネルのカスタマイズ機能	事業者様ブランドとしてご提供をいただくにあたり、エンドユーザ向けコントロールパネルのカスタマイズ環境をご提供。
レンタルサーバ機能	さくらのレンタルサーバ(ビジネス)の機能をベースにご提供をいたします。また、アカウントのディスク容量変更もご相談いただけます。
サポート体制	多数のアカウント管理のため、事業者様にはスムーズなサポート体制をご提供。

製品・サービス名称	さくらのレンタルサーバ　リセール向けサービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ご利用件数 40 万件突破） 大学数（非公開）校：利用大学名（　　）
費用	サーバ単位でのご契約となります。 280 アカウント収容サーバの場合、初期費用 15 万円、月額 14 万円となります。
利用条件	ご利用拘束期間は 12 ヶ月間となります。
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払いとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店一覧：http://partner.sakura.ad.jp/partners.html）

■契約

申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	５営業日
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（99.99%以上）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（SSL　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

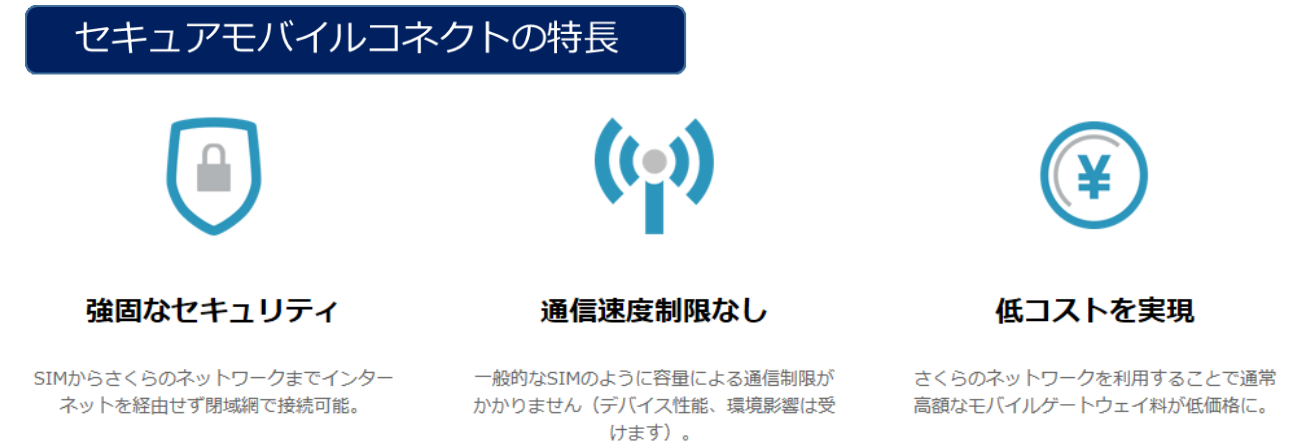
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 9:45～18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等

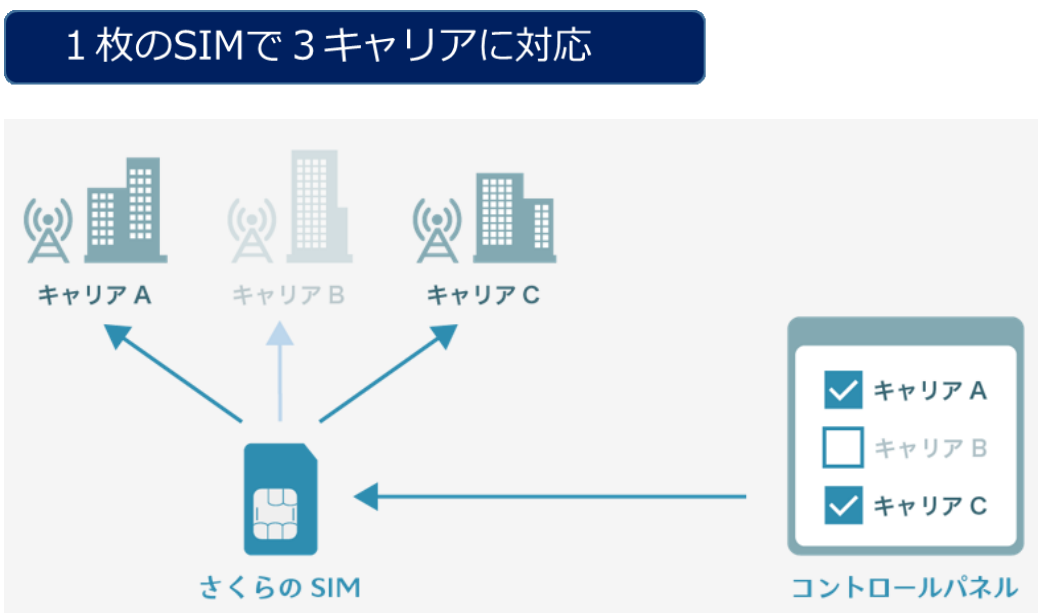
問合先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail：edu-ml@sakura.ad.jp

製品・サービス名称	さくらのセキュアモバイルコネクト
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ad.jp/services/sim/

■製品サービスの特長

さくらのセキュアモバイルコネクトは、高セキュアな閉域型ネットワークを提供する IoT 向けプラットフォームです。ネットワーク通信速度制限を設けず、非常に安価で快適な通信を実現しました。





お客様の SIM から当社データセンタへ送信したデータは、「さくらのクラウド」をはじめとする当社インターネットインフラサービス、さらにお客様の既存ネットワークへの連携ができます。

製品・サービス名称	さくらのセキュアモバイルコネクト

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照　http://case.sakura.ad.jp/case/） 大学数（非公開）校
費用	SIM 本体価格 ¥2,200/枚、SIM 基本利用料 ¥13/枚/月、その他モバイルゲートウェイ利用料、通信料が必要
利用条件	ご利用拘束期間はございません。
支払方法	当社の他のサービスと同時のご請求、お支払いとなります。 お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店一覧：http://partner.sakura.ad.jp/partners.html）

■契約

申込み方法	申込み書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即日
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開　　）	目標稼働率	有・無・その他（非公開　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（Active ＆ Standby）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 9：45-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等

問合先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail：edu-ml@sakura.ad.jp

製品・サービス名称	**AWS IoT Core**
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/iot-core/

■製品サービスの特長

AWS IoT Core

AWS IoT Core は、インターネットに接続されたデバイスから、クラウドアプリケーションやその他のデバイスに簡単かつ安全に通信するためのマネージドクラウドプラットフォームです。IoT プラットフォームを使用すると、さまざまな場所の接続されたさまざまなデバイスに、安全な通信、データの処理とルーティング、デバイス管理を提供することができ、産業用ソリューションやコネクテッドホームソリューションなどの IoT アプリケーションを簡単に構築できます。AWS IoT Core のような IoT プラットフォームでは、AWS IoT Analytics などのサービスに接続することで、分析モデルや機械学習モデルを構築することもできます。

AWS IoT Core では数十億個のデバイスと数兆件のメッセージをサポートしており、それらのメッセージを AWS エンドポイントや他のデバイスに確実かつセキュアに処理してルーティングします。AWS IoT Core を使用すれば、アプリケーションがインターネットに接続されていない場合でも、すべてのデバイスを常に追跡して通信できます。

エッジやクラウドベースの各種サービスとの統合

AWS IoT Core は、AWS IoT エッジベースのソフトウェアおよびクラウドベースの各種サービスと統合できます。Amazon FreeRTOS や AWS Greengrass など、エッジベースのソフトウェアによって、デバイスに安全に接続し、エッジにあるデータに基づいてアクションを起こすことができます。AWS IoT Device Management や AWS IoT Device Defender のようなクラウドベースのサービスによって、デバイスを追加し、デバイスフリートのセキュリティを管理することができます。AWS IoT Analytics を使えば、IoT データに対する分析を実行し、IoT アプリケーションと機械学習ユースケースについてよりよい決定を下すためのインサイトを得ることが可能です。

デバイスの接続と管理

AWS IoT Core ではデバイスをクラウドや他のデバイスに簡単に接続できます。AWS IoT Core では、断続的な接続を許容し、デバイスのコードフットプリントを削減し、必要なネットワーク帯域幅を削減するよう特別に設計された HTTP、WebSocket、MQTT といった軽量の通信プロトコルをサポートしています。また、AWS IoT Core では他の業界標準およびカスタムプロトコルをサポートしており、別のプロトコルを使用しているデバイス間でも相互に通信できます。

デバイスの状態をいつでも読み取って設定

AWS IoT Core では、いつでも読み取りや設定を行えるよう、接続されたデバイスの最新の状態が保存され、アプリケーションにはデバイスが常にオンラインであるかのように表示されます。つまり、接続が切断された場合でもアプリケーションでデバイスの状態を読み取ることができ、デバイスが再接続された時にデバイスの状態を設定して実装することができます。

データ収集・処理・分析・アクション

AWS IoT Core を使用すると、AWS Lambda、Amazon Kinesis、Amazon S3、Amazon SageMaker、Amazon DynamoDB、Amazon CloudWatch、AWS CloudTrail、Amazon QuickSight といった AWS の各種サービスを簡単に使用できます。これにより、インフラストラクチャの管理をせずに、接続されたデバイスで生成されたデータを収集、処理、分析し、そのデータに基づいてアクションを起こす IoT アプリケーションを構築できます。

製品・サービス名称	**AWS IoT Core**		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項	
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	使用した分に対してのみ支払いが発生し、接続の使用量、メッセージング、デバイスシャドウの使用量（デバイス状態ストレージ）、レジストリの使用量（デバイスメタデータストレージ）、ルールエンジンの使用量（メッセージの変換とルーティング）について、個別に料金が請求されます。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	**AWS RoboMaker**
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/robomaker/

■製品サービスの特長

AWS RoboMaker は、開発者がインテリジェントなロボット工学アプリケーションを簡単に開発、テスト、デプロイできるようにするサービスです。

ROS 向けのクラウド拡張機能

Robot Operating System (ROS) は最も広く使用されているオープンソースのロボット工学ソフトウェアフレームワークで、ロボット工学アプリケーションの構築に役立つソフトウェアライブラリを提供しています。AWS RoboMaker には ROS 向けのクラウド拡張機能が用意されているため、一般にインテリジェントロボット工学アプリケーションに必要でリソースを大量に消費するコンピューティングプロセスをクラウドで実行し、ローカルのコンピューティングリソースを解放することができます。これらの拡張機能により、ビデオストリーミングのための Amazon Kinesis Video Streams、画像と動画の分析のための Amazon Rekognition、音声認識のための Amazon Lex、音声合成のための Amazon Polly、ログ記録とモニタリングのための Amazon CloudWatch といった AWS のサービスと簡単に統合できます。RoboMaker ではそれぞれのクラウドサービス拡張機能をオープンソースの ROS パッケージとして提供されるため、クラウド API を活用してロボットの機能を構築できます。これらの API はすべて使い慣れたソフトウェアフレームワークに含まれています。

Amazon Kinesis と Amazon Rekognition によるコンピュータビジョン

Amazon Kinesis と Amazon Rekognition を使用してコンピュータビジョンアプリケーションを構築し、クラウドのコンピューティングリソースを使用してローカルの負担を軽減できます。Amazon Kinesis Video Streams のストリーミングデータを Amazon Rekognition Video に入力し、お客様が提供する最大数千万件の顔データと照らし合わせて、非常に低いレイテンシーで顔認識を実行できます。

Amazon Lex および Amazon Polly による音声コマンド

Amazon Lex では、高品質の音声認識と自然言語理解に加えて、インテントチェイニングを利用できるため、ロボットに対して行われる複雑な会話を小さい構成要素に分解して単純化できます。応答と音声合成について言うと、Amazon Polly では、何十種類ものリアルな音声をさまざまな言語でサポートしているため、最適な音声を選択して、音声対応のロボット工学アプリケーションを多数の国で配信できます。

Amazon CloudWatch によるモニタリングとログ記録

Amazon CloudWatch から得られる実用的なインサイトは、アプリケーションパフォーマンスの最適化、リソース使用率の管理、ロボットフリートに関するシステム全体のオペレーション状態の把握に役立ちます。CloudWatch では、メトリクスとログデータを 1 秒単位で確認できます。データ（メトリクス）は 15 か月間保持され、メトリクスに対して計算を実行することもできます。これにより、ロボットの使用状況やパフォーマンスを把握できます。

開発環境

AWS RoboMaker は、ロボット工学アプリケーションを構築および編集するためのロボット工学開発環境を提供します。RoboMaker の開発環境は AWS Cloud9 に基づいているため、ロボット工学アプリケーションコードを編集、実行、デバッグするための専用ワークスペースを起動できます。RoboMaker の開発環境には、オペレーティングシステム、開発ソフトウェア、ROS が、自動的にダウンロード、コンパイル、設定されます。また、RoboMaker のクラウド拡張機能とロボット工学アプリケーションのサンプルもこの環境に事前に統合されているため、すぐに使用を開始できます。

シミュレーション

シミュレーションを使用すると、複雑な環境や変化する環境でロボット工学アプリケーションがどのように動作するのかを把握できるため、高価なハードウェアに投資したり、物理的なテスト環境を用意したりする必要がありません。物理的なハードウェアにデプロイする前に、シミュレーションを使用してロボット工学アプリケーションのテストと微調整を行うことができます。AWS RoboMaker は完全マネージド型のロボット工学シミュレーションサービスを提供し、大規模なシミュレーションおよび並列シミュレーションをサポート、さらに土台となるインフラストラクチャをシミュレーションの複雑さに基づいて自動的にスケールします。また、RoboMaker では、屋内の部屋、小売店、サーキットなど、事前に構築された仮想 3D ワールドを利用できるため、これらのワールドをダウンロードし、自分のシミュレーションで変更して使用できます。これにより、シミュレーションを短時間で簡単に開始できます。

フリート管理

Amazon アプリケーションの開発または変更が完了したら、アプリケーションを安全にロボットにデプロイしたり、後でロボットの使用中にアプリケーションを更新したりするための無線通信経由（OTA）システムを構築する必要があります。AWS RoboMaker は、ロボットの登録簿、セキュリティ、耐障害性といった機能が組み込まれたフリート管理サービスを提供しています。これを使用することで、ロボット工学アプリケーションを、デプロイしたり、OTA により更新したり、ロボットのライフサイクル全体において管理したりすることが可能です。RoboMaker のフリート管理では、ロボットをグループ化することや、バグ修正または新しい機能に伴う更新を行うことができます。これらはすべて、コンソールで数回クリックするだけで実行できます。

製品・サービス名称	**AWS RoboMaker**

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	AWS RoboMaker では、前払い料金は発生せず、使用している AWS リソースに対してのみ料金が発生します。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	**Amazon SageMaker**
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/sagemaker/

■製品サービスの特長

Amazon SageMaker は、開発者やデータサイエンティストが機械学習モデルを構築、トレーニング、デプロイできるようにする完全マネージド型サービスです。Amazon SageMaker には、Build、Train、および Deploy という 3 つのモジュールがあります。Build モジュールは、データを操作し、アルゴリズムを試し、出力を視覚化するためのホストされた環境を提供します。Train モジュールでは、ワンクリックでのモデルのトレーニングやチューニングを大規模かつ低コストで行うことができます。Deploy モジュールは、推論のためのモデルを簡単にホストし、安全かつ低レイテンシーでテストするためのマネージド環境を提供します。

オーサリングモデル用のマネージドノートブック

Amazon SageMaker は、データの吟味と前処理のトレーニング用に、Jupyter ノートブックを実行する完全にマネージされたインスタンスを提供します。これらのノートブックには、よく使われる深層学習プラットフォームに対応した CUDA および cuDNN ドライバー、Anaconda パッケージ、TensorFlow、Apache MXNet、PyTorch、Chainer 用のライブラリがあらかじめロードされています。

高パフォーマンスのアルゴリズムを組み込み

Amazon SageMaker は速度、規模、正確さに最適化された高パフォーマンスでスケーラブルな機械学習アルゴリズムをお届けします。これらのアルゴリズムはペタバイト規模のデータベースをトレーニングでき、他の実装に比べて最大 10 倍のパフォーマンスがあります。トレーニング中に正しい答えがわかる教師ありアルゴリズムから選択することができ、ミスをしたモデルに指示することができます。 Amazon SageMaker には XGBoost などの教師ありアルゴリズムや、線形回帰、ロジスティック回帰または分類分けが組み込まれており、推奨と時系列予測の問題に対処できます。 Amazon SageMaker にはまた k 平均法クラスタリングや主成分分析（PCA）などの教師なし学習（アルゴリズムが自分で正しい答えを選ぶ）もあり、購買行動に基づく顧客のグループ分けなどの問題を解決できます。

幅広いフレームワークをサポート

Amazon SageMaker は TensorFlow、Apache MXNet、Chainer、PyTorch、Scikit-learn、SparkML を自動的に構成して最適化するため、これらのフレームワークの使用開始時には何もセットアップをする必要がありません。他の主要なフレームワークもこの数か月中に追加する予定です。ただし、Amazon EC2 Container Registry に格納されている Docker コンテナにフレームワークを組み込めば、いつでも好きなフレームワークを Amazon SageMaker に組み込むことができます。

ワンクリックでトレーニング

Amazon SageMaker でトレーニングの準備が整ったら、コンソールで Amazon S3 のデータの場所、ならびに必要な Amazon SageMaker ML インスタンスのタイプと数量を指定します。その後、1 回クリックするだけで、トレーニングを開始できます。Amazon SageMaker は分散型コンピュータークラスターをセットアップし、トレーニングを行い、結果を Amazon S3 に出力し、完了後クラスターを解体します。

自動モデルチューニング

Amazon SageMaker は何千ものアルゴリズムパラメーターを調節してモデルを自動的にチューニングし、モデルが出し得る最も正確な予測に到達します。

1-Click デプロイ

Amazon ML インスタンスは複数のアベイラビリティーゾーン間で自動スケーリングされます。お客様は、1 回クリックするだけで、この冗長性に優れたインスタンスにモデルをデプロイできます。お客様がインスタンスのタイプ、必要なインスタンスの最大数と最小数を指定すると、残りの手順は自動的に実行されます。インスタンスの作成、モデルのデプロイ、アプリケーションと安全に通信するための HTTPS エンドポイントのセットアップも自動的に行われます。アプリケーションではこのエンドポイントへの API コールを行うだけで、低レイテンシーで高スループットの推論が利用できます。

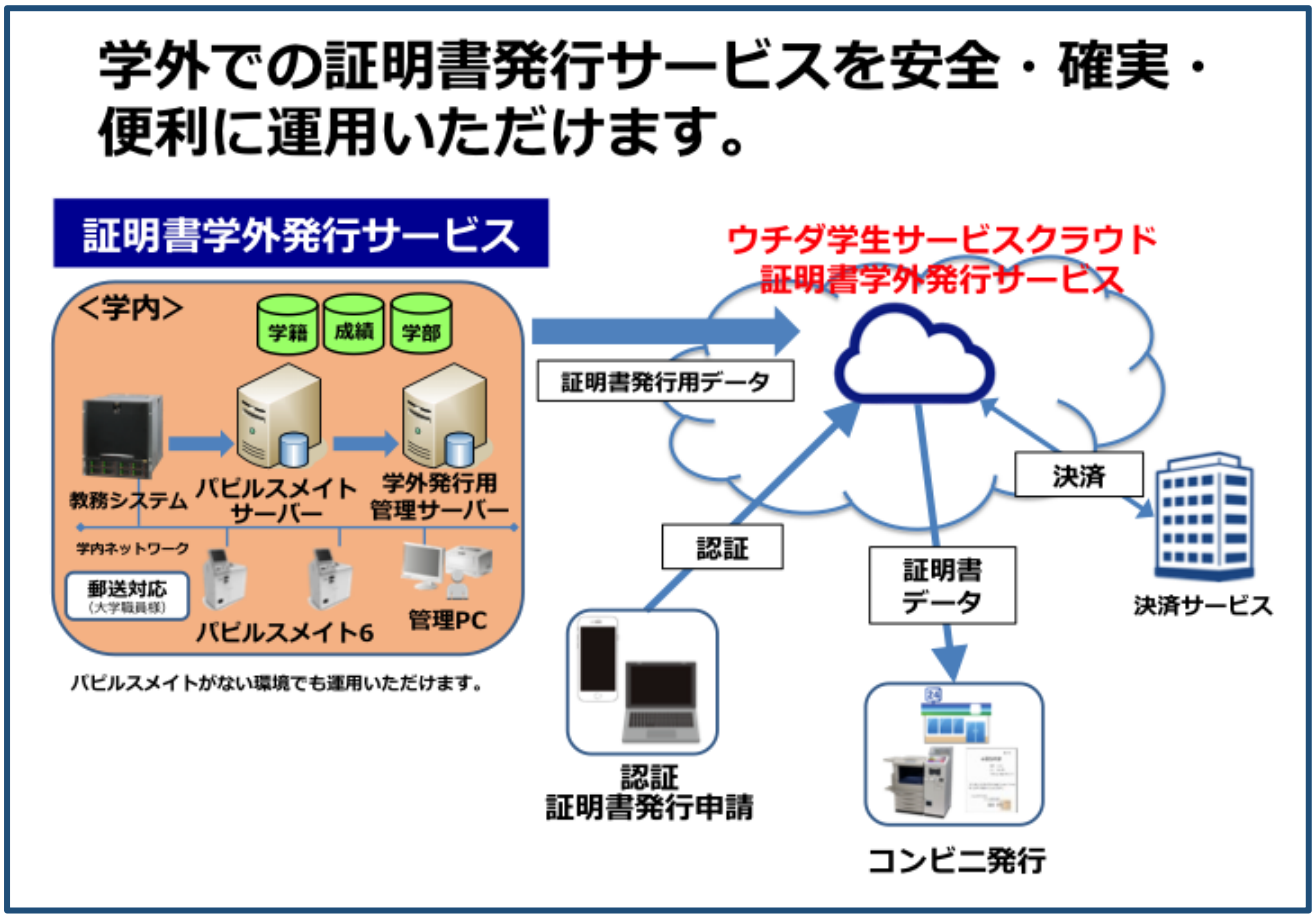
製品・サービス名称	Amazon SageMaker		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）		
費用	使用した分のみ料金が発生します。構築、トレーニング、ホスティングは秒単位で課金され、最低料金や前払いの義務はありません。Amazon SageMaker の料金はオンデマンド ML インスタンス、ML ストレージ、ノートブックとホスティングインスタンスでのデータ処理料金に分かれています。		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

３．事務支援系ソリューション

製品・サービス名称	証明書学外発行サービス
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	

■製品サービスの特長

証明書発行の新しいステージへ



■証明書学外発行サービスの概要

これまで、大学に来なくては取得することが出来なかった各種証明書を、実家への帰省時や遠隔地での就職活動時などに、近くのコンビニエンスストアで即時発行することが出来るようになります。

1.パピルスメイトとの連携データ仕様をそのままお使いいただけます。

2.決済方法として、コンビニ決済、クレジット決済に対応しています。

3.留学生対応として、利用者画面は日本語と英語に対応しています。

製品・サービス名称	ウチダ証明書学外発行サービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（ソフトウェア販売）	・パブリック・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他（学生サービス）

■一般事項

契約実績	大学実績（無し＜サービス提供開始前のため＞）校：利用大学名（　　） 民間実績（無し）
費用	・初期費用：個別見積 ・ランニング費用：個別見積
利用条件	・最低ユーザ数：設定なし　・最低利用期間：1 年間
支払方法	請求サイクル：応談
販売代理店	無、有（お問い合わせください　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（利用申込書）	利用開始までの期間	ご契約後 2～4 ヶ月程度
約款の有無	有・無（学生向けの利用約款はあり　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（24h365D。ただし、クラウド事業者および当社のサービスメンテナンス時を除く）		
実績稼働率	有・無・その他 ※サービス提供開始前のため	目標稼働率	有・無・その他（非公開　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	有	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	無	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	9:00～17:30	QA 対応時間帯	9:00～23:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に 1 回程度）	サービス停止の通知	2 週間前まで
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICR リサーチ&デベロップメント ディビジョン ICT プロダクト企画部 担当者：松井・榊原	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail：papyrus@uchida.co.jp

製品・サービス名称	**codemari クラウドサービス**
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://school.uchida.co.jp/index.cfm/19,3114,76,247,html

■製品サービスの特長

複雑なAV機器を「タブレット端末」や声で、楽々操作。

スクリーンやプロジェクター、照明やスピーカーなど、さまざまな機器が装備された空間では、複数の機器を扱うための知識が必要です。その複数の機器を、「タブレット端末」や声で操作するためのWEBアプリケーションソフトがcodemari(コデマリ)です。タブレット端末が1台あれば**機器操作が苦手な人も、タブレット端末を使ってドラッグ＆ドロップで直感的に操作できたり、声で指示するだけで簡単に操作できます。**

▸codemariの特長

環境をワンタッチで構築。リモコンいらずで調整も自由自在!
必要な機器の起動・セットアップをボタン1つで行えます。映像、音声、照明の調整を全てタブレット端末で操作でき、声による操作も可能です。

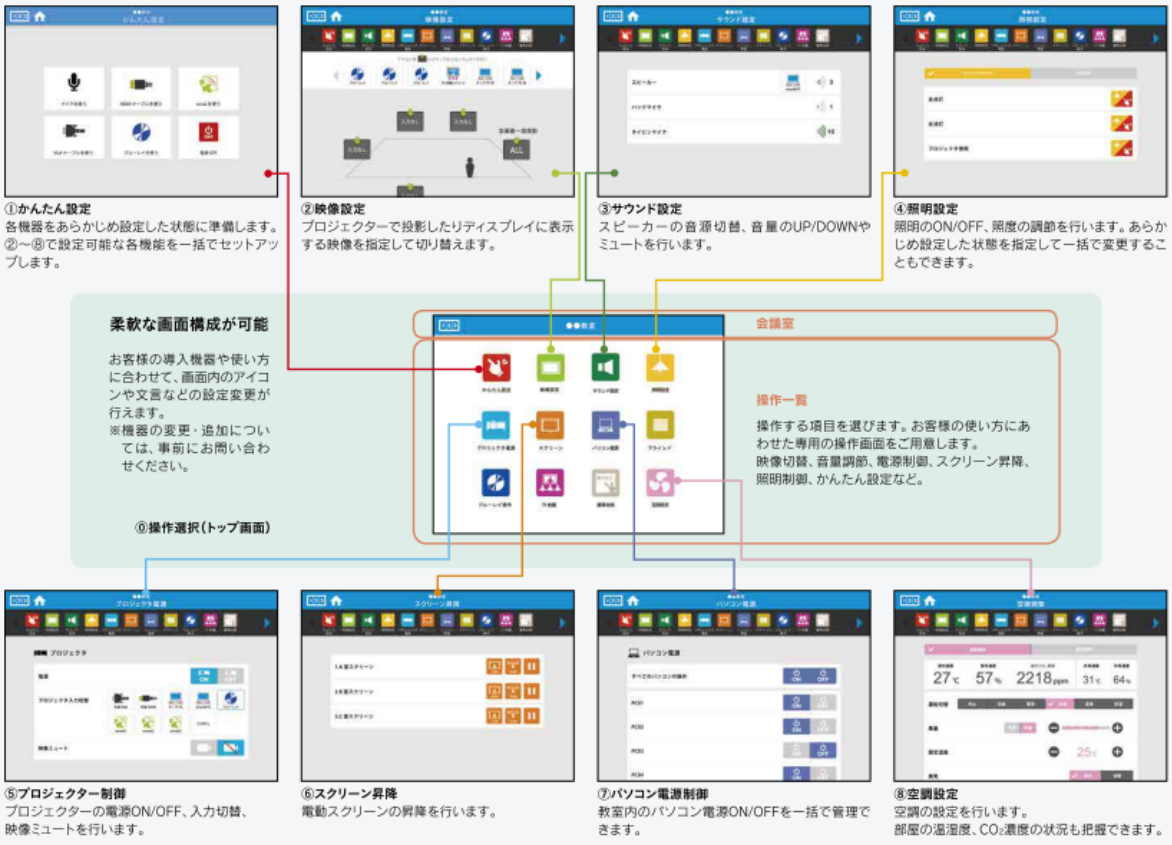
ネットワーク経由で遠隔操作
ネットワークを通じて、室内からはもちろん、離れた準備室からでも事前準備や操作ができます。

全部屋の稼働状況の確認、利用実態の把握が可能!
管理者は、部屋の一覧で稼働状況の確認と遠隔サポートが容易に行えます。また、操作ログを閲覧でき、部屋の利用実態の把握できます。

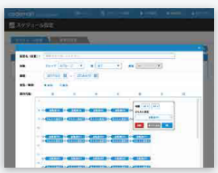
コデマリからビルの照明・空調設備の制御が可能
講義・プレゼン中でも部屋の状態を正確に把握でき、部屋の中を快適な(生産性の高い)状態に維持できます。

英語、中国語表示への対応
ブラウザの使用言語の設定に合わせて日本語、英語、中国語に切り替えて表示します。ユーザーにとって身近な言語で操作できます。

▸主な操作内容



▸スケジュール制御



授業時間に合わせて自動で機器のON/OFFができます。
授業時間に合わせて自動で機器を立ち上げることができ、余分な時間が削減されます。教室毎の終了時刻に合わせ、機器の電源OFFが行え、つけっぱなしによる動作不良を防げます。

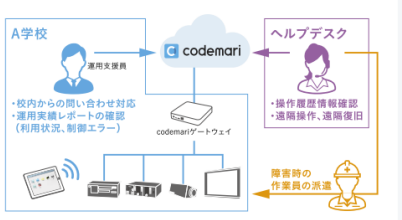
▸稼動状況の確認や操作履歴を分析!

全体状況の把握を簡便に
部屋の一覧で稼動状態を一目で確認でき、一覧から各部屋の操作画面へ遷移し、遠隔サポートも容易に行えます。

運用実績に基づいた改善検討
操作履歴を帳票やグラフや状態遷移図で確認でき、期間で区切って導入後のICT機器の利用状況を評価できます。全体的な傾向や部屋間の比較を行うことで、相対的に評価でき、使われていない部屋のICT機器の利用を促したり、他の部屋に移設する等、将来の改善方法を検討することができます。

▸クラウドサービスで運用が可能に!

オンプレミスでサーバを新規導入しなくても構築でき、サーバ管理が不要となります。
また、ヘルプデスクで遠隔サポートすることができ、障害復旧のスピードが早められます。
運用実績レポートもご提供いたしますので、将来的な設備計画に役立てていただけます。



製品・サービス名称	codemari クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（　　） 大学数（非公開）校：利用大学名（　　）		
費用	導入時の初期設定費用、毎月の利用料（定額）が発生します。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	月次／年次請求、前払		
販売代理店	有（代理店名：　　）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（　　）	利用開始までの期間	注文後 1.5 か月程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開　　）	目標稼働率	有・無・その他（非公開　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9：00-17：00	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT プロダクト企画部 担当者・太田　裕士		電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail：mailto:ootahiroshi@uchida.co.jp

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション iLiswave-J 図書館クラウドシリーズ
提供企業名	富士通株式会社
紹介サイト URL	https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/campus/library/

■製品サービスの特長

■製品の概要

電子リソースの台頭により、図書館が扱う学術情報資源が劇的に増大しています。
これに伴い、検索ターゲットは複雑化し、利用者が目的の情報を探索することが困難になっています。また、次世代端末の普及やインターネット上の様々な利点を経験することにより、利用者の学習スタイルも変化しています。iLiswave-Jは、こうした環境変化に対応するため、利用者サービス機能をさらに強化いたしました。
さらに将来への拡張性も装備。
時代のニーズに応えた新しい図書館ソリューションが、図書館の進化をサポートします。

■iLiswave-Jのコンセプト

ホームページとOPACの統合によりサービスを集約

高度な検索機能により資料発見可能性を向上

進化し続ける図書館への仕組みを提供

- 図書、雑誌、電子書籍、電子ジャーナル、機関リポジトリのデータを取り込んでハイブリッド目録データを構築。
- 利用者は大学のOPACにアクセスすることで、求める情報をワンストップで取得。
- パソコンやスマートフォン、タブレットなどマルチアクセスが可能で、スマートフォンアプリやHTML5にも対応。

実績のある最新パッケージをベースに、SaaS形式で提供

■「iLiswave-J 図書館クラウド」が大学様にもたらす価値

期待されているもの	もたらす価値
図書館システムの長期利用	図書館システムに対するTCO削減 ①クラウド選択によるシステム更新業務などからの開放
クラウドからの学内システム連携	SaaS型クラウドで提供しながら個別カストマイズの実現 ②クラウドでも個別カスタマイズにより運用継続を実現
	さまざまな学内システムとシームレスな連携 ③図書館システム全体の運用効率化と拡張性確保
図書館システムの安全運用	富士通の堅牢で信頼のあるデータセンターを活用 ④大規模災害でも図書館サービスの安定稼動の実現

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション iLiswave-J 図書館クラウドシリーズ

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（ハイブリッド）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	全国の大学を中心として 120 以上（クラウド及びオンプレミス環境含め）のユーザーにて稼働中
費用	トライアル：無し、課金：定額制 ※ スタンダード（S.E.）とエンタープライズ（E.E.）で、機能・料金等が異なります。 詳細については、別途お問い合わせください。
利用条件	エンタープライズ（E.E.）：SINET に加盟されていること
支払方法	月次または年次請求の後払、支払方法：振込、支払通貨：円
販売代理店	無、有（代理店名：富士通パートナー各社　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（契約書）	利用開始までの期間	別途ご相談
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：運用データセンターとしては、Tier-III レベルにて運用）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定（詳細確認の上）
学認対応	対応・未対応・対応予定（詳細確認の上）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定（詳細確認の上）
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	Web サイト（個別対応あり）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	月１回　夜間	サービス停止の通知	３ヶ月前に通知
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	情報セキュリティ認証 P マーク、ISMS

問合先	企業名：富士通株式会社 部署名：富士通コンタクトライン(総合窓口) 担当者：	電話番号：0120-933-200 FAX 番号： Mail：

製品・サービス名称	図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/limedio/

■製品サービスの特長

1．トップシェアに裏付けされた完成度の高いパッケージシステム

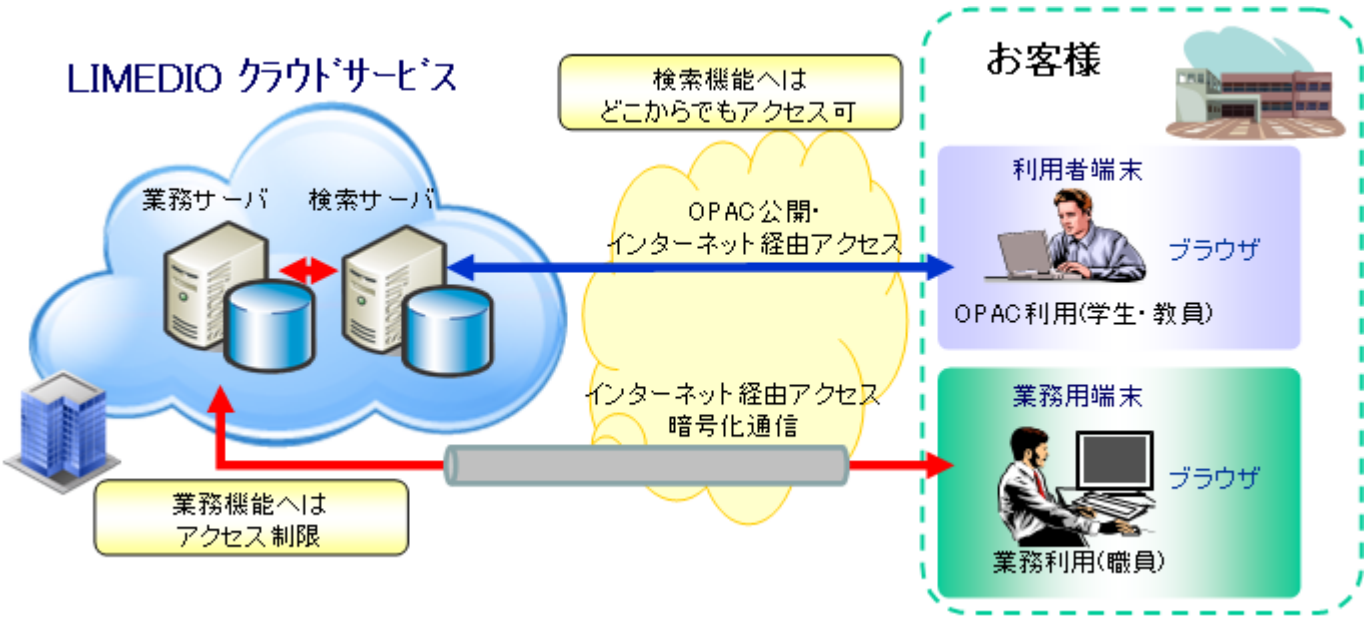
2．目的の資料を簡単に見つけられる新しい利用者サービス機能

3．業務に合わせ画面や帳票のレイアウト変更が可能

4．多くの実績に基づいた確実なデータ移行を実現

5．万全のサポート体制でシステムの安定運用を支援

25 年以上に渡り、多くのお客様にご愛顧頂いております大学向け図書館システムパッケージの LIMEDIO が 2012 年末よりクラウドサービス提供を開始いたしました。
大学における図書館運用を知り尽くした LIMEDIO の特徴そのままにクラウドサービスのメリットを享受頂けます。



製品・サービス名称	図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック・プライベート ・その他（専用テナント）	・SaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	全国大学を中心として 200 以上のユーザーにて稼働中		
費用	トライアル利用もございます。 費用についてはお問合せ下さい。		
利用条件	初期費用、運用費にて構成		
支払方法	お問合せ下さい。		
販売代理店	無、有（代理店名：　　）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（　　）	利用開始までの期間	お打合せにより決定
約款の有無	有・無（ 契約書によります　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
適用法規	日本国法・海外法規（契約書によります）	所轄裁判所	国内・海外（　　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：運用データセンターとしては、TierⅢレベルにて運用）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）
学認対応	対応・未対応・対応予定（詳細確認の上）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定（詳細確認の上）
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 9:00-18:00	QA 対応時間帯	当社営業日 9：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	契約期間内無制限
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	１ヶ月前に通知
ログの開示	有・無（　　）	第三者認証取得状況	ISMS
問合先	企業名：株式会社リコー 部署名：MA 事業部　大学営業部　LIMEDIO 担当室	電話番号：050-3817-1084 Mail：limepromo@sdg.mdd.ricoh.co.jp	

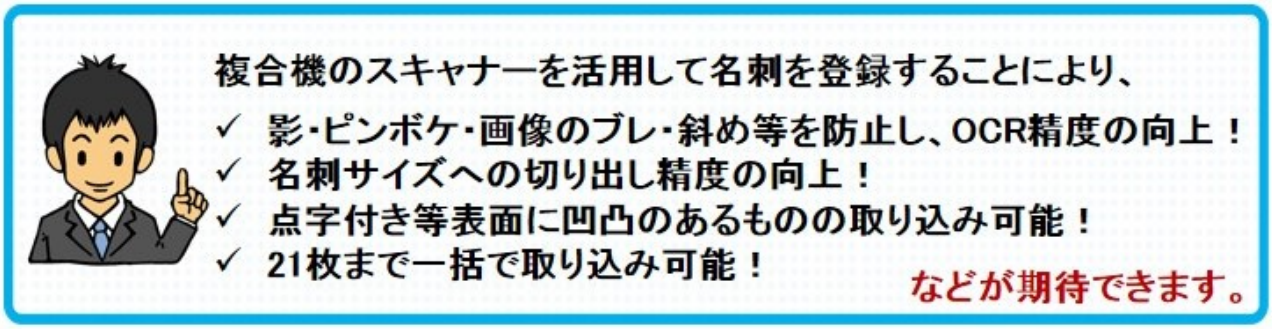
製品・サービス名称	**RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん**
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/mfp-ex/input/kantan_meishi/

■製品サービスの特長

社内のアドレス帳管理とスマートフォンによる名刺管理をさらに便利に。

PhoneAppli 社の提供する「連絡とれるくん」は名刺管理、社内に散見する電話帳の一元管理を提供します。

RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくんは　社外の連絡先を「連絡とれるくん」に登録する窓口となる「名刺」を複合機でカンタンに取り込むことができます。



名刺管理に関するお困りごとを「RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん」が解決します。

製品・サービス名称	RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数：非公開　利用企業名（非公開　　） 大学数：非公開　利用大学名（非公開　　）
費用	トライアル有（無償　1ヶ月） 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：年額 12,000 円/台　または　月額 1,000 円/台
利用条件	【クラウドの場合】最低利用台数 1 台、最低利用期間 1 年 別途連携先 PhoneAppli 社の「連絡とれるくん」の契約が必要
支払方法	年次請求、支払方法（振込／その他）※契約販売店による
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	申込書・その他（Web）	利用開始までの期間	約 1 週間
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（米国　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	平日：9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日：9：00～17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の 2,5,8,11 月第 1 日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	

問合先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：RICOH Intelligent WorkCore 事業センター ドキュメントソリューション企画室 担当者：柏原　ひろむ	電話番号：090-6017-0509 Mail： hiromu_kashihara@jp.ricoh.com

製品・サービス名称	**RICOH カンタンストレージ活用 for Box / Dropbox / OneDrive for Business / (Google Drive)**
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/mfp-ex/input/kantan_storage/

■製品サービスの特長

クラウドストレージの活用でリモートワークはさらに効率的に

キャビネットや個人のパソコンに保存された文書をクラウド上で一元管理。

「RICOH カンタンストレージ活用シリーズ」がリコー製複合機やプリンターとさまざまなクラウドストレージサービスをつなげます。

パソコンを使わずに複合機やプリンターの操作パネルでカンタンに紙文書を電子化してクラウドに保存したり、クラウド上の文書を印刷。また、オフィスの外でも文書を閲覧・ダウンロードできるようになるので、お客様の働き方改革を強力に推進します。

紙文書に関するさまざまなお困りごとを「RICOH カンタンストレージ活用シリーズ」が解決します。

紙文書の仕分け作業を もっとカンタンに!

例えば、直接持ち込まれた紙の注文書。これまでは、担当者ごと得意先ごとに仕分けするだけでも大変でした。「RICOH カンタンストレージ活用シリーズ」で複合機とクラウドストレージを連携させれば、スキャンすると直接クラウドに保存できるので、スピーディーな仕分けが可能です。

セキュリティの高い管理で 安心運用

クラウドストレージとの連携機能を活用する際には、複合機に 4 桁以上の数字を入力するか、IC カードをかざしてログインします。クラウド内の文書を印刷したり、クラウドに文書を保存する際に、セキュアな運用ができます。

電子化した紙文書をモバイルで閲覧可能

これまでは、注文書などの紙文書を確認するには社内に戻る必要がありました。これからは、紙文書を電子化してモバイル閲覧が可能なクラウドに保存することで、情報共有を強力にサポートします。また、クラウドの OCR 機能を活用し、データの利活用を促進します。

製品・サービス名称	RICOH カンタンストレージ活用シリーズ

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数：非公開　利用企業名（非公開　　） 大学数：非公開　利用大学名（非公開　　）
費用	トライアル有（無償　1ヶ月） 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：月額 1,500 円/台　または　年額 18,000 円/台
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数 1 名、最低利用期間 1 ヶ月
支払方法	月次／年次請求、支払方法（振込／その他）※契約販売店による
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	申込書・その他（Web）	利用開始までの期間	約 1 週間
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（米国　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	平日：9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日：9：00～17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の 2,5,8,11 月第 1 日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	

問合先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：RICOH Intelligent WorkCore 事業センター ドキュメントソリューション企画室 担当者：山本　徹	電話番号：080-4411-6034 Mail： tohru.ty.yamamoto@jp.ricoh.com

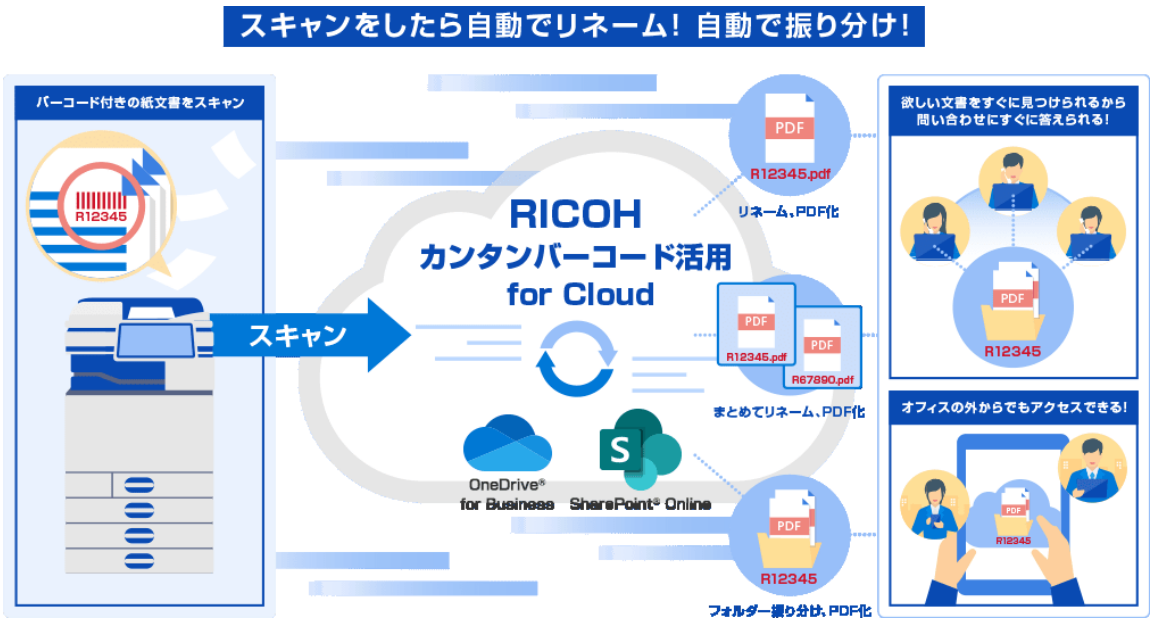
製品・サービス名称	RICOH カンタンバーコード活用 for Cloud
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/mfp-ex/input/kantan-barcode/

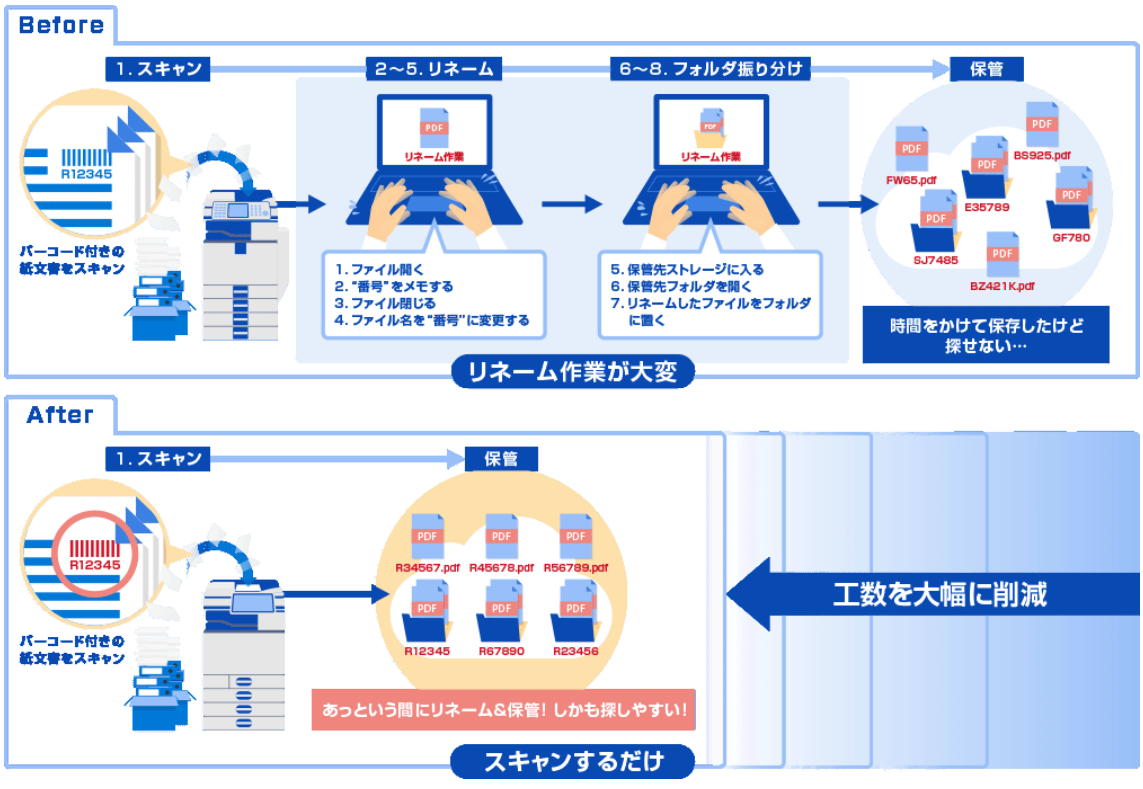
■製品サービスの特長

紙ドキュメントの電子化の負担を大幅に軽減！

バーコードや QR コードコードの情報をファイル名やフォルダ振り分けに活用が可能！

複合機でスキャンした文書をクラウドストレージにアップロード。文書のバーコードを読み取り、ファイル名の設定やフォルダの振り分けを自動で行います。また、外出先からもアクセスできるため、いつでも必要な情報を確認することが可能です。





製品・サービス名称	RICOH バーコード活用 for Cloud

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数：非公開　利用企業名（非公開　　） 大学数：非公開　利用大学名（非公開　　）
費用	トライアル有（無償　1ヶ月） 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：年額 18,000 円/台 もしくは　月額 1,000 円/台
利用条件	【クラウドの場合】最低利用台数 1 台 別途クラウドストレージとして OneDrive for Business または SharePoint Online が必要
支払方法	年次請求、支払方法（振込／その他）※契約販売店による
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	申込書・その他（Web）	利用開始までの期間	約 1 週間
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（米国　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	平日：9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日：9：00～17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の 2,5,8,11 月第 1 日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	

問合先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：RICOH Intelligent WorkCore 事業センター ドキュメントソリューション企画室 担当者：柏原　ひろむ	電話番号：090-6017-0509 Mail： hiromu_kashihara@jp.ricoh.com

製品・サービス名称	「DreamCampus for Cloud（ドリームキャンパス）」
提供企業名	ＳＣＳＫ株式会社
紹介サイト URL	http://edu.scsk.jp/

■製品サービスの特長

SCSK が提供している DreamCampus シリーズは、全国約 60 大学への導入実績があり、入学から卒業後までの大学業務と情報サービスを効率的にサポートします。また SCSK は、システム開発から、IT インフラ構築、IT マネジメント、BPO、IT ハード・ソフト販売まで、ビジネスに必要なすべての IT サービスを、フルラインナップでご提供することが可能です。

■グローバル、クラウドの最新ニーズに対応

学事暦：４クオータ制、Unicode、ポータル(学生/教職員)日英二言語に対応し、今後の高等教育機関の国際化をシステム面から支援します。また、プライベートクラウド、パブリッククラウド上でも動作しますので、ユーザー様のニーズに合わせ、ライセンス型、利用型にてご提供します。

■入学から卒業までのトータルソリューション

入学から卒業後までカバーした SCSK のトータルソリューション。大学ごと、独自に実現するエンロールマネージメントを強力にご支援します。また、大学様で蓄積したデータは、統合・分析サービスを活用し、学生情報の集積と可視化が可能です。

■データの一元管理により効率的な事務処理が可能

システム内のデータは一元管理されています。業務処理間で必要データを自動連携しますので、二重入力や手作業での情報連携を行うことなく業務運用が可能です。また、基幹業務システムと情報系サービス（Ex.履修・成績）の間で、リアルタイムで情報連携をおこないますので、繁忙期における日々の状況遷移の把握も可能です。カリキュラムなど定期的に行うメンテナンス作業は、外部取込、前年度複写機能を活用することで作業効率の向上を実現しました。

【製品ラインナップ】

- DreamCampus 入試システム
- DreamCampus 教務システム
- DreamCampus web 履修登録システム
- DreamCampus web 成績登録システム
- DreamCampus 教務ポータル
- DreamCampus シラバスシステム
- DreamCampus アンケートシステム
- DreamCampus 出欠管理システム
- DreamCampus 教室管理システム
- DreamCampus 授業料免除システム
- DreamCampus 授業料債権管理システム
- DreamCampus 健康管理システム
- DreamCampus ポートフォリオシステム
- 統合データベース/分析サービス
- 人事給与・会計システム
- 通信教育学部向けシステム
- 卒業生ポータルシステム　他

DreamCampus

製品・サービス名称	「DreamCampus for Cloud（ドリームキャンパス）」

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	大学実績（　６３）校：利用大学名（国立大学、公立大学、私立大学にてご利用頂いております）
費用	詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。
利用条件	【クラウド利用の場合】お客様のご利用ケースにより別途ご相談 【製品利用の場合】ユーザー数に制限のないライセンス形態、保守費用・カスタマイズ費用は別途お見積り
支払方法	詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。
販売代理店	無、有（ご指定企業様経由でも販売いたします。）

■契約

申込み方法	注文書・その他（契約書締結）	利用開始までの期間	要相談
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：お客様のご利用ケースにより別途ご相談）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	実績稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	多重化有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（個別構築で利用可能）	データ暗号化	有・無・その他（個別構築で利用可能）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（個別構築で利用可能）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（個別構築で利用可能）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定（個別構築で利用可能）
管理ツール	有・無・その他（モデル毎に異なる）	API 公開	有・無・その他（モデル毎に異なる）

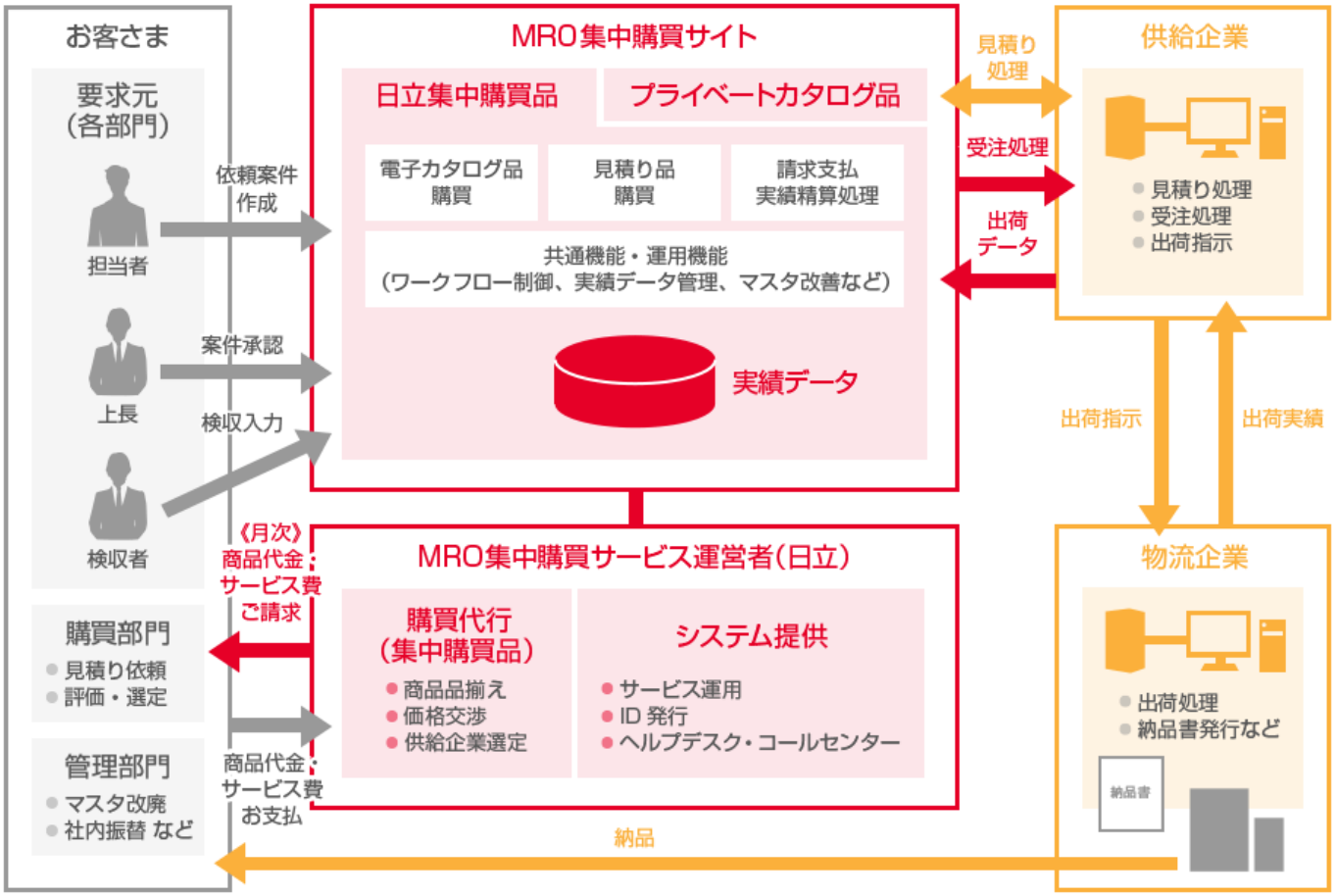
■保守・運用

障害対応時間帯	別途ご相談	QA 対応時間帯	別途ご相談
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	別途ご相談
計画停止の頻度	（※頻度、時間帯　）	サービス停止の通知	別途ご相談
ログの開示	有・無（保守条件による）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：SCSK 株式会社 部署名：製造システム事業本部 製造システム第三部 担当者・文教サービス課	電話番号：03-5548-5237 FAX 番号：03-5166-1279 Mail：campusinnovations-info@ml.scsk.jp

製品・サービス名称	**TWX-21 MRO 集中購買サービス**
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/mro/

■製品サービスの特長



間接材の購買改革を支援するサービスです。

さまざまな大学/研究機関でのご利用が可能。 以下の２タイプにより間接材購買全体の改革を支援いたします。

利用タイプ１：集中購買参加タイプ（購買代行型）

・簡単な Web 画面操作で、商品検索、注文作成、承認が可能。他システム(SAP など)との連携も可能です。

・これからご利用いただく大学/研究機関とこれまでご利用いただいている一般企業の購入量を集約し、日立が単価交渉、商品選定を行います。継続的な原価低減を実現し、支払いは MRO 集中購買サービスに統一します。

利用タイプ２：システム環境利用タイプ（プライベートカタログ型）

・大学/研究機関個別のカタログを掲載し、発注側、受注側の機能を含めた電子取引の環境をご提供します。

・多くの利用実績のあるシステム環境のみをご提供します。

製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（700）社：利用企業名（三菱重工業株式会社様、富士フイルムビジネスエキスパート株式会社様） 大学数（非公開）：利用大学名（北海道大学様）
費用	初期費用：作業内容に応じて設定。ランニング費用：データ件数、ユーザ ID 数などに応じて設定。
利用条件	お客さまの関連業務により異なるため、個別対応になります。詳細は弊社営業までお問い合わせください。
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（弊社営業）	利用開始までの期間	2 ヶ月～
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（99.5%以上）	目標稼働率	有・無・その他（非公表）
ストレージ	多重化有・無・その他（RAID5）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（GUI 対応など）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	弊社営業日 9：00～17：00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～12:00, 13:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1 回/月（第 2 日曜日）定期保守のため終日停止。メンテナンス・エンハンス・保守作業の停止は、サービスの稼働保証時間外（平日 19:00～翌日 9:00、休日）に実施	サービス停止の通知	計画停止はサービスのホームページに記載、メンテナンス・エンハンス・保守作業による停止は事前に通知
ログの開示	有（コンテンツ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS

問合先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部　第四営業本部 学術情報営業第一部　企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp

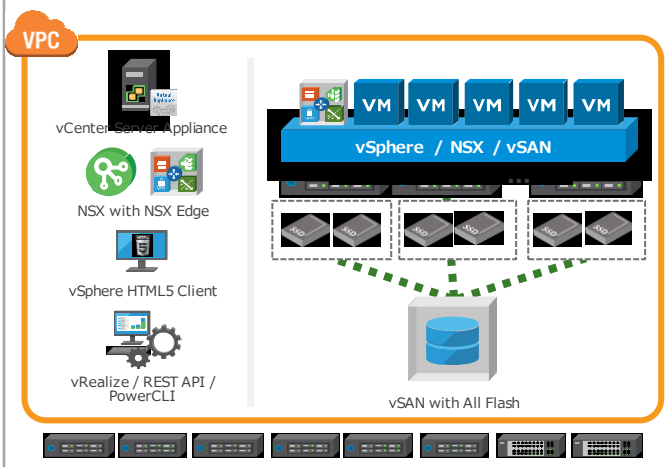
４．情報インフラ系ソリューション

製品・サービス名称	**VMware Cloud™ on AWS**
提供企業名	ヴイエムウェア株式会社
紹介サイト URL	https://cloud.vmware.com/jp/vmc-aws

■製品サービスの特長

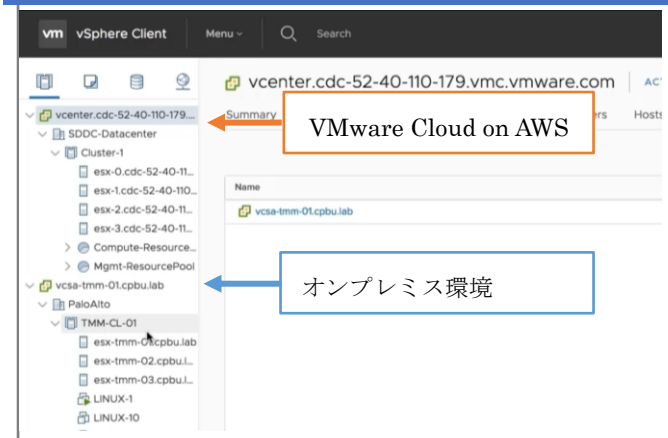
オンプレミスと全く同じテクノロジーをパブリッククラウドで利用可能
最適なインフラを選択し、一貫性ある運用を可能にするクラウドサービス。

VMware SDDC を展開するクラウドサービス



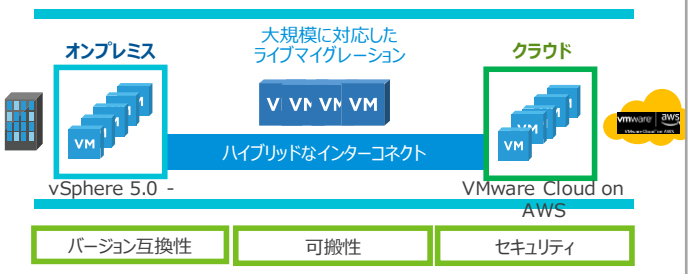
・VMware-AWS 両社によって共同設計された占有型のベアメタル基盤を利用

オンプレミス仮想化環境と運用の一貫性



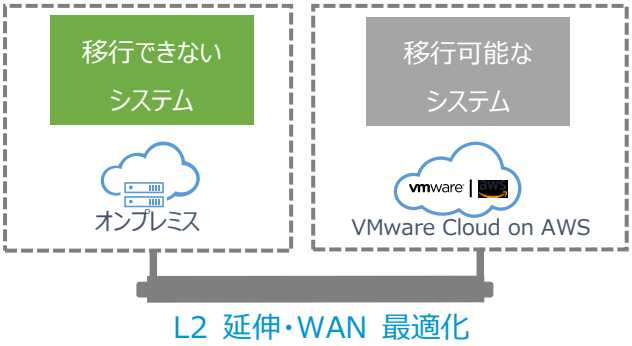
- コンピューティング、ストレージ、 ネットワークを vCenter で統合管理
- オンプレミスと併せて一画面で管理

アプリケーションのシームレスな移行



・アプリケーションの作り直し不要
・vSphere のバージョン差異を吸収する互換性
・拠点間をハイブリッドに繋ぐ L2 延伸ネットワーク

ハイブリッドクラウド



・ポリシーに応じた柔軟な構成を選択
・オンプレミスとクラウドをハイブリッド利用

VMware によるサポート・メンテナンス

VMware の専用部隊が 24 時間 365 日お客様の環境を監視

パッチの適用やアップデートなどすべて専用部隊が実施、お客様によるハードウェア/ソフトウェアライフサイクル管理が不要。

VMware が単一のサポート窓口を提供

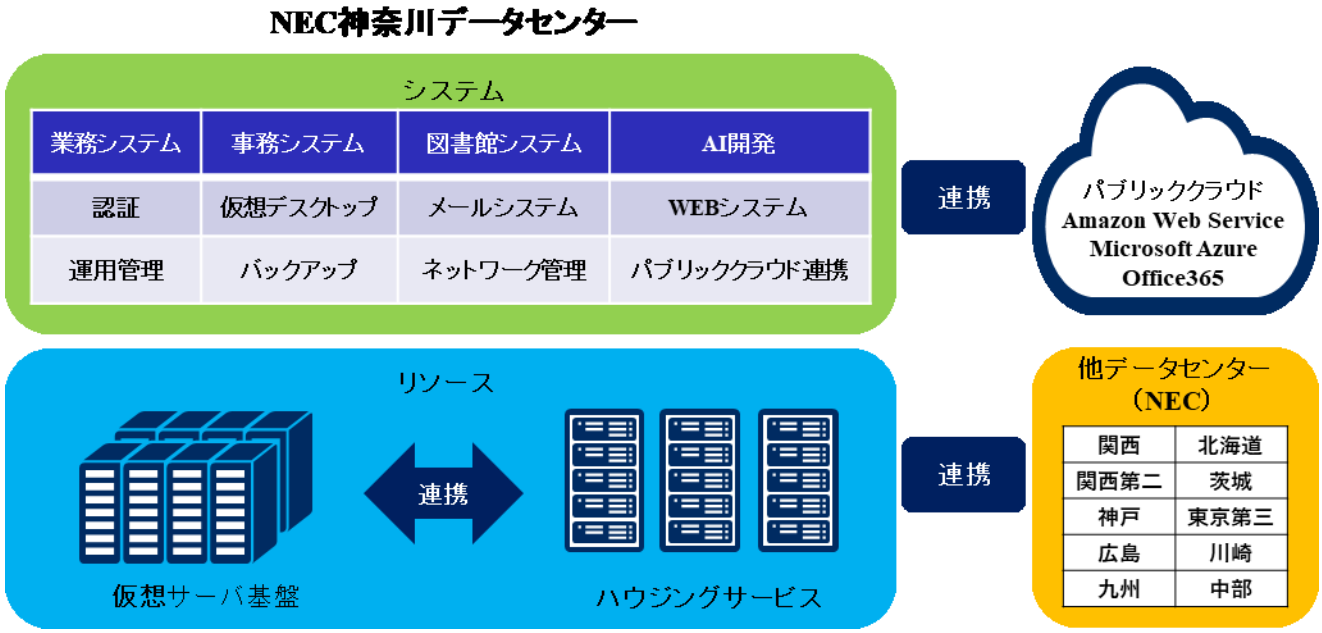
製品・サービス名称	VMware Cloud™ on AWS		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他（DaaS）
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（公開２社 株式会社ゼンリンデータコム、株式会社オプテージ　）		
	大学数（非公開）校：利用大学名（　）		
費用	１時間単位のオンデマンド課金に加え、1 年サブスクリプション、および 3 年サブスクリプション の料金体系をご用意。サブスクリプションは一括前払い方式となり、１年サブスクリプションはオンデマンド利用時の時の約 30%off、3 年サブスクリプションはオンデマンド利用時の約 50%off の割引を提供。		
利用条件	最小 3 Host 構成からご提供。※PoC 利用の場合は 1Host から利用可(最大 30 日間)。		
支払方法	国内 VMware 認定パートナー様からのご請求書払い、もしくはクレジットカード（事前デポジット制）		
販売代理店	有（パートナー一覧：https://secure.vmware.com/solutionprovider_partner_index）		
■契約			
申込み方法	注文書・そ　（販売代理店による）	利用開始までの期間	１~2 週間前後
約款の有無	有・無（　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　）
データ保存場所	ご利用リージョン内	データ削除規定の有無	その他（サービスとしての削除不可）
準拠法	標準は米国。東京リージョンご利用時のみ日本国法に変更可(ご発注時に申請)。	管轄裁判所	標準は米国。東京リージョンご利用時のみ国内に変更可(ご発注時に申請)。
■信頼性			
SLA	有（SLA 内容：シングル AZ 時：99.9%、ストレッチクラスタ時：99.99%）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開　）	目標稼働率	有・無・その他（非公開　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　）	バックアップ	その他（3rd Party 連携で実現）
データ暗号化	有・無・その他（　）	暗号化通信	有・無・その他（　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　）	API 公開	有・無・その他（　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H / 365D (重要度 1 障害時)	QA 対応時間帯	24H / 5D(月～金) 9-18 時(日本語)、以外は英語
コンタクト方法	チャット、Service Request (SR)	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	約 1~2 ヵ月/1 回 (システム停止無)	サービス停止の通知	事前メール通知
ログの開示	無（※条件　）	第三者認証取得状況	ISO 27001,2701,27018、SOC 1,2,3、HIPAA
問合先	企業名：ヴイエムウェア株式会社 部署名：公共第二営業部 担当者・三股 信洋		電話番号：080-4134-2374 FAX 番号：03-4334-4858 Mail：nmimata@vmware.com

製品・サービス名称	ＮＥＣ　神奈川ＤＣ-ＳＩＮＥＴ接続サービス
提供企業名	日本電気株式会社
紹介サイト URL	NEC　クラウドサービス

■製品サービスの特長

【概要】

NEC 神奈川 DC-SINET 接続サービスは、大学キャンパスまたは研究所施設の情報システムを SINET 経由で NEC 神奈川データセンターへ接続します。お客様は、NEC のデータセンターやパブリッククラウドから最適なサービスを組み合わせることで、利用者に使いやすく、便利なシステムを構築できます。



【メリット】

○仮想サーバ基盤とハウジングサービスの連携

NEC 神奈川データセンターは、仮想サーバ基盤に IaaS 等のクラウドサービスがあり、ハウジングサービスでお客様のサーバ等を設置できます。仮想サーバ基盤およびハウジングサービスをネットワークで連携し、最適なシステムの構築を実現します。

例：メールサーバおよび WEB サーバは IaaS を利用、バックアップはハウジングサービスのストレージ装置を利用

○NEC 神奈川データセンターと他データセンター(NEC)の連携

NEC 神奈川および NEC 神戸データセンターは、相互に IaaS の BC/DR（事業継続／災害対策）を実現します。

例：データセンター間の高速バックアップ、データベース同期

NEC 神奈川および他データセンター(神戸以外)は、バックアップサイト、マルチサイト、クラウドサービス連携が可能です。

○NEC 神奈川データセンターとパブリッククラウドの連携

パブリッククラウドは独自の特徴や強みがあり、それらを理解してサービスを選択する必要があります。NEC 神奈川データセンターとパブリッククラウドを連携することで、最適なサービスの選択および利用を実現します。

例：認証は IaaS を利用、メール等は Office365 を利用

・Amazon Web Service は、米国 Amazon.com. Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

・Microsoft Azure および Office365 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

製品・サービス名称	ＮＥＣ　神奈川ＤＣ-ＳＩＮＥＴ接続サービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（ハウジング）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（　　） 大学数（非公開）校：利用大学名（　　）
費用	初期費用とランニング費用が発生します。 課金単位は月額課金です。
利用条件	利用条件はサービスごとで異なります。 詳細は営業までお問合せ願います。
支払方法	月次請求、後払い、支払方法（振込）
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	別途相談
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（公表不可　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）
学認対応	個別構築可能	LDAP 連携	個別構築可能
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

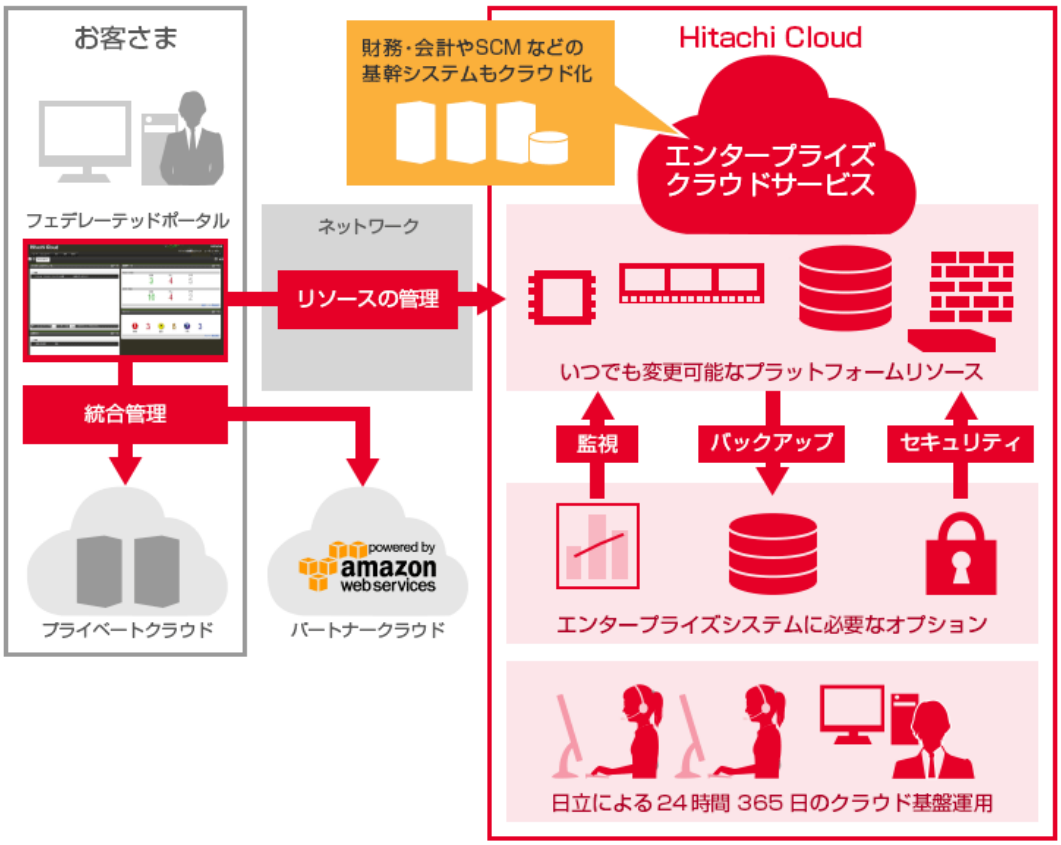
■保守・運用

障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	平日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	不定期	サービス停止の通知	１ヶ月前に通知
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、SOC、SOC2

問合先	企業名：日本電気株式会社 部署名：第一官公ソリューション事業部 担当者：大学・防災・研究ソリューショングループ	電話番号：03-3798-6293 Mail：NEC　神奈川 DC-SINET 接続サービス問合せ

製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/f-enterprise/

■製品サービスの特長



安定稼働を支える高信頼クラウド基盤を提供

サーバ・ストレージ・ネットワーク・OS・ミドルウェアなどの IT リソースをインターネットや VPN を通じて月額サービスで提供します。

高可用性クラウドで高信頼なシステムを提供し、基幹システムのパブリッククラウド化を実現します。

安全・安心を強化する充実のオプション

業務を止めないバックアップ、異常にいち早く気づける監視、性能指定型のディスク提供など、エンタープライズシステムに必要なオプションを取り揃えております。

ポータル環境で柔軟な運用を実現

フェデレーテッドポータルからいつでもリソース追加・削除が可能です。また、仮想サーバ初期構築時に、ネットワーク構成を標準のパターンから選択することで、簡単に仮想サーバを生成することが出来ます。

・Amazon Web Services は，米国その他の諸国における，Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開） 大学数（非公開）
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは初期費用が発生します。課金単位は月額課金です。サービスによっては日額課金／時間課金が可能です。詳細は営業までお問い合わせ願います。
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：規定なし。最低利用期間：1ヶ月
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	5営業日～※HW増設、NW式説が必要な場合は別途調整
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	本サービス提供対象外です。別途ご相談とさせていただきます。
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	本サービス提供対象外です。別途ご相談とさせていただきます。		
実績稼働率	有・無・その他（99.999%）	目標稼働率	有・無・その他（99.99%）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	平日8：00～19：00	QA対応時間帯	平日9：00～17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	特に制限なし
計画停止の頻度	最大1回／月	サービス停止の通知	1ヵ月以上前に通知
ログの開示	有・無（　　）	第三者認証取得状況	ISMS、Pマーク、QMS、EMS

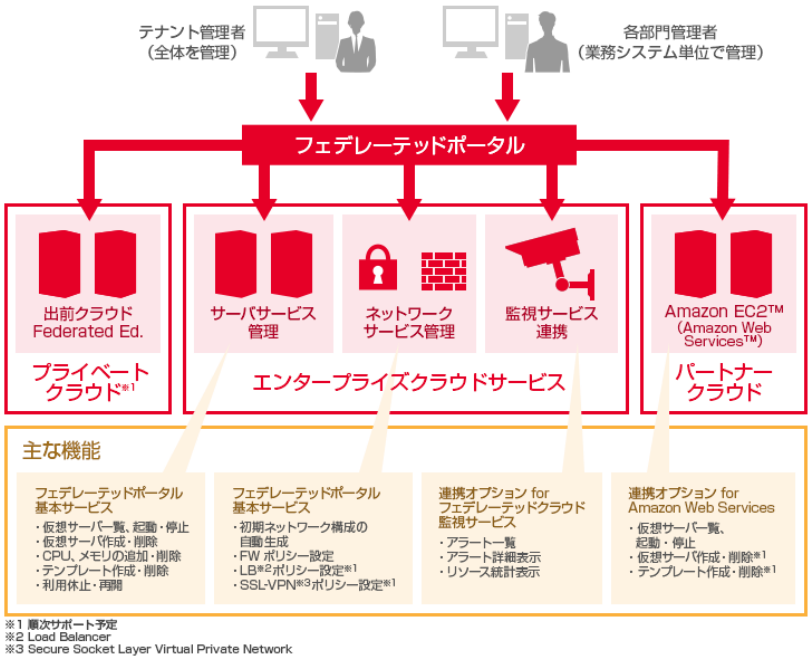
問合先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部　第四営業本部 学術情報営業第一部　企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド（フェデレーテッドポータルサービス、フェデレーテッドクラウド監視サービス）
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/federated/

■製品サービスの特長

フェデレーテッドポータルサービス

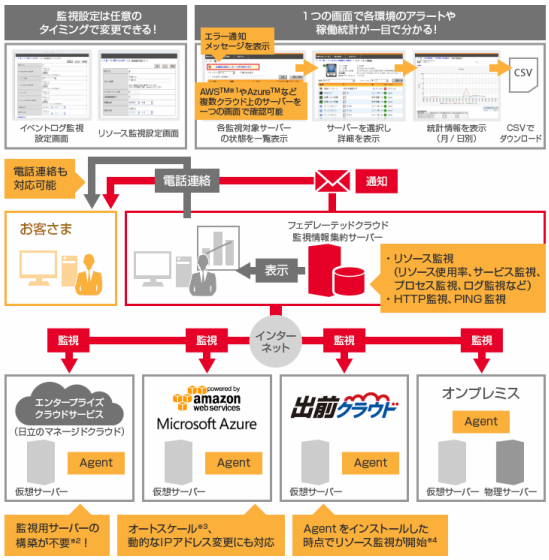
日立のマネージドクラウド（エンタープライズクラウドサービス）とパートナークラウドのリソースに対する操作・管理を一元的に行える Web ポータルを提供します。



※1 順次サポート予定
※2 Load Balancer
※3 Secure Socket Layer Virtual Private Network

フェデレーテッドクラウド監視サービス

プライベートクラウド、日立のマネージドクラウド（エンタープライズクラウドサービス）、パートナークラウド、オンプレミス環境を一元管理できるサービスを提供します。



※1 Amazon Web Services
※2 専用線や VPN（Virtual Private Network）経由での接続をご希望される場合は、Agent をインストールした Windows サーバを準備、設定いただく必要があります
※3 オートスケールは Azure™、AWS™のみ対応しています
※4 一部の監視はインストール後の設定が必要です

・Amazon Web Services は，米国その他の諸国における，Amazon.com，Inc.またはその関連会社の商標です。

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド（フェデレーテッドポータルサービス、フェデレーテッドクラウド監視サービス）

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック・プライベート ・その他（パブリックとプライベートを管理）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）、大学数（非公開）：利用大学名（広島大学様）
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは初期費用が発生します。課金単位は月額課金です。 サービスによっては日額課金／時間課金が可能です。詳細は営業までお問い合わせ願います。
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：規定なし。最低利用期間：1ヶ月
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（弊社営業）	利用開始までの期間	フェデレーテッドポータル：最短5営業日 フェデレーテッドクラウド監視サービス：最短3営業日
約款の有無	有・無（契約書による）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。	目標稼働率	有・無・その他（99.9%）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	平日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1回／月	サービス停止の通知	1ヵ月以上前に通知
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS

問合先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部　第四営業本部 学術情報営業第一部　企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp

製品・サービス名称	出前クラウドサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/delivery-cloud/

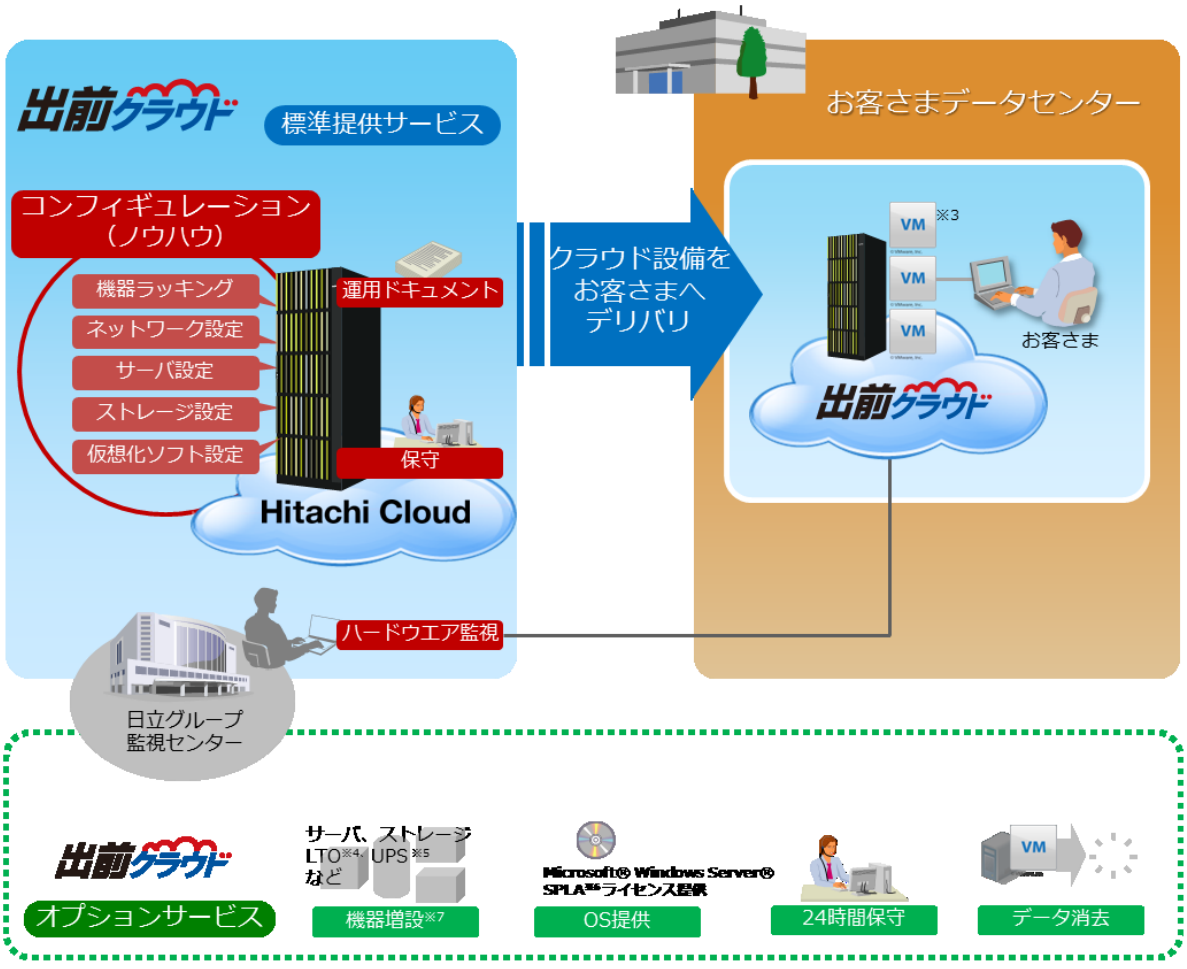
■製品サービスの特長

“クラウド設備”をお客さまにお届け
月額払いでプライベートクラウドを利用可能

お客さまのメリット

1. プライベートクラウドを初期費無し※1の月額料金で、早期に提供します
2. お客さまデータセンターに設置でき、データ流出の心配がありません
3. 必要な時期に機器増設可能※2 柔軟な構成を提供します

※1：運送設置費のみ別途必要となります。
※2：サーバまたはストレージの新モデルの発売による規格変更・在庫完売の場合は、提供できないことがあります。



※3 Virtual Machineの略。
※4 Linear Tape-Openの略。テープ型の記憶媒体。
※5 Uninterruptible Power Supplyの略。無停電電源装置。
※6 Microsoft Services Provider License Agreementの略。サービスプロバイダ向けライセンスプログラム。
※7 LTO、UPSは初期導入時にのみ提供可能です。

・VMware、VMware vSphere、VMware vCenter、ESX、ESXi は米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。
・Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

製品・サービス名称	出前クラウドサービス

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）：利用企業名（金融業などを中心に数十社の実績あり） 大学数（非公開）
費用	費用としてランニング費用が発生します。運搬・設置費用が初期費用として発生します。 課金単位は月額課金です。詳細は営業までお問い合わせ願います。
利用条件	最低ユーザ数：1、最低利用期間：半年（解約の半年前に弊社営業にご連絡いただきます。）
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	3ヶ月～
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。	目標稼働率	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	提供対象外です。別途ご相談させて頂きます。
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	弊社営業日 9：00～17：00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9：00～17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	年間 5 件まで
計画停止の頻度	原則として計画停止無し	サービス停止の通知	個別調整
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS

問合先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部　第四営業本部 学術情報営業第一部　企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail：ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp

製品・サービス名称	アマゾン ウェブ サービス（AWS）
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/

■製品サービスの特長

アマゾン ウェブ サービス(AWS)は、2006 年に拡張性、堅牢性を容易に実現できるストレージサービス「Amazon Simple Storage Service (S3)」および仮想環境でスケーラブルに拡張が可能なコンピューティングサービス「Amazon Elastic Computing Cloud (EC2)」のリリースを機に商用クラウドサービスの提供を開始しました。以後、AWS はグローバルにサービスを展開し、お客様の声をもとに常に新たな機能の追加を行っています。初期費用や最低利用期間といった縛りを気にすることなく、ご利用に応じて必要な分だけにお使いいただけるクラウド環境をご提供しています。現在サービス数は 165 を越え、全世界で数百万のお客様にご利用いただくサービスに成長を続けています。日本国内にある東京リージョンは複数のアベイラビリティゾーン(AZ) で構成され、各アベイラビリティゾーンは地理的・電源的・ネットワーク的に分離された 1 つ以上の物理的なデータセンターによって構成され、高い耐障害性があります。
アカデミック向けには、AWS Educate、AWS Academy、Global Data Egress Waiver 等の各プログラムが提供されています。また、SINET5 と AWS 間は専用線にて接続をしており、2014 年に SINET4 と接続してから、既に 60 を超える機関/プロジェクトで利用されています。大学や研究機関内のネットワークと AWS 内の VPC(Virtual Private Cloud)等を閉じた環境で接続することが可能であり、基幹系システム、セキュアにデータを取扱う必要のある解析実行環境や研究者間の共同利用で活用されています。物理回線は既に接続済みのため、申請いただいてから利用開始までの時間を短くすることが可能です。

初期投資が不要

サーバー / 空調 / ストレージ/ネットワーク/スペース / 電源 / etc.

実際の使用分のみ支払い

オンプレミスの場合に用意していたピーク時を見込んだ余剰リソースが不要
→余剰分のコスト減

低額な変動価格

これまでに **70 回以上の値下げ**もしています

セルフサービスで幅広いインフラストラクチャが利用可能

必要な時に必要なだけのサービスを使いたいように組み合わせることができる

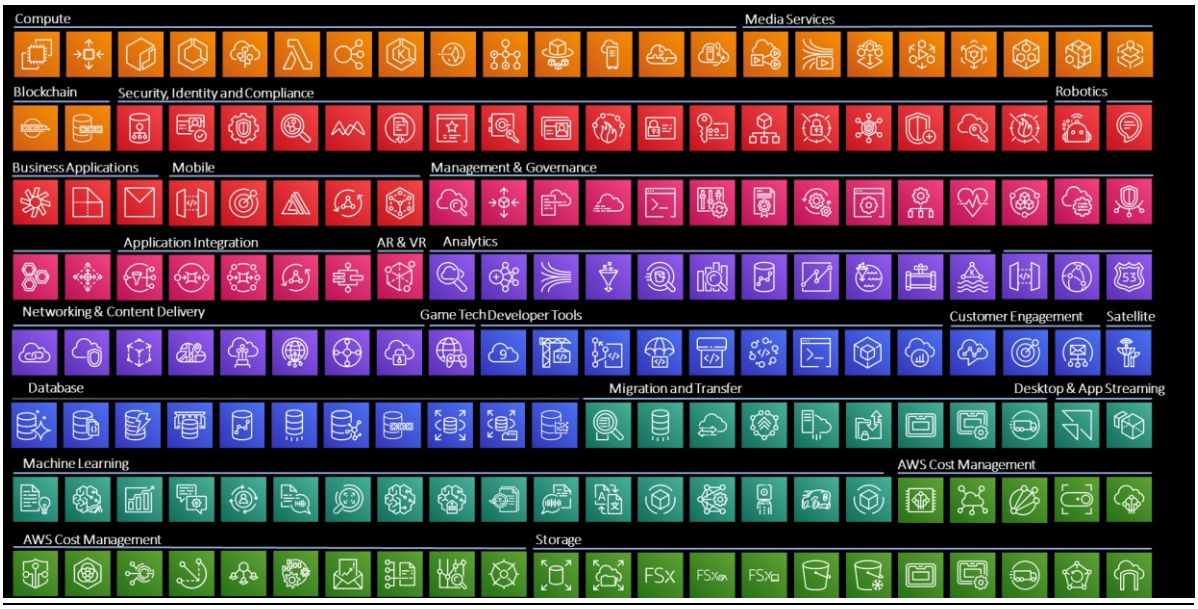
スケールアップ、ダウンが容易

急なピークにも容易にスケールアップ
リソースの増減が簡単にできる

市場投入と俊敏性の改善

数クリックで、リソースを素早く用意。
調達時間を短縮し、研究・教育のスピードを改善

165 を超えるサービス群



製品・サービス名称	アマゾン ウェブ サービス（AWS）

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	支払い方法には、オンデマンド、リザーブドインスタンス、およびスポットインスタンスの 3 つがあり、リザーブドインスタンスの場合には大幅な割引となります(最大 75%)。 新規アカウントには 1 年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。https://aws.amazon.com/jp/free/
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　取得可能　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/ec2/

■製品サービスの特長

Amazon EC2 - 仮想サーバーホスティング

Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)とは、クラウド内でサイズ変更が可能なコンピューティング処理能力を提供するウェブサービスです。ウェブスケールのクラウドコンピューティングを開発者が簡単に利用できるよう設計されています。Amazon EC2 のシンプルなウェブサービスインターフェイスによって、手間をかけず、必要な機能を取得および設定できます。お客様のコンピュートリソースに対して、高機能なコントロールが提供され、Amazon の実績あるインフラストラクチャ上で実行できます。Amazon EC2 では、わずか数分間で新規サーバーインスタンスを取得して起動できるようになります。これにより、コンピューティング要件の変化に合わせて、すばやく容量をスケールアップおよびスケールダウンできます。実際に使用した分だけ料金を払えばよいので、Amazon EC2 は、コンピューティングの経済性も変革します。Amazon EC2 は、開発者にツールを提供して、障害に耐性のあるアプリケーションの構築と、一般的な障害シナリオからの脱却を可能にします。

弾力性のあるウェブスケールコンピューティング

Amazon EC2 を使用すれば、数分以内にキャパシティーの増減を行うことができます。一から数百、または数千のサーバーインスタンスさえ、同時に作動させることができます。もちろん、これはすべてウェブサービス API でコントロールされるため、お客様のアプリケーションはそのニーズに応じて、自動的に規模の拡大や縮小を行うことができます。

完全な制御が可能

インスタンスのすべてを制御することができます。お客様は各インスタンスへの管理者アクセス権限を持ち、他のマシンと同じようにインスタンスを操作することが可能です。インスタンスを停止したり、同一のインスタンスを再起動したりすることができます。インスタンスのコンソール出力にアクセスすることもできます。

柔軟なクラウドホスティングサービス

インスタンスタイプ、オペレーティングシステム、ソフトウェアパッケージの種類を選ぶことができます。Amazon EC2 では、お客様が選択したオペレーティングシステムやアプリケーションに合わせて最適なメモリ、CPU、インスタンスストレージ、ブートパーティションの構成を選ぶこともできます。オペレーティングシステムの選択肢には、数多くの Linux ディストリビューション、および Microsoft Windows Server が含まれています。新しい研究や分析を容易に実施できるよう NVIDIA Tesla V100 GPU を搭載した P3 インスタンス、NVIDIA K80 GPU を搭載した P2 インスタンスを利用することが可能です。また F1 インスタンスではフィールドプログラマブルゲートアレイ（FPGA）によるカスタマイズ可能なハードウェアアクセラレーションが提供されます。

信頼性

Amazon EC2 は、インスタンスの置き換えを速やかに、あらかじめ指定した条件で実行できる、信頼性の高い環境を提供します。このサービスは Amazon の実績あるネットワークインフラストラクチャとデータセンターの中で稼動しています。Amazon EC2 のサービスレベルアグリーメントは、各 Amazon EC2 リージョンにおいて、99.99%の可用性を約束します。

低料金

Amazon EC2 は Amazon VPC と連携して動作し、お客様のコンピュートリソースに対して安全性と堅牢なネットワーキング機能を提供します。コンピュートリソースはお客様が指定した IP アドレス範囲で Virtual Private Cloud (VPC)内に配置されます。インターネットに公開されるインスタンスと、プライベートな状態のままにするインスタンスを決定します。セキュリティグループとネットワーク ACL により、インスタンスを出入りするインバウンドとアウトバウンドのネットワークアクセスを制御できます。業界標準の暗号化 IPsec VPN 接続を使用して、既存の IT インフラストラクチャと VPC のリソースを結びつけることができます。

低料金

Amazon EC2 は、Amazon で実現されているスケールメリットをお客様にもたらします。実際に使用するコンピューティング能力に対してのみ、非常に低額な料金をお支払いいただきます。

製品・サービス名称	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	支払い方法には、オンデマンド、リザーブドインスタンス、およびスポットインスタンスの 3 つがあり、リザーブドインスタンスの場合には大幅な割引となります(最大 75%)。 新規アカウントには 1 年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。https://aws.amazon.com/jp/free/
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　取得可能　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/s3/

■製品サービスの特長

Amazon S3 (クラウドストレージサービス)

Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) では、安全で耐久性がありスケーラビリティに優れたクラウドストレージを開発者や IT チームに提供しています。Amazon S3 は、シンプルなウェブサービスインターフェイスで使いやすいオブジェクトストレージにより、ウェブのどこからでもお好みの量のデータを簡単に保存および取得できます。Amazon S3 では、実際に使用したストレージ分のみお支払いいただきます。最低料金や初期費用はありません。

Amazon S3 は、各ユースケース向けに、頻繁にアクセスするデータの汎用ストレージのための「Amazon S3 標準」、長期間使用するが頻繁にアクセスしないデータのための「Amazon S3 標準 - 低頻度アクセス（標準 - IA)」、長期アーカイブのための「Amazon Glacier」を含む幅広いストレージクラスを提供しています。また、Amazon S3 は、ライフサイクル全体を通してデータを管理するための、設定可能なライフサイクルポリシーも提供しています。

Amazon S3 は、単独で使用することも、Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)、AWS Identity and Access Management (IAM) などその他の AWS の各種サービスや、データ移行サービスおよびゲートウェイ（最初からのまたは実行中のデータ取り込み用）と組み合わせて使用することもできます。Amazon S3 では、バックアップとリカバリー、ニアラインのアーカイブ、ビッグデータ分析、災害対策、クラウドアプリケーション、およびコンテンツディストリビューションなど、幅広いユースケースに対応するコスト効率に優れたオブジェクトストレージを提供しています。

耐久性

Amazon S3 は重要なデータを保存するための耐久性のあるインフラストラクチャを提供し、オブジェクトの 99.999999999%の耐久性を実現するように設計されています。データは冗長化されて指定リージョン内の複数の施設に保存され、各施設では複数のデバイスに保存されます。

低コスト

Amazon S3 を使用すると、非常に低いコストで大量のデータを保存できます。さらにコストを削減したい場合、ライフサイクル管理を使用して、データを自動的に、標準 - 低頻度アクセス（標準 - IA）および Amazon Glacier へ移行するポリシーを設定できます。お支払いは必要な分だけ。最低料金や前払い料金はありません。

可用性

Amazon S3 標準は、1 年でオブジェクトの可用性が 99.99%になるように設計されており、必要とされるときに Amazon S3 標準を信頼できることを保証するため、Amazon S3 サービスレベルアグリーメント (SLA) で裏づけされています。

安全性

Amazon S3 は、SSL でのデータ転送と、アップロード後のデータの自動暗号化をサポートします。バケットポリシーを構成してオブジェクトの権限を管理し、AWS Identity and Access Management（IAM）を使用しデータへのアクセスを制御できます。複数の研究機関で相互利用するセキュアなデータ共有プラットフォームとして構築することが可能です。

高性能

Amazon S3 は、ネットワークのスループットと回復性を最大化するのに役立つマルチパートアップロードをサポートし、エンドユーザーに近い AWS リージョンを選択してデータを保存することでネットワークレイテンシーを最小にできます。また、Amazon S3 は、レイテンシーが短く、データ転送速度が速く、最低使用料のないエンドユーザー向けのコンテンツ配信ウェブサービスである Amazon CloudFront と統合されます。

Amazon S3 には、大量のデータ転送を可能にする方法がいくつかあります。最も簡単なのが Amazon S3 Transfer Acceleration です。革新的ソフトウェア、プロトコルの最適化、AWS エッジインフラストラクチャを組み合わせて、既存インフラストラクチャに比べ、データ送信速度を 300%向上しました。

製品・サービス名称	Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）		
費用	実際に使用した分のストレージ料金、リクエスト料金、データ転送料金、Amazon S3 Transfer Acceleration 料金です。新規アカウントには 1 年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。https://aws.amazon.com/jp/free/		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　取得可能　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/rds/

■製品サービスの特長

Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)

Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)を使用すると、クラウドで簡単にリレーショナルデータベースを設定、運用、スケールできます。このサービスは、手間のかかるデータベースの管理タスクをお客様の代わりに行いながら、コスト効率がよく、サイズ変更が可能なキャパシティーを提供します。これによってお客様は自身のアプリケーション開発やビジネスに集中できます。Amazon RDS では、Amazon Aurora、Oracle、Microsoft SQL Server、PostgreSQL、MySQL、MariaDB という 6 つのよく知られたデータベースエンジンからお選びいただけます。

管理が簡単

Amazon RDS は、プロジェクトを計画してから配備を行うまでの手順を簡単にします。AWS マネジメントコンソール、AWS RDS コマンドラインインターフェイス、またはシンプルな API 呼び出しを使用して、実稼働に対応したリレーショナルデータベースの機能に数分でアクセスします。インフラストラクチャをプロビジョニングする必要はなく、データベースソフトウェアのインストールやメンテナンスも不要です。

拡張性

数回のマウスクリックまたは 1 回の API 呼び出しだけで、ダウンタイムなくデータベースのコンピューティング容量とストレージ容量をスケールすることができます。Amazon RDS エンジンタイプの多くは、1 つ以上のリードレプリカを起動でき、プライマリデータベースインスタンスの読み取りトラフィックによる負荷を軽減できます。

可用性と耐久性

Amazon RDS が実行されるインフラストラクチャは、アマゾン ウェブ サービスの他のサービスに使用されるものと同じで、高い信頼性が特長です。Multi-AZ DB インスタンスをプロビジョニングすると、Amazon RDS は異なるアベイラビリティーゾーン（AZ）のスタンバイインスタンスにデータを複製します。Amazon RDS は、重要な本稼働用データベースの信頼性を高めるために、自動バックアップ、データベーススナップショット、ホスト自動交換といったその他の特徴を多数備えています。

高速

Amazon RDS では、最も要件の厳しいデータベースアプリケーションをサポートします。SSD ベースのストレージは、高性能 OLTP アプリケーション向けに最適化された SSD ストレージ、またはコスト効率の良い汎用 SSD ストレージのいずれかを選択できます。さらに、Amazon Aurora により、商用データベースと同等のパフォーマンスが 10 分の 1 のコストで提供されます。

安全

Amazon RDS なら、データベースへのネットワークアクセスの制御も簡単です。Amazon RDS では、データベースインスタンスを Amazon Virtual Private Cloud (Amazon VPC)で稼働させることもできます。これによってデータベースインスタンスを独立させ、業界標準の暗号化 IPsec VPN を介して既存の IT インフラストラクチャに接続することが可能になります。Amazon RDS エンジンの多くには、保管時の暗号化と転送時の暗号化が準備されています。

低コスト

非常に低額の料金を、実際に利用したリソース分に対してのみお支払いいただきます。加えて、前払いや長期契約がないオンデマンド料金で、さらには当社の予約価格のオプションでより低い時間料金を得ることができます。

製品・サービス名称	Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	実際に使用した分のオンデマンドまたはリザーブドインスタンスの料金、データベースストレージおよび IO の料金、バックアップストレージの料金、データ転送の料金です。新規アカウントには 1 年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。https://aws.amazon.com/jp/free/
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	**Amazon Redshift**
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/redshift/

■製品サービスの特長

Amazon Redshift を使用すると、データをロードすることなく、データウェアハウスのクエリをデータレイクにまで拡張できます。Redshift にローカルに保存されているペタバイト規模のデータに対して分析クエリを実行でき、Amazon S3 に保存されているエクサバイト規模のデータに対して分析クエリを直接実行できます。簡単にセットアップしてほとんどの管理作業を自動化でき、あらゆる規模で高速なパフォーマンスを実現できます。

高速のパフォーマンス

超並列処理: Amazon Redshift では、ギガバイトからエクサバイト規模のデータセットに対して高速にクエリを実行できます。Redshift では、列指向ストレージ、データ圧縮、ゾーンのマッピングが使用されているため、クエリ実行に必要な I/O の量が軽減されます。Redshift では、超並列処理 (MPP) データウェアハウスアーキテクチャが採用されており、SQL 操作の並列化と分散によって、利用可能なあらゆるリソースを活用します。基盤となるハードウェアはデータ処理のパフォーマンスを高める設計となっており、ローカル接続ストレージを使用して CPU とドライブの間のスループットを最大化するとともに、高帯域幅イーサメッシュネットワークを使用してノード間のスループットを最大化します。

機械学習: Amazon Redshift は、ワークロードや同時使用量に関係なく、機械学習を使用して高いスループットを実現します。Redshift では、実行時に想定されるクエリを高度なアルゴリズムを用いて予測し、そのクエリを最適なキューに割り当てて高速処理を実現しています。例えば、ダッシュボードやレポートのように大規模な並列処理を必要とするクエリは、高速のキューに転送されて直ちに処理されます。同時実行性が向上すると、Amazon Redshift はキューイングの開始時期を予測し、同時実行スケーリング機能を使用して一時的なリソースを自動的にデプロイします。これにより、クラスターの需要の変動に関係なく、常に高速のパフォーマンスが確保されます。

結果のキャッシュ: Amazon Redshift では、結果をキャッシュすることで、繰り返し実行されるクエリに対して 1 秒未満の応答時間を実現しています。同じクエリを繰り返し実行するダッシュボード、可視化ツール、ビジネスインテリジェンスツールは、これによってパフォーマンスが大幅に向上します。クエリを実行すると、Redshift ではキャッシュを検索し、以前の実行でキャッシュされている結果がないかを確認します。キャッシュされている結果が見つかり、データが変更されていないことがわかると、クエリを再度実行せずに、キャッシュされている結果を即座に返します。

高い費用対効果

初期費用なしの従量課金制: Amazon Redshift は最もコスト効率の高いデータウェアハウスで、お客様がプロビジョンしたリソース以外は料金が発生しません。コミットメントなしで 1 時間あたり 0.25 USD から開始でき、1 テラバイトあたり年額 250 USD まで規模を拡大できます。Redshift は、初期費用なしのオンデマンド料金体系を提供する唯一のクラウドデータウェアハウスです。リザーブドインスタンスの料金体系の場合、1 年契約または 3 年契約で最大 75% コストを節約できます。また、クエリ単位の料金体系の場合、Amazon S3 データレイクでスキャンされたデータ量に応じて料金が発生します。 詳細については、Amazon Redshift の料金表ページを参照してください。
予測不可能なワークロードに対しても予測可能なコスト: Amazon Redshift を使用すると、各クラスターで 1 日あたり最大 1 時間の無料同時実行スケーリングクレジットが得られるため、コストへの影響を最小限に抑えつつ拡張できます。これらの無料クレジットは、ほとんどのお客様の同時実行性に関するニーズを十分に満たすものです。これにより、分析需要が変動している期間でも、月ごとのコストを予測することができます。
ノードタイプを選択可能: データウェアハウジングのニーズに合わせて Redshift を最適化するために、2 つのノードタイプを選択することができます。Dense Compute (DC) ノードでは、きわめて高パフォーマンスのデータウェアハウスを作成するために、高速 CPU、大容量 RAM、SSD (Solid-State Disk) が使用されます。さらにスケールしたい場合、またはコストを削減したい場合は、コスト効率が高い Dense Storage (DS) ノードタイプに切り替えてください。このノードタイプでは、非常に低価格でより大規模なハードディスクドライブを使用します。クラスターのスケーリングやノードタイプの切り替えに必要なのは、API コール 1 回のみ、または AWS コンソールで数回クリックすることのみです。

データレイクに対するクエリの実行

Amazon Redshift は Amazon S3 データレイク: Amazon Redshift は、データをロードすることなく Amazon S3 データレイクに対してクエリを実行できる唯一のデータウェアハウスです。S3 に保存されているオープンファイル形式 (Avro、CSV、Grok、JSON、ORC、Parquet など) に対し、クエリを直接実行できます。そのため、エクサバイト規模の構造化および非構造化データを S3 に保持したまま、高度に構造化されて頻繁にアクセスされるデータを Redshift のローカルディスクに柔軟に保存でき、構造化データと非構造化データのいずれに対してもシームレスにクエリを実行できます。これにより、各データセットに対して個別にクエリを実行したときには取得できなかった独自のインサイトを得ることができます。
AWS の分析エコシステム: Amazon Redshift には、AWS の分析エコシステムがネイティブに組み込まれています。AWS Glue を使用すると、Redshift にデータを抽出、変換、ロード (ETL) することができます。Amazon Kinesis Data Firehose を使用すると、最も簡単な方法で Redshift にストリーミングデータをキャプチャ、変換、ロードでき、ほぼリアルタイムで分析を行えます。Amazon QuickSight を使用すると、レポートや可視化ツール、ダッシュボードを作成できます。

製品・サービス名称	**Amazon Redshift**

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	クラスターのノードのタイプと数に基づいて 1 時間あたりの料金をお支払いいただくだけです。価格は、圧縮データに基づいており、通常は 3 倍の圧縮が可能です。価格には、データの 2 つの追加コピーが含まれています。1 つはクラスターノードへのコピー、もう 1 つは Amazon S3 へのコピーです。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	**Amazon EMR**
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/emr/

■製品サービスの特長

Amazon EMR

Amazon EMR は、大量のデータを迅速、容易に、かつコスト効果よく処理するためのウェブサービスです。Amazon EMR は、ビッグデータ処理を簡略化し、動的にスケーラブルな Amazon EC2 インスタンス間の莫大な量のデータを処理し、配信するための、簡単、迅速、費用対効果が高い、マネージド型 Hadoop フレームワークを提供します。また、Apache Spark や Presto などの一般的な他のフレームワークを Amazon EMR で実行することや、Amazon S3 や Amazon DynamoDB などの他の AWS データストア内でデータを操作することができます。Amazon EMR は、ログの分析、ウェブインデックス、データウェアハウジング、機械学習、財務分析、科学シミュレーション、生物情報科学研究を含む、お客様のビッグデータを確実かつ安全に処理します。

Amazon EMR のバージョニングリリースにより、EMR cluster で Apache Hadoop および Spark エコシステムのアプリケーションを含む最新のオープンソースプロジェクトを簡単に選択して使用できます。ソフトウェアは Amazon EMR によってインストールおよび設定されるので、管理タスクに費やす時間を短縮してデータの値を増やすことに集中できます。

使いやすい

Amazon EMR クラスターは数分で起動できます。ノードのプロビジョニング、クラスターのセットアップ、Hadoop の設定、クラスターのチューニングなど、わずらわしい作業は不要です。Amazon EMR がこのような作業を行いますので、お客様は分析に専念できます。

低コスト

Amazon EMR の料金体系は予想がしやすくシンプル: 使用するインスタンスの時間ごとに 1 時間単位で料金を支払います。10 ノードの Hadoop クラスターの運用をわずか 0.15 USD/時間で開始できます。Amazon EMR は Amazon EC2 のスポットインスタンスとリザーブドインスタンスをネイティブサポートしているため、基盤となるインスタンスのコストを 50～80%節約することもできます。

伸縮自在性

Amazon EMR は、コンピューティングインスタンスを 1 つでも数百、数千でもプロビジョニングできるため、あらゆる規模のデータ処理に対応します。インスタンス数は簡単に増減でき、お支払いは使った分のみの従量料金制です。

信頼性

クラスターの調整やモニタリングにかかる労力も削減できます。Amazon EMR にはクラウド用の調整された Hadoop があり、クラスターをモニタリングして失敗したタスクを再試行し、自動的にパフォーマンスの低いインスタンスを置き換えます。

安全性

Amazon EMR は Amazon EC2 インスタンスへのネットワークアクセスを制御するファイアウォールの各種設定を自動的に構成します。また、お客様が定義する論理的に隔離されたネットワークである Amazon Virtual Private Cloud(VPC)内にクラスターを起動することもできます。EMRFS を使った Amazon S3 のサーバー側暗号化とクライアント側暗号化、クラスターの HDFS とローカルディスクの暗号化、さまざまなアプリケーションで移動中の暗号化を実行するオープンソースの機能といった Amazon EMR のセキュリティ設定を使用すると、保管中および移動中のデータの暗号化を簡単に有効にできます。

柔軟性

お客様がクラスターのすべてを制御することができます。お客様は各インスタンスへのルートアクセス権限を持ち、簡単にその他のアプリケーションを追加し、クラスターごとに設定をカスタマイズできます。また Amazon EMR は、複数の Hadoop ディストリビューションとアプリケーションをサポートしています。

製品・サービス名称	**Amazon EMR**		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項	
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	使用するインスタンスの時間ごとに 1 時間単位での料金の支払となります。支払い方法には、オンデマンド、リザーブドインスタンス、およびスポットインスタンスの 3 つがあり、リザーブドインスタンスの場合には大幅な割引となります。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Elasticsearch Service
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/elasticsearch-service/

■製品サービスの特長

Amazon Elasticsearch Service

Amazon Elasticsearch Service は、AWS クラウドで Elasticsearch を簡単にデプロイ、操作、スケーリングできるようにするマネージドサービスです。Elasticsearch はログ分析、リアルタイムのアプリケーションモニタリング、クリックストリーム分析などのユースケース向けの、人気の高いオープンソースの検索および分析エンジンです。Amazon Elasticsearch クラスターは AWS マネジメントコンソールから数分でセットアップし、設定できます。Amazon Elasticsearch Service によってクラスターのすべてのリソースがプロビジョニングされ、起動されます。障害が発生した Elasticsearch ノードが自動的に検出および交換されるため、自己管理型のインフラストラクチャおよび Elasticsearch ソフトウェアに関連するオーバーヘッドを削減できます。Amazon Elasticsearch Service を使用して単一の API 呼び出しで、または AWS マネジメントコンソールで数回クリックして簡単にクラスターをスケールできます。Amazon Elasticsearch Service では、Elasticsearch のオープンソース API に直接アクセスできます。そのため、既存の Elasticsearch 環境で使用しているコードとアプリケーションがシームレスに機能します。

シンプルなデプロイ

Amazon Elasticsearch Service を使用して、AWS クラウドに Elasticsearch を簡単にデプロイできます。AWS マネジメントコンソールまたは簡単な API 呼び出しを使用して、すぐに運用準備が整った Amazon Elasticsearch クラスターにアクセスできます。インフラストラクチャのプロビジョニング、および Elasticsearch ソフトウェアのインストールや管理について心配する必要はありません。

管理が簡単

Amazon Elasticsearch Service によって高い可用性の確保、パッチ管理、障害検出、ノードの交換、バックアップ、モニタリングなどの時間がかかる管理タスクを簡素化でき、より価値の高いアプリケーション開発に集中できます。

スケーラブル

Amazon Elasticsearch Service では、Amazon CloudWatch メトリックスによってクラスターをモニタリングし、単一の API 呼び出しまたは AWS マネジメントコンソールでのクリック数回でクラスターを拡大または縮小できます。

Logstash および Kibana との統合

Logstash はログなどのイベントデータを処理し、Elasticsearch にロードできるようにするオープンソースのデータパイプラインです。Kibana は Elasticsearch のデータをより理解しやすくする、オープンソースの分析および視覚化プラットフォームです。Amazon Elasticsearch Service には Kibana が標準で組み込まれており、Logstash との統合をサポートしています。

高い費用対効果

Amazon Elasticsearch Service によって、Elasticsearch を設定および管理するための費用を削減できます。データと使用パターンの変化に合わせて最適なパフォーマンスが得られるようにクラスターをスケールアップまたはダウンできるため、発生する費用は実際に使用したリソースの分のみです。オンデマンド料金では時間単位でリソースの料金が発生するため、長期契約は必要ありません。また、ハードウェアのプランニング、購入、維持に伴うコストや手間から解放されます。

安全性

AWS Identity and Access Management (IAM) のポリシーを使用して Elasticsearch API へのアクセスを制限できます。IAM のポリシーによって、アプリケーションは Amazon Elasticsearch クラスターに安全にアクセスできます。

製品・サービス名称	Amazon Elasticsearch Service		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）		
費用	Amazon Elasticsearch インスタンス時間、Amazon EBS ストレージ（オプションを選択している場合）、通常のデータ転送に対して料金が発生します。新規アカウントには 1 年間の無料利用枠が設定されていますのでその範囲で自由にトライアル利用が可能です。https://aws.amazon.com/jp/free/		
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/		
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。		
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数
問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp	

製品・サービス名称	**AWS Lambda**
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/lambda/

■製品サービスの特長

AWS Lambda はイベント発生時にお客様のコードを実行し、基盤となるコンピューティングリソースをお客様に代わって管理する、サーバーレスコンピューティングサービスです。AWS Lambda を使用すると、カスタムロジックを使って AWS の他のサービスを拡張することや、AWS の規模、パフォーマンス、セキュリティを活用して運用する自社のバックエンドサービスを作成することができます。AWS Lambda では、複数のイベント（Amazon API Gateway 経由の HTTP リクエスト、Amazon S3 バケット内のオブジェクト変更、Amazon DynamoDB 内のテーブル更新、AWS Step Functions 内の状態遷移など）に応答して、自動的にコードが実行されます。

AWS Lambda は可用性の高いコンピューティングインフラストラクチャで、お客様のコードを実行しコンピューティングリソースの管理をすべて担当します。これにはサーバーおよびオペレーティングシステムの管理、キャパシティーのプロビジョニングおよび自動スケーリング、コードおよびセキュリティパッチのデプロイ、モニタリングおよびロギングなどが含まれます。お客様はコードを書くだけです。

AWS Lambda の利用

AWS Lambda の利用を開始するのは簡単です。まずコードをアップロード（または Lambda コンソールで直接構築）して関数を作成し、メモリ、タイムアウト時間、AWS Identity and Access Management (IAM) の役割を選択します。次に、関数をトリガーする AWS リソースとして特定の Amazon S3 バケット、Amazon DynamoDB テーブル、Amazon Kinesis ストリームのいずれかを指定します。リソースが変更されると、Lambda は関数を実行し、受信リクエストに対応するために必要なコンピューティングリソースを開始および管理します。

AWS Lambda には、学ばなければならない新しい言語、ツール、フレームワークがありません。ネイティブライブラリも含め、サードパーティーのライブラリを使用できます。コード（フレームワーク、SDK、ライブラリ、その他）は Lambda Layer としてパッケージ化し、これを管理して複数の関数で共有できます。Lambda は、ネイティブでは、Java、Go、PowerShell、Node.js、C#、Python、Ruby のコードをサポートしています。また、関数の作成にその他のプログラミング言語を使用できるようにするための Runtime API を提供しています。

完全に自動化された管理

AWS Lambda はコードを可用性の高い、耐障害性を備えたインフラストラクチャで実行するためにインフラストラクチャをすべて管理するため、お客様は差別化されたバックエンドサービスの構築に注力できます。Lambda を使用すれば、パッチがリリースされた際に基盤となる OS を更新したり、使用量の増加に合わせてサーバーのサイズ変更や追加を考えたりする必要はありません。AWS Lambda はコードをシームレスにデプロイし、すべての管理、メンテナンス、セキュリティパッチの適用を担当し、Amazon CloudWatch によって組み込みのロギングおよびモニタリング機能を提供します。

自動スケーリング

AWS Lambda は必要なときだけコードを実行し、リクエスト受信の回数に合わせて自動的にスケールします。お客様は何も設定する必要がありません。コードが処理できるリクエスト数に上限はありません。AWS Lambda は基本的にイベントの発生からミリ秒単位でコードを実行します。また Lambda は自動的にスケールするため、イベントの頻度が上昇しても一貫して高いパフォーマンスを維持できます。コードがステートレスなので、Lambda は時間のかかるデプロイや設定によって遅れが出ることなく必要な数だけインスタンスを実行できます。

利用に応じた支払い

AWS Lambda では、送信したリクエストとコードを実行するために要した処理時間の分のみ料金が発生します。料金は 100 ミリ秒の増分で計算されます。コスト効率がよく、1 日に数件のリクエストから 1 秒に数千件のリクエストまで簡単に自動でスケールできます。

製品・サービス名称	**AWS Lambda**

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	関数全体に対する合計リクエスト数、割り当てたメモリ量に応じて料金が発生します。実行時間はコードの実行が開始された瞬間からコードが返された時間あるいは中止された時間までで計算され、100 ミリ秒単位で切り上げられます。1 ヶ月あたり一定の Lambda の無料利用枠があります。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon DynamoDB
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/dynamodb/

■製品サービスの特長

Amazon DynamoDB

Amazon DynamoDB は、どのような規模でも信頼性が高いパフォーマンスを維持できる、非リレーショナルデータベースです。この完全マネージドサービスには、応答性の高いデータアクセスを必要とする最先端のアプリケーション用のグローバルにスケーラブルなデータストアを開発者が作成するのに役立つ、多くの機能が含まれています。

スケールに応じたパフォーマンス

Amazon DynamoDB Accelerator (DAX) はフルマネージドで高可用性の DynamoDB 用インメモリキャッシュで、テーブルからの読み取りパフォーマンスを大幅に向上させます。DAX は、1 秒あたり 100 万単位のリクエストを処理する場合でも、最大で 10 倍の DynamoDB テーブルの読み取りパフォーマンス向上（ミリ秒からマイクロ秒）を実現します。

DynamoDB では、柔軟なスキーマで簡単にスケールできるように設計されたキーと値のデータ構造をサポートしています。各項目（行）はキーと値のペアになっており、テーブル内の項目の属性に必要なのはプライマリキーのみで、プライマリキーが各アイテムを一意に識別します。DynamoDB では、ドキュメントの保存、クエリ、更新もサポートしています。AWS SDK を使用すると、JSON ドキュメントを直接 DynamoDB テーブルに保存するアプリケーションを構築できます。

DynamoDB では、任意の属性（列）に対して効率的にクエリを実行できる柔軟なセカンダリインデックスを利用できます。テーブルからのセカンダリインデックスの作成や削除はいつでも実行できます。

DynamoDB ストリームを使用すると、最新の項目レベルの変更を追跡したり、24 時間以内の項目レベルの更新をすべて取得したりできます。また、取得したデータを使用して独創的なアプリケーションを構築し、レプリケーション、マテリアライズドビュー、バックアップ、および他のサービスとの統合などの機能を実現できます。

DynamoDB は、AWS Lambda と統合され、トリガーを実現しています。トリガーを用いると、項目レベルの変更が DynamoDB テーブルで検出されたときに自動的にカスタム関数を実行できます。

フルマネージド

グローバルテーブルは、高速な読み取りおよび書き込みパフォーマンスを実現する、フルマネージドのマルチリージョン、マルチマスターのデータベースを提供し、選択する AWS リージョン全体にわたって DynamoDB テーブルを自動的にレプリケートします。 ポイントインタイムリカバリ (PITR) は、お客様の DynamoDB テーブルデータを連続的にバックアップします。これを有効にしておくと、DynamoDB はお客様のテーブルの直近 35 日間分の増分バックアップを、お客様が明示的にオフにするまで行います。

オンデマンドバックアップおよび復元

オンデマンドバックアップおよび復元で、DynamoDB テーブルのデータの完全なバックアップを作成してアーカイブできます。これを利用して企業および行政の規制要件を満たすことができます。数メガバイトから数百テラバイトまでのデータを持つテーブルを、本番アプリケーションのパフォーマンスや可用性に影響を与えずにバックアップできます。

保管時の暗号化

保管時の暗号化では、AWS 管理の暗号化キーを使用して DynamoDB のデータを保護します。その暗号化キーは AWS Key Management Service に保存されます。保管時の暗号化は、ユーザーにとって完全に透過的で、すべての DynamoDB クエリは暗号化されたデータ上でシームレスに実行されます。アプリケーションコードを変更する必要はありません。

きめ細かなアクセス制御

DynamoDB は、ユーザー認証と不正アクセスの防止に実績ある暗号化技術を採用しています。また、AWS Identity and Access Management との統合により、組織内のユーザーのアクセスを細かく管理することもできます。

製品・サービス名称	Amazon DynamoDB

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	テーブルが消費するディスク容量の GB あたりの料金が課金されます。毎月最初の 25 GB までは無料です。プロビジョニングするスループットタイプにより費用が異なります。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Kinesis
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/kinesis/

■製品サービスの特長

Amazon Kinesis

Amazon Kinesis でストリーミングデータをリアルタイムで収集、処理、分析することが簡単になります。Amazon Kinesis はストリーミングデータをコスト効率を考慮してあらゆる規模で処理する機能と、アプリケーションの要件に最適なツールを選択できる融通性を備えています。Amazon Kinesis をお使いになると、機械学習、分析、その他のアプリケーションに用いる動画、音声、アプリケーションログ、ウェブサイトのクリックストリーム、IoT テレメトリーデータをリアルタイムで取り込めます。Amazon Kinesis はデータを受信するとすぐに処理および分析を行うため、すべてのデータを収集するのを待たずに処理を開始して直ちに応答することが可能です。

完全マネージド型

Amazon Kinesis は完全マネージド型ですので、インフラストラクチャを管理する必要なく、ストリーミングアプリケーションを実行できます。

スケーラブル

Amazon Kinesis はサイズの上限なくストリーミングデータに対応し、数千ものソースからのデータをとても低いレイテンシーで処理できます

機能

Amazon Kinesis Video Streams を使用すると、分析、機械学習 (ML)、およびその他の処理のために、接続されたデバイスから AWS へ動画を簡単かつ安全にストリーミングできるようになります。Kinesis Video Streams によって、数百万ものデバイスからの動画のストリーミングデータを取り込むために必要なすべてのインフラストラクチャが自動的にプロビジョニングされ、伸縮自在にスケールされます。また、ストリーム内の動画データに対して堅牢な保存、暗号化、インデックス作成が実行され、使いやすい API によってデータにアクセスできるようになります。Kinesis Video Streams を使うと、ビデオをライブ、オンデマンドの視聴のために再生し、また Amazon Recognition Video との統合によってコンピュータービジョンとビデオ分析を活用したアプリケーションを素早く構築でき、Apache MxNet、TensorFlow、OpenCV などの ML フレームワークのためのライブラリを構築できます。

Amazon Kinesis Data Streams では、よく使われるストリーム処理フレームワークを用いてデータストリームを処理する、カスタムの、リアルタイムアプリケーションを構築できます。ウエブサイトクリックストリームやデータベースイベントストリームや金融取引、ソーシャルメディアフィード、IT ログ、ロケーション追跡イベントなど何十万ものソースから毎秒ギガバイトのデータを継続してキャプチャできます。収集データはミリ秒で入手でき、リアルタイム分析をリアルタイムダッシュボードやリアルタイム異常検知などに利用可能です。

Amazon Kinesis Data Firehose は、データストリームを AWS データストアにキャプチャ、変換、ロードし、既存のビジネスインテリジェンスツールを使って準リアルタイムで分析できる最も容易な方法です。ストリーミングデータをキャプチャして変換し、Amazon S3、Amazon Redshift、Amazon Elasticsearch Service、Splunk にロードして、現在お使いの既存のビジネスインテリジェンスツールやダッシュボードで、ほぼリアルタイムに分析することができます。完全マネージド型サービスのため、データスループットに応じて自動的にスケールされ、継続的な管理は不要です。

Amazon Kinesis Data Analytics を使用すると、新しいプログラミング言語や処理フレームワークを習得することなく、SQL を使用してストリーミングデータのクエリやストリーミングアプリケーション全体の構築を行うことができます。

製品・サービス名称	Amazon Kinesis		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項	
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	前払い料金や最低料金はなく、使用したリソースに対してのみお支払いいただきます。Amazon Kinesis の料金は、時間単位のシャード速度と、PUT ペイロードユニットの 2 つの基準に基づいています。Amazon Kinesis ストリームからのレコード取得は無料です。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用			
障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	Amazon Route 53
提供企業名	Amazon Web Services Inc.
紹介サイト URL	https://aws.amazon.com/jp/route53/

■製品サービスの特長

Amazon Route 53

Amazon Route 53 は、可用性が高くスケーラブルなクラウドドメインネームシステム（DNS）ウェブサービスです。Amazon Route 53 は、www.example.com のような名前を、コンピュータが互いに接続するための数字の IP アドレス（192.0.2.1 など）に変換するサービスで、開発者や企業がエンドユーザーをインターネットアプリケーションにルーティングする、きわめて信頼性が高く、コスト効率の良い方法となるよう設計されています。Amazon Route 53 は IPv6 にも完全準拠しています。Amazon Route 53 は、Amazon EC2 インスタンス、Elastic Load Balancing ロードバランサー、Amazon S3 バケットなどの AWS で実行するインフラストラクチャにユーザーリクエストを効率的に接続します。これはユーザーを AWS 外のインフラストラクチャにルーティングするためにも使用できます。Amazon Route 53 を使用して DNS ヘルスチェックを構成し、トラフィックを正常なエンドポイントにルーティングしたり、アプリケーションやそのエンドポイントの正常性を独立してモニタリングしたりすることができます。Amazon Route 53 トラフィックフローでは、さまざまなルーティングタイプ（レイテンシーベースルーティング、Geo DNS、地理的近接性、加重ラウンドロビンなど）を使用してトラフィックをグローバルに簡単に管理できます。このすべてのルーティングタイプを DNS フェイルオーバーと組み合わせることができるため、低レイテンシーのさまざまなフォルトトレラントアーキテクチャを実現できます。Amazon Route 53 トラフィックフローのシンプルなビジュアルエディタを使用して、エンドユーザーをアプリケーションのエンドポイントにルーティングする方法を簡単に管理できます。エンドポイントが 1 つの AWS リージョン内にあるか、世界中に分散しているかは関係ありません。また、Amazon Route 53 ではドメイン名登録も提供します。example.com のようなドメイン名を購入および管理でき、Amazon Route 53 でお客様のドメインの DNS 設定が自動的に構成されます。

Amazon Route 53 の機能

Amazon Route 53 は、数分で開始できる、シンプルなウェブサービスインターフェイスです。DNS レコードは、Route 53 の API で設定する「ホストゾーン」にまとめられます。

Amazon Route 53　API

Route 53 は、貴学ドメインの DNS レコードの作成/管理を容易にする API セットを提供します。これらは直接呼び出すことができます。また、この機能はすべて、AWS Management Console を介してアクセスすることができます。Route 53 API の完全なリストについては、Amazon Route 53 API レファレンスガイドをご参照ください。

Amazon Route 53 グローバルネットワーク

Amazon Route グローバルネットワークの Route 53 は、高可用性を提供し、パフォーマンスを向上させるために、全世界のロケーションで DNS サーバーのグローバルネットワークを使用します。

従量課金制

Route 53 では、前金の支払いは必要なく、貴社のドメインに返答するクエリ数の制限がありません。その他のアマゾン ウェブ サービスと同様、従量制で課金が行われ、使用した分に対してのみ支払いを行います。

製品・サービス名称	Amazon Route 53

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（190 カ国の 100 万を超えるアクティブなお客様が AWS を利用しております。） 大学数（非公開）校：利用大学名（10,000 を超える政府系機関、教育機関および非営利団体が含まれます。　）
費用	実際に使用した分のみをお支払いいただきます。最低料金はありません。ホストゾーン、クエリ、トラフィックフロー、ヘルスチェックドメイン名料金、Amazon Route 53 と Amazon S3 の間の API コールに対して課金されます。
利用条件	規約・法務関係は以下の URL をご参照ください。https://aws.amazon.com/jp/legal/
支払方法	月末締め、アメリカドル、日本円等によるクレジットカード支払い。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店名：https://aws.amazon.com/jp/solutions/partner-central/ をご参照ください。　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（Web からのサインアップ）	利用開始までの期間	15 分程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（https://aws.amazon.com/jp/legal/ ）
データ保存場所	国内・海外（お客様が選択）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（ Web から変更可能 ）	管轄裁判所	国内・海外（ Web から変更可能　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：100%　https://aws.amazon.com/jp/legal/service-level-agreements/ をご参照ください。）		
実績稼働率	有・無・その他（http://status.aws.amazon.com/）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。	QA 対応時間帯	サポートプランにより異なります。Web をご参照ください。
コンタクト方法	電話・メール・その他（チャット）	対応インシデント数	制限はありません。
計画停止の頻度	サービス全体の計画停止はありません。	サービス停止の通知	定めはございません。
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISO27001 / ISO27017 / ISO 27018 / PCI DSS Level1 / FedRAMP / DoD SRG 他多数

問合先	企業名：アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 部署名：パブリックセクター 担当者：千葉、柳生	電話番号： FAX 番号： Mail：aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

製品・サービス名称	**USiZE（ユーサイズ）**
提供企業名	プライベートモデル / シェアードモデル / パブリッククラウドモデル
紹介サイト URL	https://www.scsk.jp/product/

■製品サービスの特長

1. サービスの概要

USiZE は SCSK のクラウド基盤サービスの総称です。

プライベートモデル / シェアードモデル / パブリッククラウドモデル（Amazon Web Services、Microsoft Azure）の各々のモデルもしくはモデルの組み合わせでサービス提供が可能です。

豊富な SI 経験とノウハウをベースに、高信頼なクラウドサービス環境を提供致します。

2. 特徴

(1) インフラ基盤の提供、導入から、監視・運用まで、あらゆる要望に対応する広範囲なサービス提供

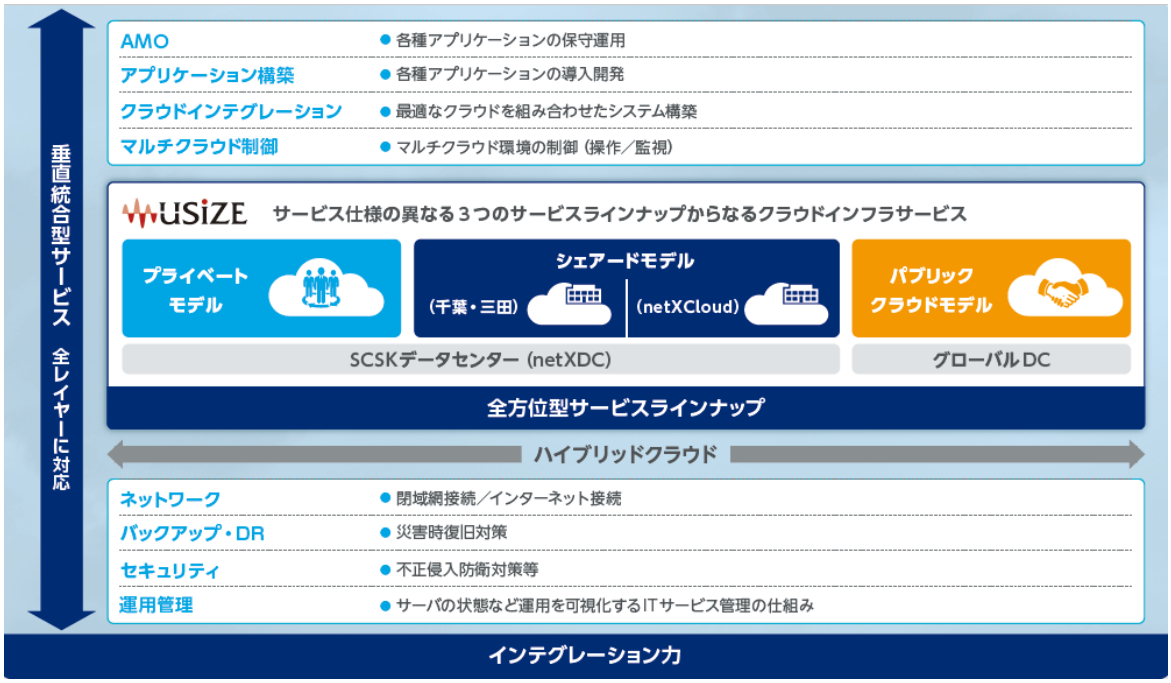
(2) 自社運用から海外の最新クラウドサービスまで、用途に合わせて選べるサービスメニュー

(3) プライベートモデル、シェアードモデル、パブリッククラウドモデルとお客様のニーズに合わせて選択できるラインナップを業務特性に応じて適材適所で配置することで、全体最適化されたインフラ運営を実現します。

3. サービスメニュー

課題やシステム特性に応じて、適切なクラウドを選択いただけます。

また、複数クラウドの相互連携も可能です。



4. 実績

・約 400 社が利用。

・運営基盤である HEARTIL マネジメントセンターが企業情報化協会平成 25 年度(第 31 回) IT 賞受賞

製品・サービス名称	**USiZE（ユーサイズ）プライベートモデル / シェアードモデル / パブリッククラウドモデル**

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	民間実績（約 400）社：利用企業名（大和ハウス工業㈱様、パイオニア㈱様、前田建設工業㈱様、他） 大学実績（ 10 ）校：利用大学名（埼玉大学様、他　　）
費用	・初期費用: ¥0～　　・ランニング費用: ¥6,500.-～（1vCPU/0.5GB メモリ）※モデル毎に異なる ・課金単位: 時間課金、月額課金
利用条件	【クラウドの場合】大学、研究機関全般 ・最低利用期間: 無し(1 ヶ月未満の場合は利用分のみ精算)※モデル毎に異なる
支払方法	ご利用月翌月末現金支払い(支払い通貨:日本円)
販売代理店	無、有（代理店名：　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（契約書締結）	利用開始までの期間	契約締結後、即日～10 営業日
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（一部パブリッククラウドモデル）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（一部パブリッククラウドモデル）	管轄裁判所	国内・海外（一部パブリッククラウドモデル）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：稼働率目標値　99.99%：シェアードモデル）		
実績稼働率	有・無・その他（99.993%：シェアードモデル）	実績稼働率	有・無・その他（99.993%：シェアードモデル）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	ストレージ	多重化有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（個別構築で利用可能）	データ暗号化	有・無・その他（個別構築で利用可能）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定（個別構築で利用可能）
管理ツール	有・無・その他（モデル毎に異なる）	API 公開	有・無・その他（モデル毎に異なる）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	24 時間 365 日受付(メール)
コンタクト方法	電話・メール：モデル毎に異なる	対応インシデント数	無
計画停止の頻度	不定期	サービス停止の通知	有
ログの開示	有・無（内容はモデル毎に異なる）	第三者認証取得状況	P マーク、データセンターにて取得：ISMS,BCMS,ITSMS

問合先	企業名：SCSK 株式会社 部署名：IT マネジメント事業部門 担当者：USiZE 担当宛	電話番号： FAX 番号： Mail：usize-info@ml.scsk.jp

製品・サービス名称	SINET 接続サービス
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ad.jp/education/solution/sinet.html

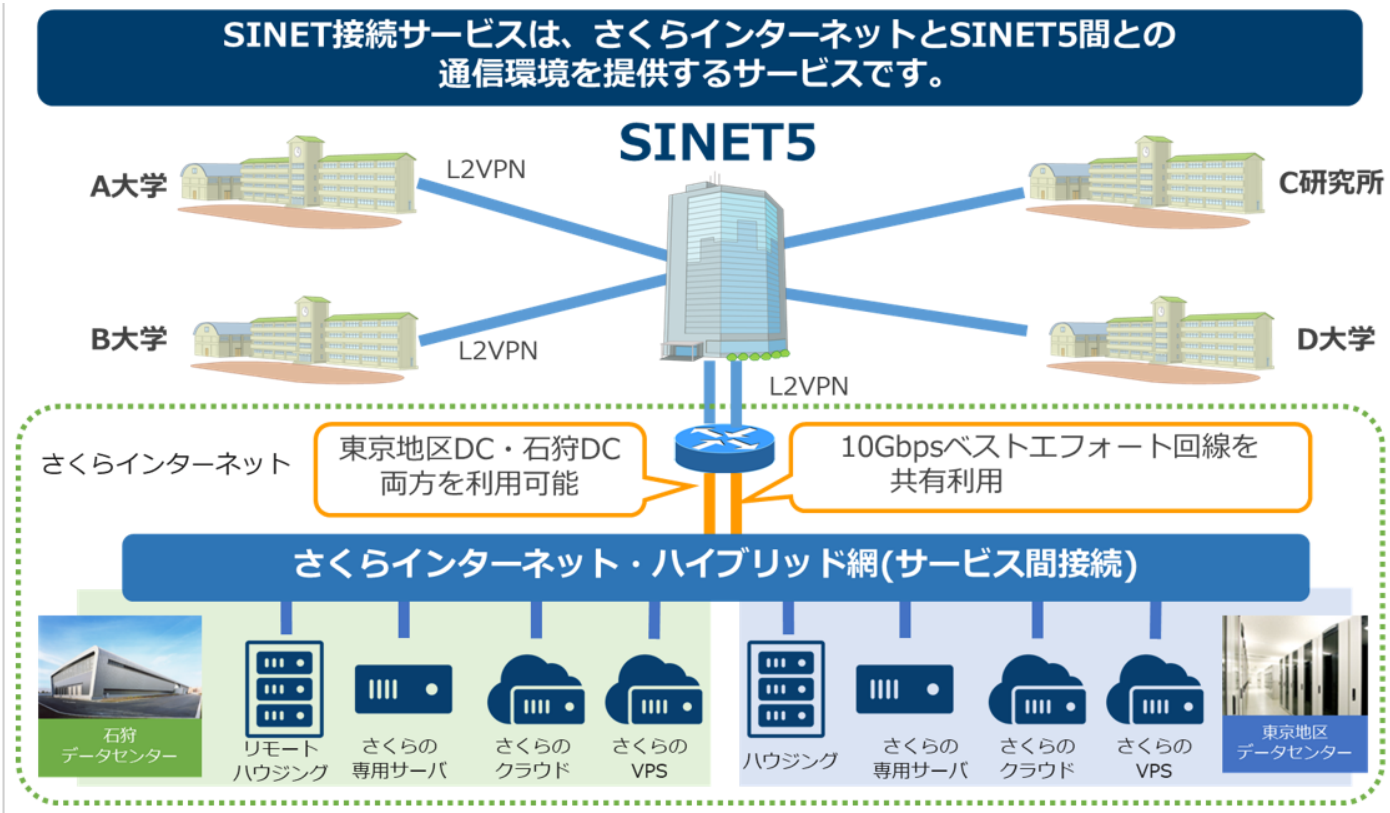
■製品サービスの特長

●学術研究機関のキャンパスネットワークを、さくらインターネットのデータセンターまで拡張するサービスです。

●ネットワークは１０Ｇｂｐｓベストエフォートで、全域が冗長化されています。

●すでにＳＩＮＥＴ接続のある学術研究機関であれば、追加機器も必要なく、設定の投入だけでご利用になれます・

●さくらインターネットの全国拠点の複数サービスを組み合わせてご利用可能です。



SINET接続サービスから利用可能なサービス

		ロケーション		
		石狩DC	東京DC	大阪DC
サービス	さくらのクラウド	○	○	
	さくらのVPS	○	○	○
	さくらの専用サーバ	○	○	
	ハウジング	○	○	○
	リモートハウジング	○		

※SINET100Gbps サービスを利用した別サービスもございますので、営業部までお問合せ下さい。

製品・サービス名称	SINET 接続サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照　http://case.sakura.ad.jp/case/） 大学数（非公開）校		
費用	初期費用なし、1 VPN 当たり月額 15,000 円		
利用条件	ご利用拘束期間は１２ヶ月間となります。		
支払方法	当社の他のサービスと同時のご請求、お支払いとなります。 お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有（代理店名：代理店一覧：http://partner.sakura.ad.jp/partners.html）		
■契約			
申込み方法	申込み書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	１ヶ月程度
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開　　）	目標稼働率	有・無・その他（非公開　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（Active ＆ Standby）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（　　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 9：45-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：		電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail：edu-ml@sakura.ad.jp

製品・サービス名称	さくらのクラウド
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://cloud.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

実際にサーバやスイッチがあるような直感的操作が可能な IaaS 型クラウドです。

リージョン	東京
	石狩

高性能

最大 20 コア、224GB メモリまでの充実のスペック

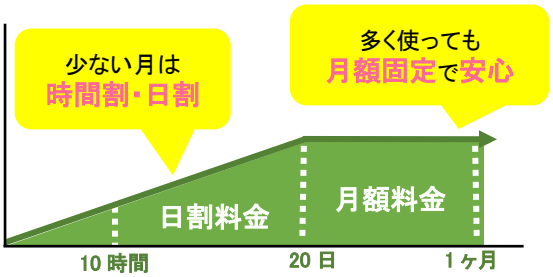
低価格

初期費用無料、月額 1,540 円から始められます

月額 1,540 円～、1 日 77 円、1 時間 7 円 ※ディスク料金除く

わかりやすい料金体系

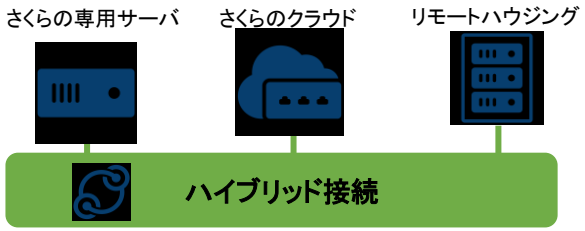
初期費用無料、データ転送量による従量課金なし！



時間割・日割・月額からもっとも安い料金が自動で適用されます。
事前に料金計算できるため予算確定、稟議処理も簡単です。

クラウドと異種サービスを接続できる

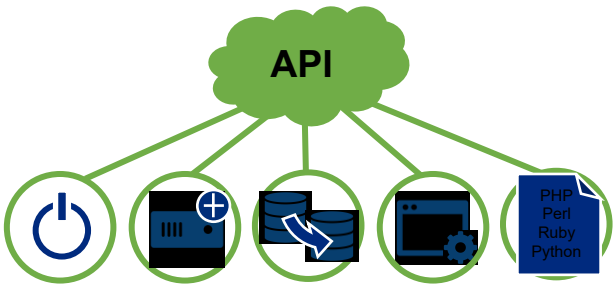
さくらのサービスメリットを最大化！



ローカルセグメントを同一ネットワークで接続し、複数サービスを自由に組み合わせたハイブリッド構成が人気です。
※詳しくはご相談下さい。

クラウド API で業務を効率化

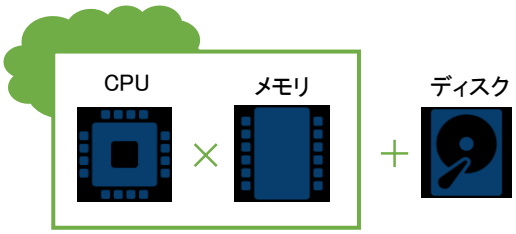
外部プログラムからサーバやインフラを操作！



サーバの作成から削除まで、クラウドの振る舞いのほとんど全てをプログラミングすることが可能です。

選べるプラン 94 種類

最大 20 コア×224GB メモリの充実スペック！



CPU とメモリを自由に組み合わせてサーバを選択、コントロールパネルからすぐに作成できます。

標準提供機能

セットアップ済み提供 OS あり / インターネット接続回線は共有 100Mbps を無料でご提供 / 1 つの仮想サーバにつき、1つのグローバル IP アドレスを付与 / コントロールパネルの提供/ 2 段階認証/WAF の提供（一部 OS）/マーケットプレイス

有償オプション

Window Server（石狩リージョンのみの提供）/ アーカイブ / バックアップ / ISO アップロード / ブリッジ接続 / スイッチ / ルータ+スイッチ（インターネット接続回線の集約・増速）/ 追加 IP アドレス / ロードバランサ / VPC ルータ / GSLB（広域負荷分散）/ DNS / Sophos UTM / オブジェクトストレージ / ハイブリッド接続 / SINET 接続 / AWS 接続 / 改ざん検知

製品・サービス名称	さくらのクラウド		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照　http://case.sakura.ad.jp/case/） 大学数（非公開）校：利用大学名（国立情報学研究所、桜美林大学 他）		
費用	初期費用 0 円、ランニング費用：仮想サーバのタイプ、台数、オプションの有無により、時間割、日割、月額から最も安い料金で課金が発生します。		
利用条件	【クラウド】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払い、お支払い方法は、クレジットカード払いとなります。ただし、お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有（代理店名：代理店一覧：http://partner.sakura.ad.jp/partners.html）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンライインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：月間のサーバ稼働率が、99.95%以上）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（　　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 9：45-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、PCIDSS
問合先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：		電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail：edu-ml@sakura.ad.jp

製品・サービス名称	さくらの VPS
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://vps.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

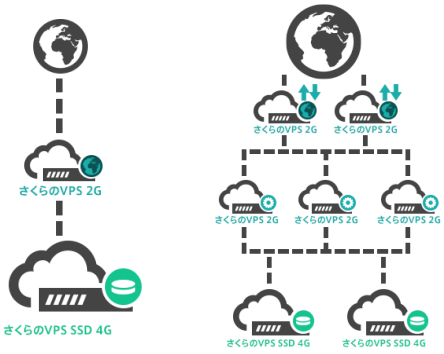
さくらの VPS が全面リニューアルしました！！

◎ 全プランで SSD を標準搭載しスループットが向上！

◎ 全プランで初期費用が無料に！

◎ 最大 2 倍のストレージ増量や月額料金の最大 50%値下げ！

ローカルネットワーク　台数無制限！複数台構成も低価格で構築できます



1 台からはじめて、サービス規模の拡張に合わせて複数台に！
コントロールパネル上の簡単操作でスケールアウトが可能です。

セキュリティ向上　IP アドレスの拡張

各サーバは 3 つのネットワークインタフェースをもつため、グローバル、ローカルの 2 層ネットワークだけでなく、ローカル側を複数セグメント化した 3 層構成も可能。これにより大規模なシステムを VPS で実現できるようになります。

※最大 10 セグメントまで利用可能

ハイブリッド　全国三カ所に VPS の地理的な分散が可能です

さくらの VPS を、石狩（北海道）、東京地区、大阪地区の全国 3 カ所に分散配置し同一の L2 ネットワーク上で連携稼働させることが可能です。

（石狩）　（東京）　（大阪）

ハイブリッド　異種サービスの連携運用が可能です

「さくらの VPS」と「さくらのクラウド」、「さくらの専用サーバ」、「ハウジング」を同一の L2 ネットワークで連携稼働させることが可能です。

製品・サービス名称	さくらの VPS

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照　http://case.sakura.ad.jp/case/） 大学数（非公開）校
費用	Linux 版：初期費なし、月額費用 585 円（税抜き）～ Windows 版：初期費なし、月額費用 1,000 円（税抜き）～
利用条件	２週間の無料ご試用が可能。ご利用拘束期間は３ヶ月間となります。
支払方法	標準は前払い、お支払い方法はクレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。
販売代理店	無、有（代理店名：代理店一覧：http://partner.sakura.ad.jp/partners.html）

■契約

申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開　　）	目標稼働率	有・無・その他（非公開　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（運用側にて取得）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 9：45-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等

問合先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail：edu-ml@sakura.ad.jp

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://server.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

物理サーバの性能とクラウドの使い勝手を兼ね備えたまったく新しい専用サーバサービス

従来の専用サーバは、お申し込みから利用開始まで日数を要し、サーバを増やしたくてもすぐには増やせず、OS インストールやサーバ再起動は事業者に依頼する形のサービスが一般的でした。

「さくらの専用サーバ」のコンセプトは、”オンデマンド・セルフサービス・スケールアウト”。
クラウドに迫る使い勝手と、専有ならではの圧倒的パフォーマンスを実現しました。

オンラインのお申込みから、最速10分で提供！

「すぐにサーバを利用したい」「すぐにサーバを増やしたい」というニーズにお応えします。導入しやすい低価格モデルはもちろん、初期費用の分割払い※をお選びいただくことで、ハイスペックモデルも初期コストを抑えた導入が可能です。豊富なサーバラインアップと選べる料金プランで「イニシャルコストを抑えたい」「ランニングコストを抑えたい」双方のご要望に合わせてお選びいただけます。

※通常は一括払いである初期費用を、分割してお支払いいただく方法です。

最新CPUを搭載！ioMemory、SSDも利用可能

全シリーズにXeonを採用、最新のE5系プロセッサもラインアップ。
SATA HDD搭載モデルはもちろん、高性能なSAS HDDやSSD、超高速なFusion-io社のioMemoryを搭載したモデルからお選びいただけます。これらのストレージラインアップから、用途に合わせた自在なスケールアップも可能です。

抜群のセルフサービス機能を標準提供

OSインストールをはじめ、サーバ再起動やコンソール操作等がセルフサービスで行えるツールを標準提供。

▸ コントロールパネル
自社独自開発のコントロールパネルを標準提供。サーバの再起動、OSインストール、各種サーバ情報の取得が可能。

▸ IPMIツール
サーバのハードウェアや、コンソール画面へのアクセスも可能。トラブル時にエラーメッセージを確認したり、インターネットに接続されていない状態でサーバを起動できます。

利用サーバ台数は無制限。複数台構成の設定も簡単です

ローカルネットワーク側での複数台構成が簡単に設定可能。サーバ台数に制限はありません。
サーバシリーズの組み合わせも自由なため、要件に応じた自在なシステム構成が可能です。

■オプションサービス

- ・専用グローバルネットワーク
- ・グローバル回線
- ・L2 ファイアウォールサービス
- ・L3 VPN ファイアウォールサービス
- ・ロードバランサーサービス
- ・ハイブリッド接続/SINET 接続
- ・メモリ、ストレージアップグレードサービス
- ・WAF、改ざん検知サービス

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照　http://case.sakura.ad.jp/case/） 大学数（非公開）校
費用	無料トライアル有り。 4 core/8 GB メモリ・ハードウェア占有型で月額 9,900 円～（別途初期費用が必要）
利用条件	最低利用期間は 3 ヶ月間です。
支払方法	標準は前払い、お支払い方法はクレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。
販売代理店	無、有（代理店一覧：http://partner.sakura.ad.jp/partners.html　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時～数営業日
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：月間のサーバ稼働率が 99.95%以上を保証）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 9:45～18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等

問合先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail：edu-ml@sakura.ad.jp

製品・サービス名称	Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://meraki.cisco.com/ja/content

■製品サービスの特長

クラウド型管理で IT をシンプルに

クラウド 管理型ネットワーキング ソリューション

アクセスポイント、スイッチ、セキュリティ、SD-WAN、ネットワークインサイト、端末管理のEMM、セキュリティカメラ

クラウド管理型ネットワーキングのリーダー

シスコで最も急成長を遂げているポートフォリオの１つ

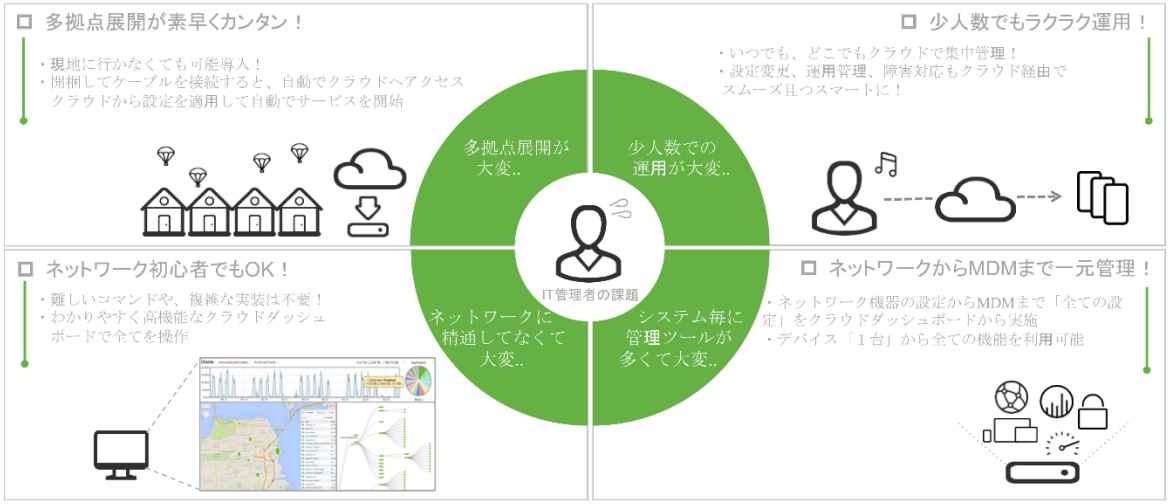
25万社超
ユニークカスタマー

350万台超
Meraki デバイス
導入実績

550万人超
のアクティブな
Meraki Dashboardユーザ

cisco Meraki

Cisco Meraki の特徴



cisco Meraki

製品・サービス名称	Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項			
契約実績	マサチューセッツ工科大学、スタンフォード大学など多数。龍谷大学様、東京海洋大学様、静岡理工科大学様、新静岡学園様など日本でもご導入実績がございます。クラウド Wi-Fi マーケットではグローバルで約 68%のシェアをいただいております。詳しくは弊社までお問い合わせください。		
費用	Cisco Meraki のウェビナーにご出席のエンドユーザさまには無償アクセスポイントを配布しております。 また、無償でのトライアルプログラムも提供しております。基本的には、ハードウェア(スイッチ、アクセスポイントなど)と利用ライセンス(1,3,5,7,10 年)をご購入いただく必要がございます。詳しくは弊社までお問い合わせください。		
利用条件	弊社のクラウドサーバとの接続によりファイアウォールの設定を変更いただく必要がある場合がございます。		
支払方法	弊社までお問い合わせください。		
販売代理店	有		

■契約			
申込み方法	弊社までお問い合わせください。	利用開始までの期間	弊社までお問い合わせください。
約款の有無	弊社までお問い合わせください。	約款修正の可能性の有無	弊社までお問い合わせください。
データ保存場所	国内・海外	データ削除規定の有無	有
準拠法		管轄裁判所	

■信頼性			
SLA	有　（SLA 内容：稼働時間 99.99%を保証）		
実績稼働率	非公開	目標稼働率	99.99%
ストレージ	多重化有	バックアップ	有
データ暗号化	有	暗号化通信	有

■機能			
SINET 接続	弊社までお問い合わせください。	VPN 接続	対応
学認対応	弊社までお問い合わせください。	LDAP 連携	対応
管理ツール	有	API 公開	有

■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H/365D
コンタクト方法	電話・メール・管理ツール	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	なし	サービス停止の通知	停止予定なし
ログの開示	弊社までお問合せください	第三者認証取得状況	SAS70 type II / SSAE16

問合先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：公共事業 東日本営業本部 文教担当　米谷 昌己	電話番号：03-6434-2278 Mail：cisco-edu-j@cisco.com

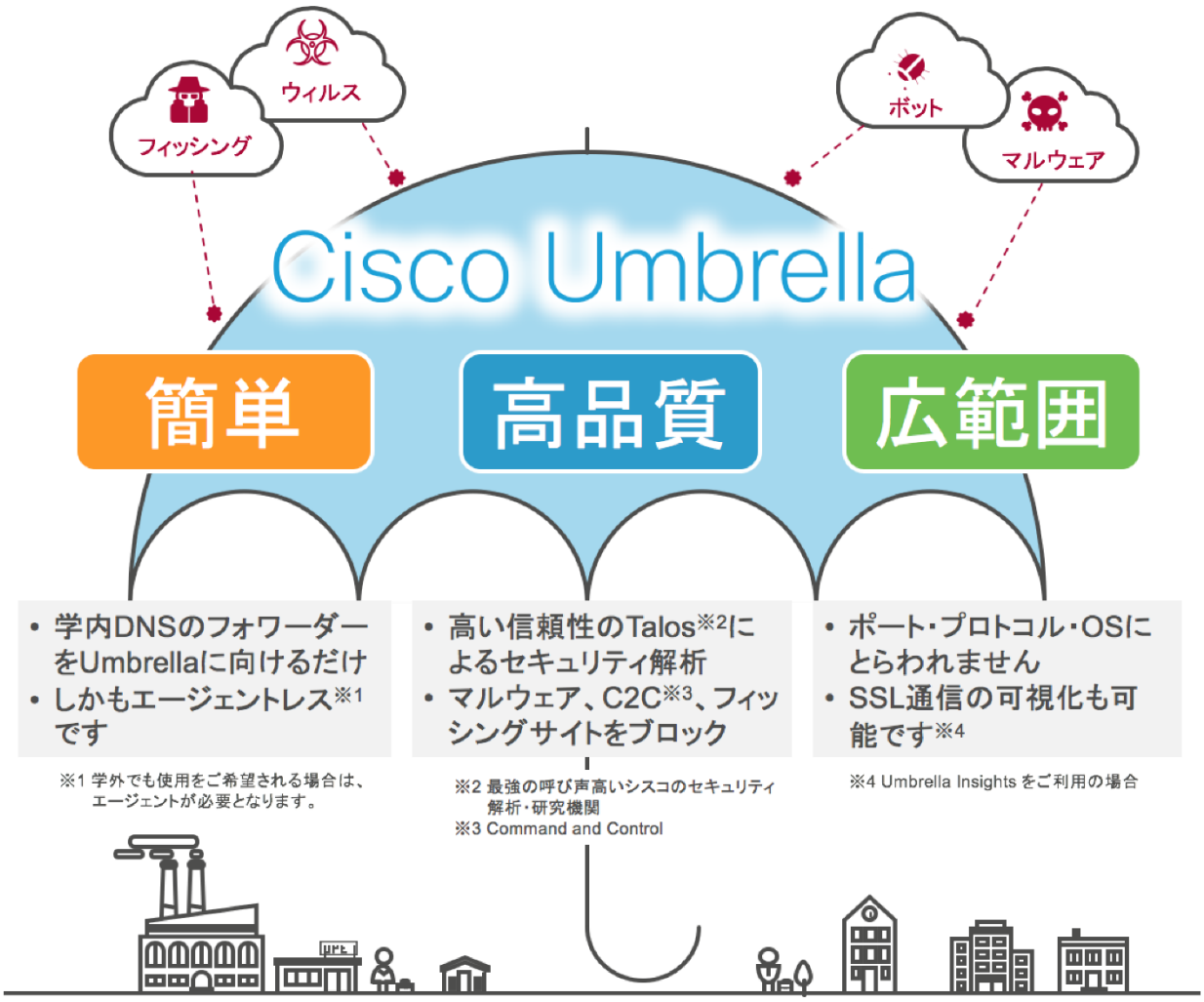
2019.11.19　Ver.0.5

製品・サービス名称	Cisco Umbrella
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/umbrella/index.html

■製品サービスの特長

■Cisco Umbrella とは

Cisco Umbrella は、DNS レベルで攻撃を防御する新ソリューションです。ユーザは基本的に学内の DNS サーバのフォワーダーに Cisco Umbrella を設定するだけでサービスを享受することができます。マルウェアの防御はもとより、フィッシングやボットネット通信、DNS トンネリングのブロックにも威力をエージェントレスにて発揮します。また、グレーな SSL 通信の可視化も可能です（サービスレベル Insights, Platform ご利用の場合）。シャドーIT を含めた SaaS 利用状況の可視化と制御も可能になります。



Umbrellaは均一したセキュリティを施しにくい大学の特性にピッタリのソリューションです

製品・サービス名称	Cisco Umbrella		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項			
契約実績	法人数（ 優良企業多数 ）社：利用企業名（https://www.opendns.com/enterprise-security/customers/） 大学数（ 未公表 ）校：利用大学名（ 未公表 ）		
費用	トライアル可能。アカデミックプライス適用。 ユーザー数に応じた価格設定（1年、3年、5年契約）		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、10ユーザー　最低利用期間、1年		
支払方法	販売代理店に依存		
販売代理店	無、有（代理店名：https://locatr.cloudapps.cisco.com/WWChannels/LOCATR/openBasicSearch.do）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（販売パートナーへ発注）	利用開始までの期間	数日
約款の有無	有・無（販売パートナーの契約に依存）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（100%）	目標稼働率	有・無・その他（99.999%）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）
■機能			
SINET接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用			
障害対応時間帯	営業時間内	QA対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	不定	サービス停止の通知	緊急の場合は数日前
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	SOC2

問合先	企業名：シスコシステムズ合同会社 部署名：公共事業 東日本営業本部 文教担当　米谷 昌己	電話番号：03-6434-2278 Mail：cisco-edu-j@cisco.com

2019.11.19　Ver.0.5

製品・サービス名称	**FortiCloud**
提供企業名	Fortinet Inc.
紹介サイト URL	https://www.fortinet.com/content/dam/fortinet/assets/data-sheets/ja_jp/FortiCloud_DS.pdf

■製品サービスの特長

FortiCloud クラウド管理型セキュリティソリューション

・ネットワークセキュリティ管理

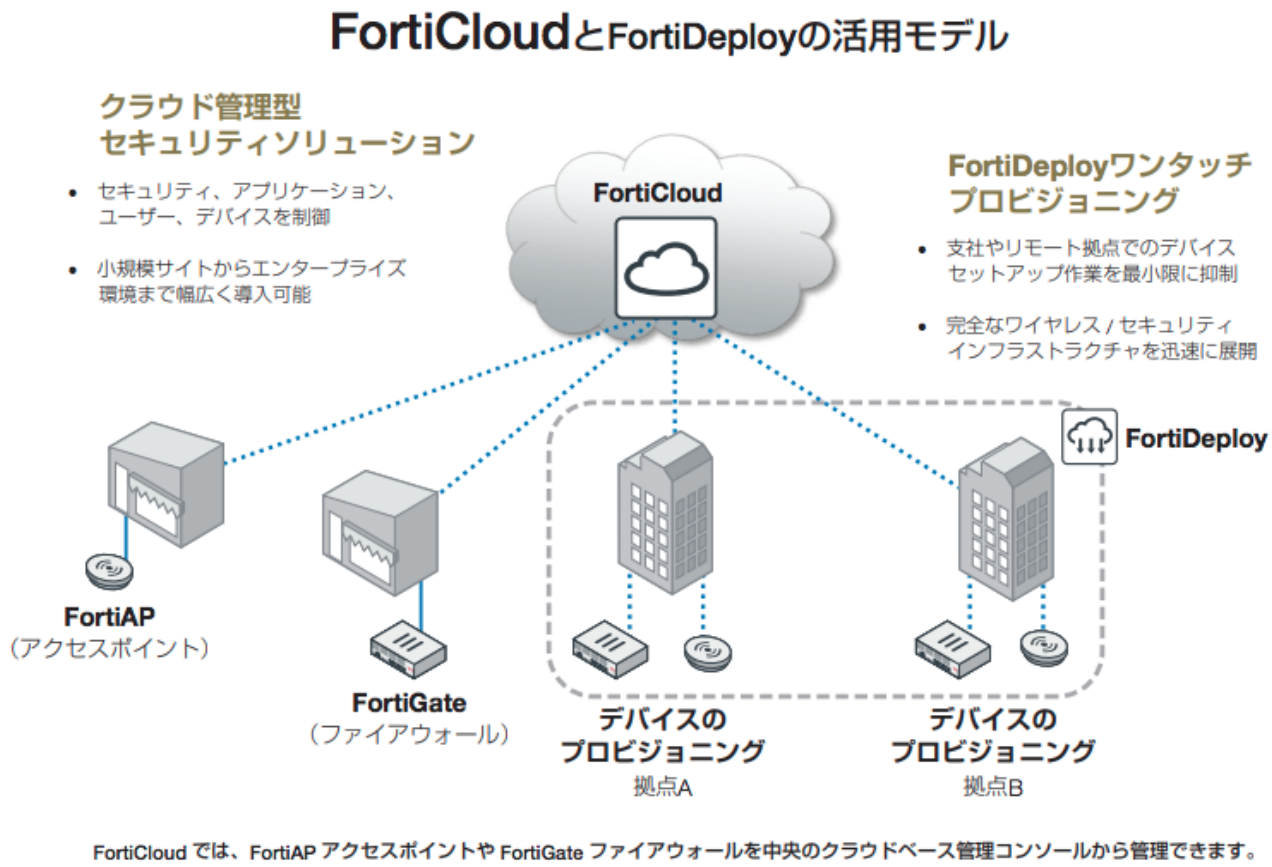
FortiGate/FortiWiFi/FortiAP の集中管理

・クラウド型ログストレージ

FortiGate/FortiWiFi/FortiAP のログ保存

・クラウド型サンドボックス（FortiSandbox Cloud）

FortiGate/FortiWiFi/FortiMail で疑わしいファイルをクラウド型サンドボックスで実行



製品・サービス名称	FortiCloud		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	世界で 40 万社を超えるお客様が、FortiCloud で FortiGate/FortiWiFi/FortiAP を管理されています。		
費用	FortiGate/FortiWiFi/FortiAP のいずれかをお持ちで FortiCloud にアカウントを開設いただくことでトライアル利用が可能です。基本的にはハードウェア（FortiGate/FortiWiFi/FortiAP）と機能に応じた利用ライセンス（1/3/5 年）をご購入いただく必要があります。詳細は弊社・販売代理店までお問い合わせください。		
利用条件	弊社クラウドサーバーとの接続によりファイアウォールの設定を変更していただく必要がある場合があります。		
支払方法	販売代理店に依存		
販売代理店	無、有（https://www.fortinet.com/jp/partners.html　）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（販売代理店に発注　）	利用開始までの期間	登録日から即日利用可能
約款の有無	弊社までお問い合わせください	約款修正の可能性の有無	弊社までお問い合わせください
データ保存場所	国内・海外（　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　）
準拠法	日本国法・海外法規（　）	管轄裁判所	国内・海外（　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　）		
実績稼働率	非公開	目標稼働率	有・無・その他（ 99.99%　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　）	バックアップ	有・無・その他（　）
データ暗号化	有・無・その他（　）	暗号化通信	有・無・その他（　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	弊社までお問い合わせください	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　）	API 公開	有・無・その他（　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社までお問い合わせください	QA 対応時間帯	弊社までお問い合わせください
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	弊社までお問い合わせください
計画停止の頻度	弊社までお問い合わせください	サービス停止の通知	弊社までお問い合わせください
ログの開示	弊社までお問い合わせください	第三者認証取得状況	ISO 9001:2008, NIST 800-53, SSAE16 & CSAE3416, SOC1
問合先	企業名：フォーティネットジャパン株式会社 部署名：パブリックソリューションビジネス本部 担当者・須賀　広樹	電話番号： FAX 番号： Mail：public_jp@fortinet.com	

製品・サービス名称	**Amazon Web Service 向けパブリッククラウドセキュリティ**
提供企業名	Fortinet Inc.
紹介サイト URL	https://www.fortinet.com/jp/products/public-cloud-security/aws.html

■製品サービスの特長

Amazon Web Service 向けフォーティネットソリューション

・FortiGate エンタープライズクラスファイアウォール

・FortiWeb Web アプリケーションファイアウォール

・FortiMail 統合セキュアメールゲートウェイ

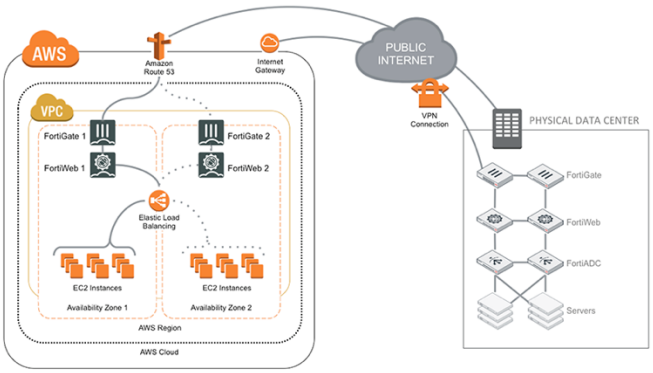
・FortiAnalyzer 集中セキュリティレポート

・FortiManager 集中セキュリティ管理

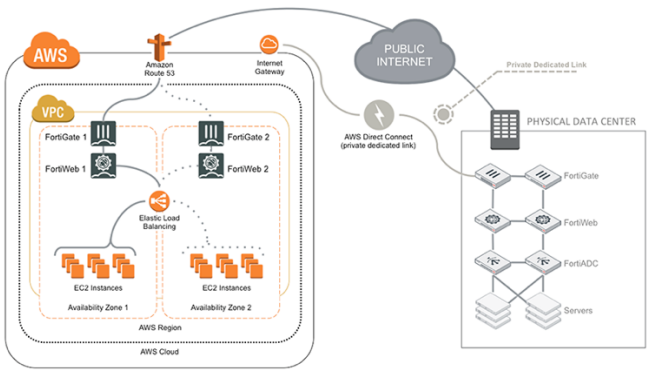
・FortiSandbox サンドボックス

・FortiSIEM セキュリティイベント管理

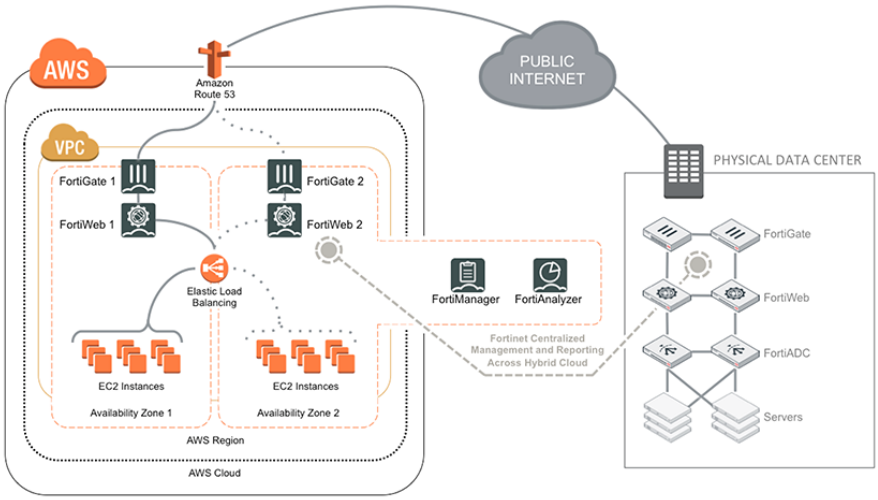
＜FortiGate による拠点間 VPN＞



＜FortiGate を使った Direct Connect＞



＜FortiAnalyzer/FortiManager によるアセットの一元管理＞



製品・サービス名称	Amazon Web Service 向けパブリッククラウドセキュリティ

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（優良企業多数）社：利用企業名（　　） 大学数（未公表　）校：利用大学名（　　）
費用	製品によってトライアルあり。FortiGate Next-Generation Firewall の場合、15 日間は無償利用ができ、それを超えると時間単位の課金体系に自動切り替わり。
利用条件	条件なし
支払方法	販売代理店に依存
販売代理店	無、有（代理店名：https://www.fortinet.com/jp/partners.html　）

■契約

申込み方法	代理店経由またはオンラインでの申し込み	利用開始までの期間	即日利用可能
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	AWS 仕様に準じる
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	AWS 仕様に準じる		
実績稼働率	AWS 仕様に準じる	目標稼働率	AWS 仕様に準じる
ストレージ	AWS 仕様に準じる	バックアップ	AWS 仕様に準じる
データ暗号化	AWS 仕様に準じる	暗号化通信	AWS 仕様に準じる

■機能

SINET 接続	AWS 仕様に準じる	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	AWS 仕様に準じる	LDAP 連携	アプリケーションに依存
管理ツール	AWS 仕様に準じる	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	AWS 仕様に準じる	QA 対応時間帯	AWS 仕様に準じる
コンタクト方法	AWS 仕様に準じる	対応インシデント数	AWS 仕様に準じる
計画停止の頻度	AWS 仕様に準じる	サービス停止の通知	AWS 仕様に準じる
ログの開示	AWS 仕様に準じる	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等

問合先	企業名：フォーティネットジャパン株式会社 部署名：パブリックソリューションビジネス本部 担当者・須賀　広樹	電話番号： FAX 番号： Mail：public_jp@fortinet.com

製品・サービス名称	**MS Azure 向けパブリッククラウドセキュリティ**
提供企業名	Fortinet Inc.
紹介サイト URL	https://www.fortinet.com/jp/products/public-cloud-security/azure.html

■製品サービスの特長

Microsoft Azure 向けフォーティネットソリューション

・FortiGate エンタープライズクラスファイアウォール

・FortiWeb Web アプリケーションファイアウォール

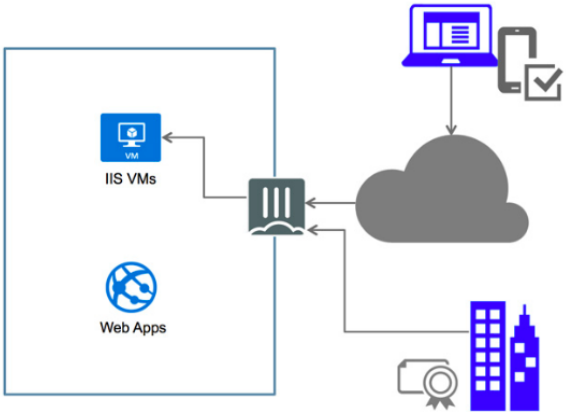
・FortiMail 統合セキュアメールゲートウェイ

・FortiAnalyzer 集中セキュリティレポート

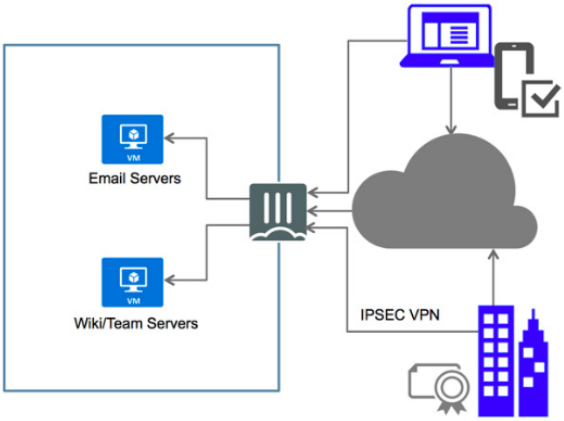
・FortiManager 集中セキュリティ管理

・FortiSandbox サンドボックス

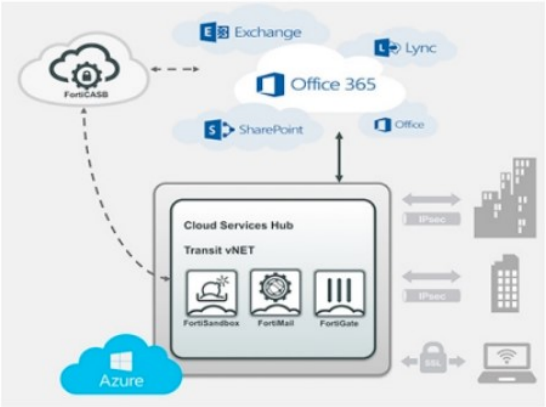
＜FortiGate による DMZ 構築＞



＜FortiGate によるプライベートネットワーク構築＞



＜FortiMail による Office365（Exchange Online）セキュリティ＞



製品・サービス名称	MS Azure 向けパブリッククラウドセキュリティ

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（優良企業多数）社：利用企業名（　） 大学数（未公表　）校：利用大学名（　）
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等
利用条件	条件なし
支払方法	販売代理店に依存
販売代理店	無、有（代理店名：https://www.fortinet.com/jp/partners.html　）

■契約

申込み方法	代理店経由またはオンラインでの申し込み	利用開始までの期間	即日利用可能
約款の有無	有・無（　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　）
データ保存場所	国内・海外（東・西日本　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　）
準拠法	日本国法・海外法規（　）	管轄裁判所	国内・海外（　）

■信頼性

SLA	Microsoft Azure 仕様に準じる		
実績稼働率	Microsoft Azure 仕様に準じる	目標稼働率	Microsoft Azure 仕様に準じる
ストレージ	Microsoft Azure 仕様に準じる	バックアップ	Microsoft Azure 仕様に準じる
データ暗号化	Microsoft Azure 仕様に準じる	暗号化通信	Microsoft Azure 仕様に準じる

■機能

SINET 接続	Microsoft Azure 仕様に準じる	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	Microsoft Azure 仕様に準じる	LDAP 連携	アプリケーションに依存
管理ツール	Microsoft Azure 仕様に準じる	API 公開	有・無・その他（　）

■保守・運用

障害対応時間帯	Microsoft Azure 仕様に準じる	QA 対応時間帯	Microsoft Azure 仕様に準じる
コンタクト方法	Microsoft Azure 仕様に準じる	対応インシデント数	Microsoft Azure 仕様に準じる
計画停止の頻度	Microsoft Azure 仕様に準じる	サービス停止の通知	Microsoft Azure 仕様に準じる
ログの開示	Microsoft Azure 仕様に準じる	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等

問合先	企業名：フォーティネットジャパン株式会社 部署名：パブリックソリューションビジネス本部 担当者・須賀　広樹	電話番号： FAX 番号： Mail：public_jp@fortinet.com

製品・サービス名称	**FortiCWP、FortiCASB**
提供企業名	Fortinet Inc.
紹介サイト URL	https://www.fortinet.com/jp/products/public-cloud-security/cloud-security-posture-management.html https://www.fortinet.com/jp/products/cloud-access-security-broker.html

■製品サービスの特長

FortiCWP クラウドワークロード保護サービス

・IaaS 向けセキュリティ

AWS、Azure、GCP におけるユーザーアクティビティ、クラウドリソース、ファイルやデータ、ポリシーの一元的な可視性

クラウド上のファイルに対するオンデマンドスキャン

クラウド利用時のコンプライアンスチェック

ユーザーの挙動に対する振る舞い検知

FortiCASB クラウドアクセスセキュリティブローカー

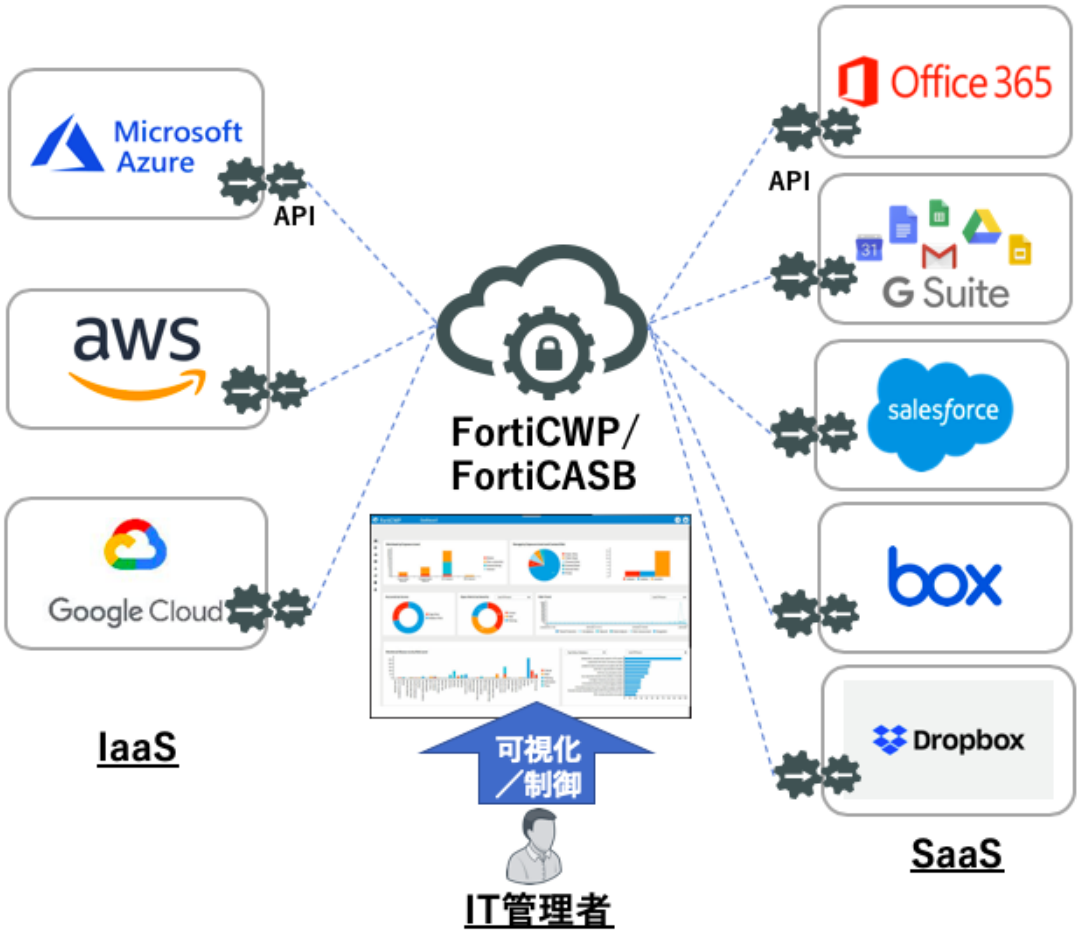
・SaaS 向けセキュリティ

SaaS 利用状況の可視化（Office365 OneDrive、Google Docs、Salesforce、Dropbox、Box）

マルウェア検知

未承認クラウドアプリケーションの可視化

シャドーIT レポート出力



製品・サービス名称	FortiCWP、FortiCASB

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	非公開
費用	FortiCWP は IaaS 上のホスト数単位（20hosts）、ストレージ容量単位（1TB）のライセンスを購入することで専用ポータルを利用可能になります。FortiCASB は SaaS 利用のアカウント数単位（100user）のライセンスを購入することで専用ポータルを利用可能になります。詳細は弊社・販売代理店までお問い合わせください。
利用条件	弊社クラウドサーバーとの接続によりファイアウォールの設定を変更していただく必要がある場合があります。
支払方法	販売代理店に依存
販売代理店	無、有（https://www.fortinet.com/jp/partners.html　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（販売代理店に発注　　）	利用開始までの期間	登録日から即日利用可能
約款の有無	弊社までお問い合わせください	約款修正の可能性の有無	弊社までお問い合わせください
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	非公開	目標稼働率	有・無・その他（ 99.99%　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	未対応	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	弊社までお問い合わせください	QA 対応時間帯	弊社までお問い合わせください
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	弊社までお問い合わせください
計画停止の頻度	弊社までお問い合わせください	サービス停止の通知	弊社までお問い合わせください
ログの開示	弊社までお問い合わせください	第三者認証取得状況	

問合先	企業名：フォーティネットジャパン株式会社 部署名：パブリックソリューションビジネス本部 担当者・須賀　広樹	電話番号： FAX 番号： Mail：public_jp@fortinet.com

製品・サービス名称	多要素認証・シングルサインオン製品 「WisePoint Shibboleth v7」
提供企業名	ファルコンシステムコンサルティング株式会社
紹介サイト URL	WisePoint Shibboleth（Shibboleth IdP v3 対応）	WisePoint

■製品サービスの特長

学内外の Web システム、クラウドサービス、ネットワークにアクセスする際のセキュリティ強化と利用者の利便性を兼ね備えた、多要素認証対応シングルサインオン統合製品です。

学内の認証基盤を利用して SAML2.0 対応のクラウドサービスや学内の Web システムへ一度の認証でアクセスすることができ、認証方式も学内からは固定 ID、PW、学外からのアクセスは多要素認証を利用するなど、IP アドレスでの制御や、SP 単位での制御が可能です。

【製品機能】

・学認対応

・IdP 機能（Shibboleth IdP v3 対応）

・SP 機能（リバースプロキシ機能）

・ワンタイムパスワード認証機能（イメージングマトリクス、マトリックスコード、J パスワード、ソフトウェアトークンとして Google Authenticator 利用可能）

・スマートデバイス個体識別認証

・Windows デスクトップログオン

・SAML2.0、リバースプロキシ対応のシングルサインオン

・SP 単位でのアクセスコントロール機能

・アクセス時間帯制御機能

・LDAP、ActiveDirectory 連携

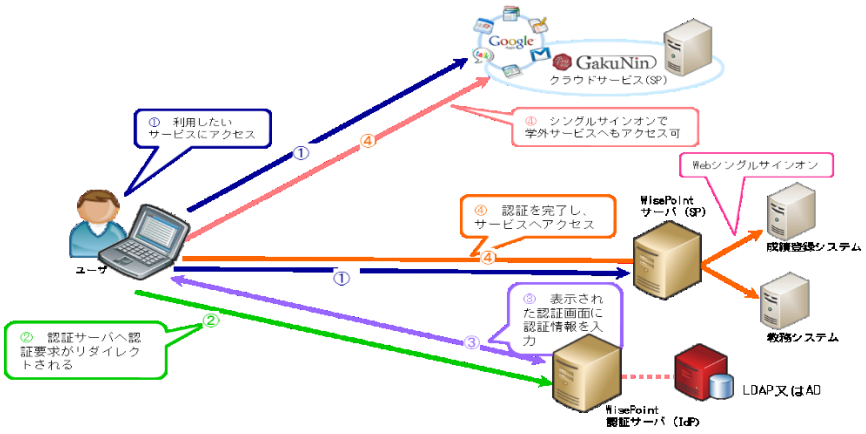
・ポータル機能

・管理者機能（WebGUI）

・各種ブラウザ対応（IE、Safari、Chrome）

・2020 年夏ごろ FIDO2 対応予定

【認証方式と認証フロー】



製品・サービス名称	多要素認証・シングルサインオン製品 「WisePoint Shibboleth v7」

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他

■一般事項

契約実績	法人数（３６０）社：利用企業名（全日空、近畿日本鉄道、ファーストリテイリング、YKK-AP、自治体） 大学数（４０）校：利用大学名（九州大学、東北大学、熊本大学、愛知教育大学、桃山学院大学、広島修道大学）
費用	・評価版ライセンスを無償にて提供 ・ライセンス費用は登録ユーザー数分を初回買取り。毎年サポート費用（20%）。設計、構築費用
利用条件	・ライセンスは登録ユーザー数に応じたボリュームディスカウント（初回買取） ・保守（初年度から発生）
支払方法	導入前ご購入、支払方法（振込）
販売代理店	無、有（代理店名：代理店一覧：　http://wisepoint.jp/sales/#sub01　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（　　）	利用開始までの期間	１週間
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（SLA 内容：　　）		
実績稼働率	有・無・その他（　　）	目標稼働率	有・無・その他（　　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

障害対応時間帯	平日 9:30-17:00	QA 対応時間帯	平日 9：30-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	
計画停止の頻度	（※頻度、時間帯　）	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	

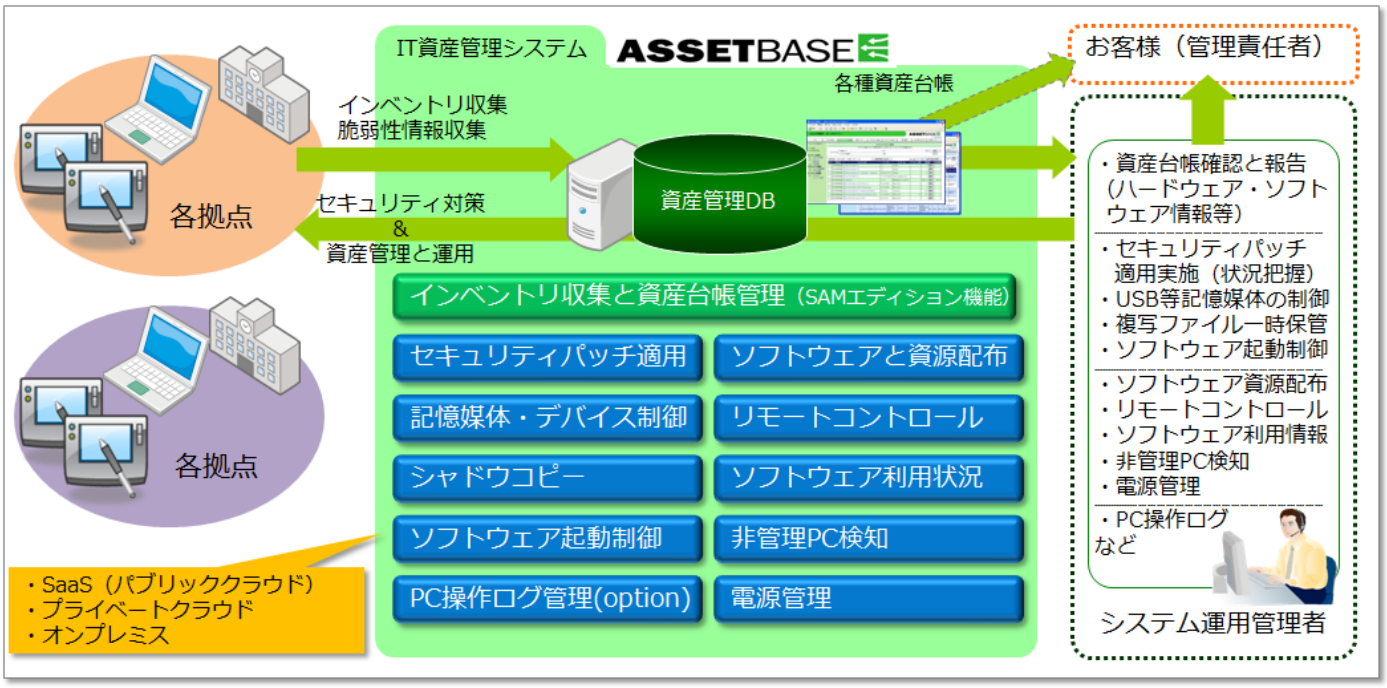
問合先	企業名：ファルコンシステムコンサルティング株式会社 部署名：営業本部 担当者・山下克美	電話番号：03-6228-3220 FAX 番号：03-6222-8597 Mail：yamashita2@falconsc.com

３．事務支援系ソリューション

製品・サービス名称	IT 資産管理／セキュリティ管理　ASSETBASE
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	http://www.asset-base.jp/

■製品サービスの特長

セキュリティとコンプライアンスを強力に支援する IT 資産管理ソリューション



■ASSETBASE の概要と実績

大学や教育機関において、情報漏えい事故やマルウェア感染をはじめとするセキュリティインシデントや、不適切なソフトウェア利用などが相次いでいます。セキュリティとコンプライアンスの両面から、IT 資産の管理の重要性がますます高まっており、組織のリスクマネジメントとして必須のものとして認知されています。

IT 資産管理ソリューション「ASSETBASE」は、学内の大量の PC やソフトウェアを「見える化」し、ソフトウェアとライセンスの管理、IT 資産管理、IT セキュリティ管理をご支援します。2004 年の SaaS 型クラウドサービスの提供開始以来、大学をはじめ多くのお客様にご活用いただいており、ASPIC（特定非営利活動法人　ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム）アワード「ベストイノベーション賞」も受賞した実績あるサービスです。

■ASSETBASE の特長

1. 標的型攻撃やランサムウェア対策に有効な、OS・アプリのセキュリティパッチ適用管理
2. 運用管理を支援する「リモートコントロール」「ソフトウェア配布」「デバイス制御」等
3. ソフトウェアとライセンス管理を高精度で実現、ソフトウェア辞書装備
4. ウイルス対策状態や不適切アプリ検知などセキュリティレポートも充実
5. SaaS（クラウド）、プライベートクラウド、オンプレミスの選択が可能

製品・サービス名称	IT 資産管理／セキュリティ管理　ASSETBASE

■分類

製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　　）	・パブリック・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他（IT 資産管理）

■一般事項

契約実績	大学実績（　約 70　）校：利用大学名（国立高専機構、信州大学、関西大学、中部大学　等） 民間実績（　約 50　）社：利用企業名（非公開）　他、自治体、教育委員会（小中高等学校）、私立学校等
費用	・初期費用：管理アカウント発行料 ・ランニング費用：クライアントライセンス＋サーバーシステムライセンス ・課金単位：原則としてご利用法人単位の年間利用料　　※トライアル（評価版）ご利用可能
利用条件	・最低ユーザ数：1 ライセンスより利用可能　　・最低利用期間：1 年間（年間利用料制）
支払方法	請求サイクル：年次　支払方法：原則として前払、原則として振込支払（応相談）
販売代理店	無、有（代理店名：内田洋行各販売代理店　　）

■契約

申込み方法	注文書・その他（当社営業経由にて利用申込み）	利用開始までの期間	5 営業日（SaaS 型の場合）
約款の有無	有・無（　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性

SLA	有・無（ご利用約款に基づく）		
実績稼働率	有・無・その他（2017 年実績：99.99%以上） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）	目標稼働率	有・無・その他（99.9%　　） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能

SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用

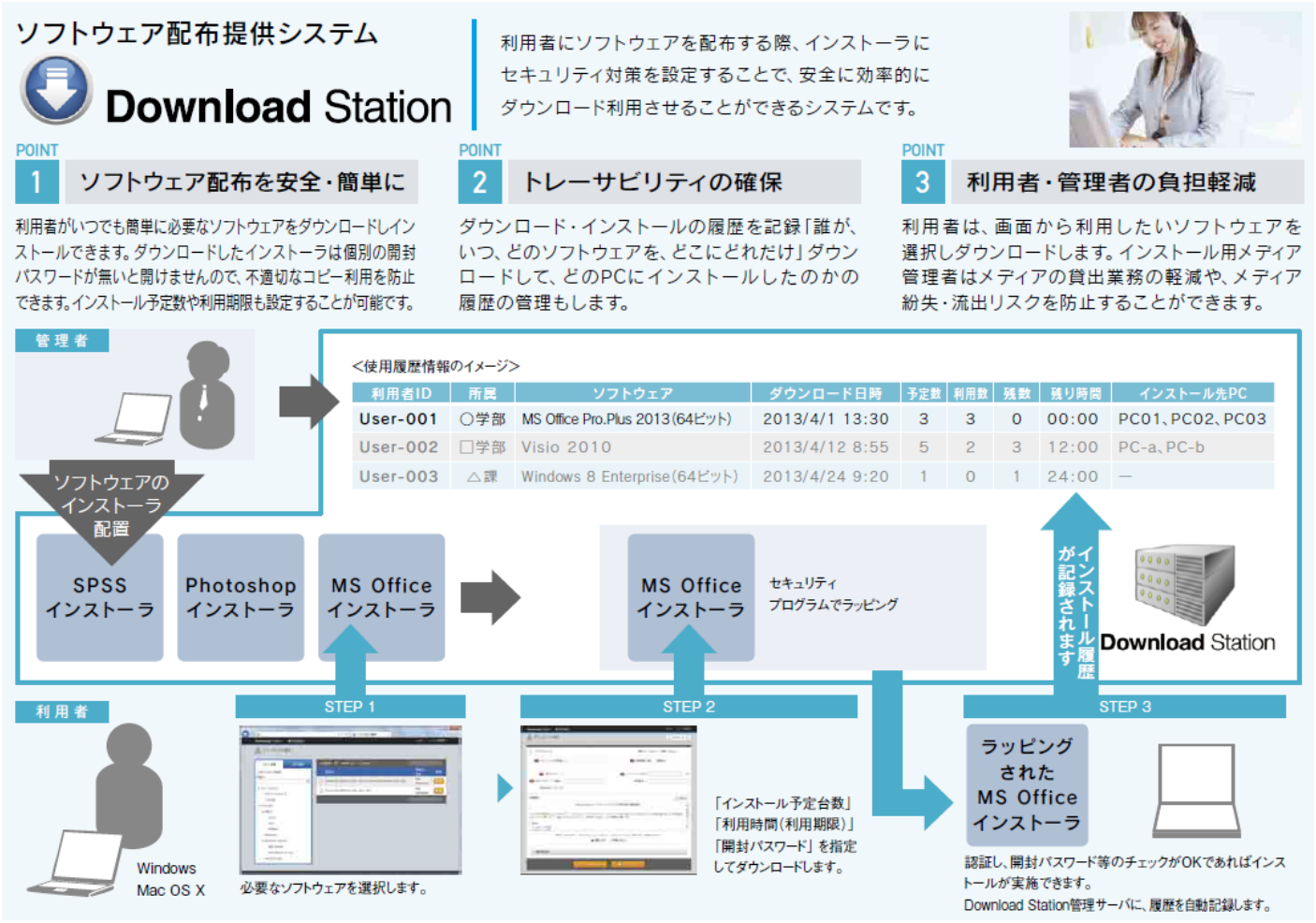
障害対応時間帯	9:00～17:00	QA 対応時間帯	9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に 2 回程度）	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 技術サポート＆サービスビジネス推進部 担当者：舘野　康彦	電話番号：03-5634-6708 FAX 番号：03-5634-6879 Mail：abinfo@uchida.co.jp

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム　Download Station
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	http://www.asset-base.jp/

■製品サービスの特長

Microsoft や Adobe 等ソフトウェアの安全･効率的な学内配布を支援！



■Download Station の概要

「Download Station」は、Microsoft や Adobe 等のソフトウェアを、教職員･学生等の利用者に、安全に効率的に配布提供するシステムです。例えば以下の課題の解決を支援いたします。

【こんな課題を解決１】 インストールメディアの流出リスク（不用意なコンプライアンス違反）を避けたい

【こんな課題を解決２】 インストールメディアの貸し出し管理や、個体管理の業務負担を軽減したい

【こんな課題を解決３】 キャンパスや拠点が多い場合、全てをカバーする配布運用の手間を軽減したい

【こんな課題を解決４】 大学の研究室内の PC 等、大量の PC へのソフトウェア配布を効率的に行いたい

【こんな課題を解決５】 実際に利用された数を把握し、ボリュームライセンス投資への効果を把握したい

Download Station は、ソフトウェアのインストーラをセキュリティプログラムでラッピング保護し、利用者が安全にダウンロード利用できるようにします。ダウンロードしたインストーラは、個別の開封パスワード制御されており、不適切なコピー利用を防止できます。また、インストール予定数や利用期限も制御することが可能です。

「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どの PC にインストールしたのかの履歴の管理も可能であり、利用統計と投資対効果測定などにお役立ていただけます。

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム　Download Station		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他（ソフトウェアの配布管理）

■一般事項			
契約実績	民間実績（　非公開　）社：利用企業名（非公開） 大学実績（　非公開　）校：利用大学名（筑波大学、香川大学、法政大学、中央大学、立命館大学、近畿大学　等）		
費用	・初期費用：導入費用およびシステムライセンス　・ランニング費用：年間保守費用		
利用条件	・ライセンス形態：システム単位（買取）　・保守条件等：保守契約に基づく		
支払方法	請求サイクル：年次　支払方法：原則として振込支払（応相談）		
販売代理店	内田洋行各販売代理店		
■契約			
申込み方法	当社営業経由にて利用申し込み	利用開始までの期間	5 営業日（標準システム構築期間）　※別途環境構築が必要
約款の有無	有	約款修正の可能性の有無	有
データ保存場所	プライベートクラウドサーバー	データ削除規定の有無	削除運用は別途ご相談
準拠法	プライベートクラウドサーバーによる	管轄裁判所	国内を想定
■信頼性			
SLA	プライベートクラウド導入環境に基づく		
実績稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく （事例：99.9%以上　計画停止を除く）	目標稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく
ストレージ	プライベートクラウド導入環境に基づく	バックアップ	有
データ暗号化	無	暗号化通信	有
■機能			
SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応
管理ツール	有	API 公開	無
■保守・運用			
障害対応時間帯	9:00～17:00	QA 対応時間帯	9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	導入環境に基づく	サービス停止の通知	利用顧客運用規定に基づく
ログの開示	有	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 技術サポート＆サービスビジネス推進部 担当者：舘野　康彦	電話番号：03-5634-6708 FAX 番号：03-5634-6879 Mail：ml-DSinfo@uchida.co.jp

製品・サービス名称	ウチダの学割　Microsoft Office 学生向け特別プラン　U365
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://ec1.u365.jp/portal/office/

■製品サービスの特長

新しい学生サービス　Microsoft Office 学生向け学割特別プラン

在学中は最新版のOfficeへ無料でアップグレードが可能。在学中はインストール回数の制限はありません。

在学中なら、買い替えた新しいPCへの再インストールが可能！

在学中はいつでもMac??Windowsの乗りかえ可能

卒業後、社会に出てもそのまま使える！追加料金はかかりません！

NEW

AXIES 正会員大学の学生向けには
通常の学割価格よりさらにオトクになります！
AXIES サイトの「会員特典」をご確認ください（https://axies.jp/ja/privilege/xv7esk）

■Microsoft Office 学生向け特別プラン U365 の概要

学生にとっての必須のソフトウェア Microsoft Office を、特別プライスでご購入いただける新たな学生サービスです。
様々な特典も満載。大学様の費用負担等は一切ございません。AXIES 正会員大学であればさらにオトクになります！

1. フルスペックのOfficeが、断然オトクに購入できます。卒業時に譲渡、卒業後も利用可能

2. 在学中のバージョンアップやPC買い替え時の再インストールなど無償でできます。

3. 大学の費用負担無し！　ECサイトとダウンロードサイトをクラウドで無償提供します。

製品・サービス名称	ウチダの学割　Microsoft Office 学生向け特別プラン　U365		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 **・その他（ソフトウェア販売）**	**・パブリック**・プライベート ・その他（　　）	・IaaS　・PaaS **・SaaS**	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ **・その他（学生サービス）**

■一般事項	
契約実績	大学実績（　約 170　）校：利用大学名（日本全国多数） 民間実績（無：教育機関のみ）社：利用企業名　　他、専門学校（約 100 校）等
費用	・初期費用：無し ・ランニング費用：無し
利用条件	・最低ユーザ数：ゼロ　　・最低利用期間：1 年間
支払方法	請求サイクル：無し　（希望する学生が Office を購入）
販売代理店	無、有（　　）

■契約			
申込み方法	注文書・その他（当社営業経由にて利用申込み）	利用開始までの期間	10 営業日程度
約款の有無	有・無（学生向けの利用約款あり　　）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　　）
データ保存場所	国内・海外（　　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　　）
準拠法	日本国法・海外法規（　　）	管轄裁判所	国内・海外（　　）

■信頼性			
SLA	有・無（24h365D）		
実績稼働率	有・無・その他（2018 年実績：99.99%以上） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）	目標稼働率	有・無・その他（99.9%　　） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）
ストレージ	多重化有・無・その他（　　）	バックアップ	有・無・その他（　　）
データ暗号化	有・無・その他（　　）	暗号化通信	有・無・その他（　　）

■機能			
SINET 接続	無	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	無	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　　）	API 公開	有・無・その他（　　）

■保守・運用			
障害対応時間帯	10:00～16:00	QA 対応時間帯	10:00～16:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に 1 回程度）	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無（※条件　　）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク

問合先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 技術サポート＆サービスビジネス推進部 担当者：舘野　康彦	電話番号：03-5634-6708 FAX 番号：03-5634-6879 Mail：usisupport@u365.jp

製品・サービス名称	Cisco Unified Computing System（UCS） Cisco HyperFlex ハイパーコンバージドインフラ
提供企業名	シスコシステムズ合同会社
紹介サイト URL	https://www.cisco.com/c/ja_jp/products/servers-unified-computing/index.html

■製品サービスの特長

■Cisco Unified Computing System（UCS）

ストレージ接続およびネットワーク接続の統合をはじめ、あらゆるシステムリソースの仮想化を前提に設計された新世代コンピューティングシステムです。運用はよりシンプルに、TCO はより小さく、拡張性はより高く、クラウド時代に適合した新たなデータセンターを実現します。

UCS の特長

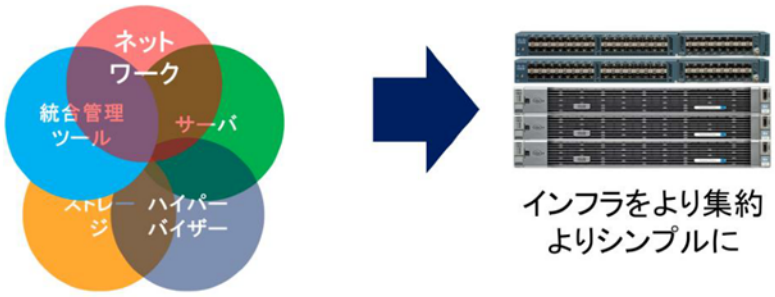
- シンプル:管理ポイントが少なく運用管理が容易
- 仮想環境最適化：ネットワークとサーバの融合による仮想環境への最適化
- 迅速性：サービスプロファイル機能による HW 設定の迅速化

■Cisco HyperFlex ハイパーコンバージドインフラ

UCS で培ってきたテクノロジーを最大限に生かしながら、コンピューティング、ストレージ、およびネットワークの各コンポーネントを一体化した次世代のハイパーコンバージドインフラソリューションです。迅速なデプロイメントを可能にし、かつ効率的なデータセンタープラットフォームを構築することができます。

HyperFlex の特長

- コンピューティング、ストレージだけでなく、ネットワークも統合
- 分散ファイルシステムで高いスループットを実現
- インライン重複排除、データ圧縮などの機能による効率的なストレージ利用
- vCenter による一元管理



製品・サービス名称	Cisco Unified Computing System(UCS)/Cisco HyperFlex ハイパーコンバージドインフラ		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス　・製品 ・その他（　）	・パブリック　・プライベート ・その他（　）	・IaaS　・PaaS ・SaaS	・教育支援　・研究支援 ・事務支援　・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人（多数）社：利用企業名（官公庁、製造業、金融業、流通・サービス業、商社） 大学（多数）校：利用大学名（東洋大学、埼玉大学、東京農工大学、近畿大学、立教大学、日本女子体育大学等）		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 弊社までお問い合わせください。		
利用条件	弊社までお問い合わせください。		
支払方法	弊社までお問い合わせください。		
販売代理店	無、有（代理店名：シスコパートナー）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（パートナーへの発注）	利用開始までの期間	
約款の有無	有・無（パートナーの契約に依存）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（　）
データ保存場所	国内・海外（　）	データ削除規定の有無	有・無・その他（　）
準拠法	日本国法・海外法規（　）	管轄裁判所	国内・海外（　）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：　）		
実績稼働率	有・無・その他（　）	目標稼働率	有・無・その他（　）
ストレージ	多重化有・無・その他（　）	バックアップ	有・無・その他（　）
データ暗号化	有・無・その他（　）	暗号化通信	有・無・その他（　）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（　）	API 公開	有・無・その他（　）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D、8H/5D	QA 対応時間帯	24H/365D、8H/D
コンタクト方法	電話・メール・その他（　）	対応インシデント数	※（例：年間 XX 件まで）
計画停止の頻度	（※頻度、時間帯　）	サービス停止の通知	※（例：１ヶ月前に通知）
ログの開示	有・無（※条件　）	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合先	企業名：シスコシステムズ報道会社 部署名：公共事業 東日本営業本部 文教担当　米谷 昌己	電話番号：03-6434-2278 Mail：cisco-edu-j@cisco.com	

2019.11.19　Ver.0.5

６．大学向けクラウドソリューション比較表

○比較表に関するご注意事項

本比較表は、P.16 から P.129 までのカタログ記載データを取りまとめたものです。そのため、カタログ記載のデータと比較表のデータが異なる場合、カタログ記載のデータが優先されます。また比較表は、比較しやすいようにデータの１部をグルーピングし抽象化していますので、その点をご了解ください。

比較表１

カタログ掲載情報	掲載区分	１．教育支援系				
	項番	１．（１）	１．（２）	１．（３）	１．（４）	１．（５）
	掲載ページ	16	18	20	22	24
製品・サービス名		Prime Learning 大学向けの eポートフォリオ	Amazon WorkSpaces	Amazon Chime	オールインワン型 USBビデオ バー	Cisco Webex Meetings
提供企業名		ＳＣＳＫ	Amazon Web Services	Amazon Web Services	エイチ・シー・ネットワークス	シスコシステムズ
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	—	○
	製品	○	—	—	○	○
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	—	○
	プライベート	○	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	—	○	—	—	—
	SaaS	○	—	○	—	○
利用用途分類	教育支援	○	○	○	—	○
	研究支援	—	○	○	—	○
	事務支援	—	○	○	—	○
	情報インフラ	—	○	○	—	○
	その他	—	○	○	—	—
契約実績	民間	—	100万超	100万超	—	4000社
	大学	非公開	1万超	1万超	—	多数
契約	申込方法	契約書	WEBサインアップ	WEBサインアップ	営業問合せ	注文書・代理店
	利用開始までの時間	6ヶ月～	15分	15分	1～1.5ヶ月	2週間
	約款の有無	○	○	○	×	○
	契約修正の可能性	ご相談	その他	その他	—	○
	データ保管場所	国内	国内・海外	国内・海外	—	国内・海外
	データ削除規程	ご相談	ホワイトペーパ開示	ホワイトペーパ開示	—	○
	準拠法	日本国法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内・海外	国内・海外	国内	国内
信頼性	SLA	○	×	×	×	×
	実績稼働率	○	その他	その他	×	○(99.99%)
	目標稼働率	○	○	○	×	○(100%)
	ストレージ	○	○	○	×	○
	バックアップ	その他	○	×	×	○
	データ暗号化	○	○	○	×	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	△（対応予定）	○	×	×	×
	VPN接続	○	○	○	×	×
	学認対応	△（Shibboleth対応）	×	×	×	×
	LDAP連携	○	○	○	×	△(契約による)
	管理ツール	○	○	○	その他	○
	API公開	×	○	○	×	○
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D可能	プランにより異なる	プランにより異なる	平日営業時間	24h×365d
	Q&A対応時間帯	ご相談	プランにより異なる	プランにより異なる	平日営業時間	24h×365d
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール	電話・メール・チャット
	対応インシデント数	ご相談	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	有	不定期	不定期	—	不定期
	サービス停止の通知	ご相談	無	無	—	事前通知有
	ログの開示	○(保守条件による)	○	○	×	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表２

カタログ掲載情報	掲載区分	**１．教育支援系**	**２．研究支援系**			
	項番	１．（６）	２．（１）	２．（２）	２．（３）	２．（４）
	掲載ページ	26	30	32	34	36
製品・サービス名		Cisco Webex Teams, Cisco Webex Board	Ufinity 研究者業績サービス	さくらのレンタルサーバ　リセール向けサービス	さくらのセキュアモバイルコネクト	AWS IoT Core
提供企業名		シスコシステムズ	富士通	さくらインターネット	さくらインターネット	Amazon Web Services
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	○	―	―	―	―
	その他	―	―	―	―	―
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	―	―	―	―	―
	その他	―	―	―	―	―
パブリッククラウド区分	IaaS	―	―	―	―	―
	PaaS	―	―	―	○	○
	SaaS	○	○	○	―	―
利用用途分類	教育支援	○	―	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	―	○	○	○
	情報インフラ	○	―	○	○	○
	その他	―	―	○	○	○
契約実績	民間	数百社	―	非公開	非公開	100万超
		数十校	9校	非公開	非公開	1万超
契約	申込方法	代理店	注文書・契約書	注文書、WEB	申込書	WEBサインアップ
	利用開始までの時間	約2週間	ご相談	5営業日	即日	15分
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	○	○	○	○	その他
	データ保管場所	海外	国内	国内	国内	国内・海外
	データ削除規程	○	○	○	○	ホワイトペーパ開示
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法・海外法規
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内・海外
信頼性	SLA	×	―	×	×	×
	実績稼働率	○(99.99%)	×	○（99.99%以上）	非公開	その他
	目標稼働率	○(100%)	×	非公開	非公開	○
	ストレージ	○	×	○	○	○
	バックアップ	○	○	○	×	×
	データ暗号化	○	×	×	×	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	×	―	×	○	○
	VPN接続	○	―	×	○	○
	学認対応	×	○	×	×	×
	LDAP連携	△(契約による)	×	×	×	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	×	○（一部）	○	○
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	平日営業時間帯	24H×365D	24H×365D	プランにより異なる
	Q&A対応時間帯	24H×365d	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	プランにより異なる
	コンタクト方法	電話・メール	Webサイト	電話・Web	電話・Web	電話・メール・チャット
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	月2回夜間	不定期	不定期	不定期
	サービス停止の通知	事前通知有	3ヶ月前	1週間前	1週間前	無
	ログの開示	○	×	○（一部）	○	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表３

カタログ掲載情報	掲載区分	２．研究支援系		３．事務支援系		
	項番	２．（５）	２．（６）	３．（１）	３．（２）	３．（３）
	掲載ページ	38	40	44	46	48
製品・サービス名		AWS RoboMaker	Amazon SageMaker	ウチダ証明書学外発行サービス	codemari クラウドサービス	iLiswave-J 図書館クラウドシリーズ
提供企業名		Amazon Web Services	Amazon Web Services	内田洋行	内田洋行	富士通
製品・サービス区分	サービス	○	○	―	○	○
	製品	―	―	―	―	―
	その他	―	―	○	―	―
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	―
	プライベート	―	―	―	―	―
	その他	―	―	―	―	○
パブリッククラウド区分	IaaS	―	―	―	―	―
	PaaS	○	―	○	○	―
	SaaS	―	○	―	―	○
利用用途分類	教育支援	○	○	―	○	○
	研究支援	○	○	―	○	○
	事務支援	○	○	―	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	―	○
契約実績	民間	100万超	100万超	―	非公開	―
	大学	1万超	1万超	新規サービス	非公開	120校以上
契約	申込方法	WEBサインアップ	WEBサインアップ	申込書	注文書	注文書・契約書
	利用開始までの時間	15分	15分	2～4ヶ月	1.5ヶ月	ご相談
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	その他	その他	○	○	○
	データ保管場所	国内・海外	国内・海外	国内	国内	国内
	データ削除規程	ホワイトペーパ開示	ホワイトペーパ開示	○	○	○
	準拠法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内・海外	国内・海外	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	○	×	×
	実績稼働率	その他	その他	×	×	―
	目標稼働率	○	○	非公開	非公開	―
	ストレージ	○	○	○	○	○
	バックアップ	×	×	○	○	○
	データ暗号化	○	○	○	○	×
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	○	○	×	○
	VPN接続	○	○	○	×	○
	学認対応	×	×	×	×	○
	LDAP連携	○	○	○	×	○
	管理ツール	○	○	―	○	○
	API公開	○	○	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	営業時間帯	営業時間帯	平日営業時間帯
	Q&A対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	9:00－23:00	営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール	電話・メール	Webサイト
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	不定期	年1回程度	不定期	月1回夜間
	サービス停止の通知	無	無	2週間前	1週間前	3ヶ月前
	ログの開示	○	○	×	○	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表４

カタログ掲載情報	掲載区分	**３．事務支援系**				
	項番	３．（４）	３．（５）	３．（６）	３．（７）	３．（８）
	掲載ページ	50	52	54	56	58
製品・サービス名		図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス	RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん	RICOH カンタンストレージ活用	RICOH カンタンバーコード活用 for Cloud	DreamCampus for Cloud
提供企業名		リコー	リコー	リコー	リコー	ＳＣＳＫ
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	○
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	—	○	○	○	○
	プライベート	—	—	—	—	○
	その他	○	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	○	○	○	○	○
利用用途分類	教育支援	○	—	—	—	—
	研究支援	○	—	—	—	—
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	—	—	—	—
	その他	○	—	—	—	—
契約実績	民間	—	非公開	非公開	非公開	—
	大学	200校以上	非公開	非公開	非公開	63校
契約	申込方法	注文書	注文書・WEB	注文書・WEB	注文書・WEB	契約書
	利用開始までの時間	ご相談	１週間	１週間	１週間	ご相談
	約款の有無	×	○	○	○	○
	契約修正の可能性	○	×	×	×	○
	データ保管場所	国内	海外	海外	海外	国内
	データ削除規程	×	○	○	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	×	×	○
	実績稼働率	—	×	×	×	○
	目標稼働率	—	×	×	×	○
	ストレージ	○	—	—	—	○
	バックアップ	○	○	○	○	その他
	データ暗号化	×	○	○	○	ご相談
	暗号化通信	○	○	○	○	ご相談
機能	SINET接続	○	×	×	×	ご相談
	VPN接続	○	×	×	×	○
	学認対応	○	×	×	×	ご相談
	LDAP連携	○	×	×	×	○
	管理ツール	○	○	○	○	モデル毎に異なる
	API公開	×	×	×	×	モデル毎に異なる
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	ご相談
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	ご相談
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	ご相談
	計画停止の頻度	不定期	年4回程度	年4回程度	年4回程度	—
	サービス停止の通知	1ヶ月前通知	—	—	—	ご相談
	ログの開示	×	×	×	×	○(保守条件による)
	第三者認証取得状況	○	—	—	—	○

比較表５

カタログ掲載情報	掲載区分	**３．事務支援系**	**４．情報インフラ系**			
	項番	３．（９）	４．（１）	４．（２）	４．（３）	４．（４）
	掲載ページ	60	64	66	68	70
製品・サービス名		TWX-21 MRO 集中購買サービス	VMware Cloud™ on AWS	NEC神奈川DC-SINET接続サービス	エンタープライズクラウドサービス	フェデレーテッドクラウド
提供企業名		日立製作所	ヴイエムウェア	日本電気	日立製作所	日立製作所
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	ー	ー	ー	ー	ー
	その他	ー	ー	ー	ー	ー
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	ー
	プライベート	ー	ー	ー	ー	ー
	その他	ー	ー	○	ー	○
パブリッククラウド区分	IaaS	ー	○	○	○	ー
	PaaS	ー	ー	○	ー	○
	SaaS	○	ー	ー	ー	ー
利用用途分類	教育支援	ー	○	○	○	○
	研究支援	ー	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	ー	○	○	○	○
	その他	ー	○	○	○	○
契約実績	民間	700社	非公開	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	営業問合せ	注文書（代理店）	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ
	利用開始までの時間	2ヶ月～	1～2週間程度	ご相談	5営業日～	最短3～5営業日
	約款の有無	○	○	○	×	×
	契約修正の可能性	×	○	○	ご相談	ご相談
	データ保管場所	国内	利用リージョン	国内	国内	国内
	データ削除規程	×	×	○	○	×
	準拠法	日本国法	リージョンに依存	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	リージョンに依存	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	○	○	ご相談	ご相談
	実績稼働率	○（99.5%以上）	非公開	非公開	○(99.999%)	ご相談
	目標稼働率	非公開	非公開	○	○(99.99%)	○(99.9%)
	ストレージ	○	○	○	○	○
	バックアップ	○	△(3rdPatry)	○	○	その他
	データ暗号化	×	○	×	×	×
	暗号化通信	○	○	○	×	○
機能	SINET接続	×	○	○	×	×
	VPN接続	×	○	○	○	○
	学認対応	×	×	ご相談	×	×
	LDAP連携	×	○	ご相談	×	×
	管理ツール	○	○	×	○	○
	API公開	×	○	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	24H×365D	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	24H×365D	平日営業時間	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	チャット・SR	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	ご相談	無制限	無制限	無制限	ご相談
	計画停止の頻度	月1回	1～2ヶ月に1回	不定期	最大月1回	月1回
	サービス停止の通知	事前通知有	事前通知	1ヶ月前	1ヶ月前	1ヶ月前
	ログの開示	○（コンテンツ）	×	×	×	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 6

カタログ掲載情報	掲載区分	4．情報インフラ系				
	項番	4．(5)	4．(6)	4．(7)	4．(8)	4．(9)
	掲載ページ	72	74	76	78	80
製品・サービス名		出前クラウドサービス	アマゾン ウェブ サービス (AWS)	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)	Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)	Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)
提供企業名		日立製作所	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	ー	ー	ー	ー	ー
	その他	ー	ー	ー	ー	ー
クラウド区分	パブリック	ー	○	○	○	○
	プライベート	○	○	○	ー	○
	その他	ー	ー	ー	ー	ー
パブリッククラウド区分	IaaS	○	○	○	○	ー
	PaaS	ー	○	ー	ー	○
	SaaS	ー	○	ー	ー	ー
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	数十社	100万超	100万超	100万超	100万超
	大学	非公開	1万超	1万超	1万超	1万超
契約	申込方法	営業問合せ	WEBサインアップ	WEBサインアップ	WEBサインアップ	WEBサインアップ
	利用開始までの時間	3ヶ月～	15分	15分	15分	15分
	約款の有無	×	有	○	○	○
	契約修正の可能性	ご相談	その他	その他	その他	その他
	データ保管場所	国内	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
	データ削除規程	ー	ホワイトペーパ開示	ホワイトペーパ開示	ホワイトペーパ開示	ホワイトペーパ開示
	準拠法	日本国法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規
	管轄裁判所	国内	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
信頼性	SLA	×	×	○	○	○
	実績稼働率	ご相談	その他	その他	その他	その他
	目標稼働率	ご相談	○	○	○	○
	ストレージ	ご相談	○	○	○	○
	バックアップ	ご相談	その他	その他	その他	○
	データ暗号化	○	○	○	○	○
	暗号化通信	ご相談	○	○	○	○
機能	SINET接続	×	○	○	○	○
	VPN接続	○	○	○	○	○
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	ご相談	○	○	○	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	×	○	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	コンタクト方法	メール	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット
	対応インシデント数	年間5件	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
	サービス停止の通知	ご相談	無	無	無	無
	ログの開示	×	○	○	○	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 7

カタログ掲載情報	掲載区分	4．情報インフラ系				
	項番	4．(10)	4．(11)	4．(12)	4．(13)	4．(14)
	掲載ページ	82	84	86	88	90
製品・サービス名		Amazon Redshift	Amazon EMR	Amazon Elasticsearch Service	AWS Lambda	Amazon DynamoDB
提供企業名		Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services	Amazon Web Services
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	○	○	○	○	○
	SaaS	—	—	—	—	—
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	100万超	100万超	100万超	100万超	100万超
	大学	1万超	1万超	1万超	1万超	1万超
契約	申込方法	WEBサインアップ	WEBサインアップ	WEBサインアップ	WEBサインアップ	WEBサインアップ
	利用開始までの時間	15分	15分	15分	15分	15分
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	その他	その他	その他	その他	その他
	データ保管場所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
	データ削除規程	ホワイトペーパ開示	ホワイトペーパ開示	ホワイトペーパ開示	ホワイトペーパ開示	ホワイトペーパ開示
	準拠法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規
	管轄裁判所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内・海外
信頼性	SLA	×	×	×	×	○
	実績稼働率	その他	その他	その他	その他	その他
	目標稼働率	○	○	○	○	○
	ストレージ	○	○	○	○	○
	バックアップ	×	×	×	×	○
	データ暗号化	○	○	○	○	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	○	○	○	○
	VPN接続	○	○	○	○	○
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	○	○	○	○	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	Q&A対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる	プランにより異なる
	コンタクト方法	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
	サービス停止の通知	無	無	無	無	無
	ログの開示	○	○	○	○	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 8

カタログ掲載情報	掲載区分	4．情報インフラ系				
	項番	4.（15）	4.（16）	4.（17）	4.（18）	4.（19）
	掲載ページ	92	94	96	98	100
製品・サービス名		Amazon Kinesis	Amazon Route 53	USiZE	SINET接続サービス	さくらのクラウド
提供企業名		Amazon Web Services	Amazon Web Services	ＳＣＳＫ	さくらインターネット	さくらインターネット
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	—	○	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	○	—	○
	PaaS	○	—	○	○	—
	SaaS	—	○	○	—	—
利用用途分類	教育支援	○	○	—	○	○
	研究支援	○	○	—	○	○
	事務支援	○	○	—	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	—	○	○
契約実績	民間	100万超	100万超	約400社	非公開	非公開
	大学	1万超	1万超	10校	非公開	非公開
契約	申込方法	WEBサインアップ	WEBサインアップ	契約書	申込書	注文書、WEB
	利用開始までの時間	15分	15分	即日～10営業日	1ヶ月程度	即時
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	その他	その他	○	○	○
	データ保管場所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内	国内
	データ削除規程	ホワイトペーパ開示	ホワイトペーパ開示	○	○	○
	準拠法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内・海外	国内・海外	国内・海外	国内	国内
信頼性	SLA	×	○	×	×	○（99.95%）
	実績稼働率	その他	その他	○（99.993%）	非公開	非公開
	目標稼働率	○	○	○（99.993%）	非公開	非公開
	ストレージ	○	○	○	—	○
	バックアップ	×	×	○	○	○
	データ暗号化	○	×	ご相談	×	×
	暗号化通信	○	×	ご相談	○	○
機能	SINET接続	○	×	×	○	○
	VPN接続	○	×	○	○	○
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	○	×	ご相談	×	×
	管理ツール	○	○	モデル毎に異なる	×	○
	API公開	○	○	モデル毎に異なる	×	○
保守運用	障害対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	24H×365D	24H×365D	24H×365D
	Q&A対応時間帯	プランにより異なる	プランにより異なる	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール・チャット	電話・メール・チャット	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
	サービス停止の通知	無	無	有	1週間前	1週間前
	ログの開示	○	○	○(モデルに依存)	×	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表９

カタログ掲載情報	掲載区分	４．情報インフラ系				
	項番	４．（２０）	４．（２１）	４．（２２）	４．（２３）	４．（２４）
	掲載ページ	102	104	106	108	110
製品・サービス名		さくらのVPS	さくらの専用サーバ	Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション	Cisco Umbrella	FortiCloud
提供企業名		さくらインターネット	さくらインターネット	シスコシステムズ	シスコシステムズ	Fortinet
製品・サービス区分	サービス	○	○	—	○	○
	製品	—	—	○	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	—	○
	プライベート	—	—	—	○	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	○	○	—	—	—
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	—	—	○	○	○
利用用途分類	教育支援	○	○	—	—	—
	研究支援	○	○	—	—	—
	事務支援	○	○	—	—	—
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	—	—	—
契約実績	民間	非公開	非公開	多数	多数	40万以上
	大学	非公開	非公開	多数	非公開	多数
契約	申込方法	注文書、WEB	注文書、WEB	営業問合せ	代理店	注文書、代理店
	利用開始までの時間	即時	即時～数営業日	ご相談	数日	即日
	約款の有無	○	○	ご相談	代理店による	ご相談
	契約修正の可能性	○	○	ご相談	○	ご相談
	データ保管場所	国内	国内	国内・海外	国内	海外
	データ削除規程	○	○	○	○	—
	準拠法	日本国法	日本国法	—	日本国法	海外法規
	管轄裁判所	国内	国内	—	—	海外
信頼性	SLA	×	○（99.95%）	○（99.99%）	×	×
	実績稼働率	非公開	非公開	非公開	○(100%)	非公開
	目標稼働率	非公開	非公開	○（99.99%）	○（99.999%）	○（99.99%）
	ストレージ	○	○	○	○	○
	バックアップ	○	×	○	○	○
	データ暗号化	×	×	○	×	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	○	ご相談	×	×
	VPN接続	○	○	○	×	×
	学認対応	×	×	ご相談	×	ご相談
	LDAP連携	×	×	○	×	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	×	×	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	24H×365D	24H×365D	営業時間帯	問合せ
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H×365D	平日営業時間帯	問合せ
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール・管理ツール	メール	メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	問合せ
	計画停止の頻度	不定期	不定期	停止無し	不定期	問合せ
	サービス停止の通知	1週間前	1週間前	×	緊急時数日前	問合せ
	ログの開示	×	×	問合せ	○	問合せ
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表１０

カタログ掲載情報	掲載区分	4．情報インフラ系				5．その他
	項番	4.（25）	4.（26）	4.（27）	4.（28）	5.（1）
	掲載ページ	112	114	116	118	122
製品・サービス名		Amazon Web Service向けパブリッククラウド セキュリティ	MS Azure向けパブリッククラウドセキュリティ	FortiCWP、FortiCASB	WisePoint Shibboleth v7	IT資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE
提供企業名		Fortinet	Fortinet	Fortinet	ファルコンSC	内田洋行
製品・サービス区分	サービス	—	—	○	○	○
	製品	○	○	—	○	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	—	—	○	○
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	○	○	○	○	—
	PaaS	○	○	○	—	—
	SaaS	—	—	—	—	○
利用用途分類	教育支援	—	—	—	—	—
	研究支援	○	○	○	—	—
	事務支援	—	—	—	—	—
	情報インフラ	○	○	○	○	—
	その他	—	—	—	—	○
契約実績	民間	多数	多数	非公開	360社	約70社
	大学	非公開	非公開	非公開	40校	約50校
契約	申込方法	代理店・WEB	代理店・WEB	代理店・WEB	注文書	営業問合せ
	利用開始までの時間	即日	即日	即日	1週間	5営業日(SaaS)
	約款の有無	—	—	ご相談	—	○
	契約修正の可能性	—	—	ご相談	—	○
	データ保管場所	国内・海外	国内	海外	—	国内
	データ削除規程	AWS仕様に準じる	—	—	—	○
	準拠法	海外法規	海外法規	海外法規	—	日本国法
	管轄裁判所	海外	海外	海外	—	国内
信頼性	SLA	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	—	—	○(約款による)
	実績稼働率	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	—	—	○(99.99%以上)
	目標稼働率	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	—	—	○(99.9%)
	ストレージ	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	—	—	○
	バックアップ	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	—	—	○
	データ暗号化	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	—	—	×
	暗号化通信	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	—	—	○
機能	SINET接続	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	×	—	ご相談
	VPN接続	○	○	×	—	○
	学認対応	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	×	○	ご相談
	LDAP連携	アプリ依存	アプリ依存	×	○	○
	管理ツール	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	○	○	○
	API公開	○	○	○	×	×
保守運用	障害対応時間帯	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	ご相談	平日営業時間	営業時間帯
	Q&A対応時間帯	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	ご相談	平日営業時間	営業時間帯
	コンタクト方法	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	ご相談	—	無制限
	計画停止の頻度	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	ご相談	—	年2回程度
	サービス停止の通知	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	ご相談	—	2週間前
	ログの開示	AWS仕様に依存	Azure仕様に依存	ご相談	○	○
	第三者認証取得状況	—	—	○	—	○

比較表１１

カタログ掲載情報	掲載区分	**５．その他**				
	項番	５．（２）	５．（３）	５．（４）		
	掲載ページ	124	126	128		
製品・サービス名		ソフトウェア配布提供システムDownload Station	Microsoft Office学生向け特別プランU365	Cisco Unified Computing System（UCS）		
提供企業名		内田洋行	内田洋行	シスコシステムズ		
製品・サービス区分	サービス	—	—	—		
	製品	○	—	○		
	その他	—	○	—		
クラウド区分	パブリック	—	○	—		
	プライベート	○	—	○		
	その他	—	—	—		
パブリッククラウド区分	IaaS	—	—	—		
	PaaS	—	—	—		
	SaaS	—	○	—		
利用用途分類	教育支援	—	—	—		
	研究支援	—	—	—		
	事務支援	—	—	—		
	情報インフラ	—	—	○		
	その他	○	○	—		
契約実績	民間	非公開	—	多数		
	大学	非公開	約170校	多数		
契約	申込方法	営業問合せ	営業問合せ	注文書・代理店		
	利用開始までの時間	5営業日	10営業日	代理店に依存		
	約款の有無	○	×	○		
	契約修正の可能性	○	×	代理店による		
	データ保管場所	導入環境に依存	国内	—		
	データ削除規程	ご相談	○	—		
	準拠法	導入環境に依存	日本国法	日本国法		
	管轄裁判所	国内	国内	国内		
信頼性	SLA	導入環境に依存	○	—		
	実績稼働率	導入環境に依存	○(99.99%以上)	—		
	目標稼働率	導入環境に依存	○(99.9%)	—		
	ストレージ	導入環境に依存	○	—		
	バックアップ	○	○	—		
	データ暗号化	×	○	—		
	暗号化通信	○	○	—		
機能	SINET接続	ご相談	×	—		
	VPN接続	○	×	—		
	学認対応	ご相談	×	—		
	LDAP連携	○	×	○		
	管理ツール	○	×	○		
	API公開	×	×	○		
保守運用	障害対応時間帯	営業時間帯	営業時間帯	24H×365d、8H/D		
	Q&A対応時間帯	営業時間帯	営業時間帯	24H×365d、8H/D		
	コンタクト方法	電話・メール	メール	電話・メール・他		
	対応インシデント数	無制限	無制限	—		
	計画停止の頻度	導入環境に依存	年1回程度	—		
	サービス停止の通知	運用規定に依存	2週間前	—		
	ログの開示	○	×	—		
	第三者認証取得状況	○	○	—		

7．大学におけるクラウド導入事例

クラウドソリューションの具体的な適応事例として、大学等におけるクラウド導入事例は様々な示唆に富んでいると思われる。そこで各ソリューションベンダから大学等におけるクラウド導入事例を提出いただき掲載する。

Case Study　学校法人 常翔学園 様

学園全体の情報戦略部門を設置
ICT基盤のクラウド化と働き方改革を推進

富士通のUnified-Oneのコンセプトと学園構想が合致し、パートナーシップを強化

導入ソリューション　●FUJITSU Server PRIMERGY RX2530 M4　●FUJITSU Notebook LIFEBOOK U938/T　●FUJITSU 文教ソリューション CoursePower　●FUJITSU 文教ソリューション Campusmate-J　●FUJITSU 文教ソリューション Unified-One アカデミッククラウド　●FUJITSU 文教ソリューション Unified-One 統合データベース　●FUJITSU 文教ソリューション iLiswave-J　●FUJITSU 文教ソリューション Musetheque　●FUJITSU 文教ソリューション 統合ID管理

常翔学園では、運営する3大学、2高校、2中学におけるICT運用の最適化に向けて、学園の情報部門を改組し、2017年4月に学園本部に「ICT連携機構」を設置しました。それに合わせて「Unified-One アカデミッククラウド（以下、アカデミッククラウド）」を中心としたハイブリッドクラウドを基盤に、各学校のシステムの集約を進めるとともに、働き方改革の実現に向けた次の一歩を踏み出そうとしています。

DATA

大阪工業大学
OIT梅田タワー

学校法人 常翔学園
学校法人 常翔学園
https://www.josho.ac.jp/

所在地：〒535-8585 大阪府大阪市旭区大宮5-16-1
教職員数：1,787名（2018年5月1日現在）
学生・生徒数：23,329名（2018年5月1日現在）
概要：3大学、2高校、2中学に学生・生徒約23,000人が集う総合学園である常翔学園では、96年の蓄積と、卒業生約29万人のネットワークを力に、2022年の創立100周年に向けて、次の日本を創る総合学園としてさらなる成長を目指しています。

導入の背景

さらなるICT活用を目指し学園のIT組織を改組

学校法人常翔学園は1922年に創設した関西工学専修学校にルーツを持ち、現在では大阪工業大学、摂南大学、広島国際大学の3大学のほか、2高校、2中学を擁し、総勢で約23,000人以上の学生・生徒が集う総合学園です。

現在は2022年の学園創立100周年に向けた基本構想「J-Vision 22」のもと、「連携」「戦略」をキーワードに、より透明性の高い経営を推し進め、「質」「量」ともにバランスのとれた魅力ある教育の実現に取り組んでいます。

2017年4月に学園の情報部門全体を改組し、学園本部にICT連携機構を設置しました。ICT連携機構 部長の正司久博氏はその背景をこう振り返ります。

「それぞれ特色のある教育を実践する3大学の独自性は維持しながら、情報システムに関連する職員の働き方やコストの最適化を目指し設置しました。そのため各大学の情報センターは残し、その室長をICT連携機構の課長が兼ねるようにするとともに、係長以下の職員を各大学の情報センターに配置し、各拠点で業務を行なっています。IT組織の改革に当たって重要な役割を果たしてくれたのが富士通のフィールド・イノベータです。問題点や課題を洗い出してもらいながら一緒に整理していきました」

導入のポイント

Unified-Oneコンセプトに共感

一方でシステムの最適化に向けて学園では、学園内の各種事務系システムの基盤として、富士通が提供するパブリッククラウドサービス(IaaS)であるアカデミッククラウドとオンプレミスの基盤を組み合わせたハイブリッドクラウドを構築しました。

「もともと、レガシーシステムからオープン系へシフトする時代に富士通に深く関わってもらった頃から、さまざまなICT活用が加速し始めました。そうした中、2017年のリプレース期に合わせて、一部はオンプレミス

導入前の課題

- 学園全体の情報システムのコスト最適化を目指し、学園共通の情報システム基盤と管理体制を構築したい
- 災害時にも授業を継続できるようBCP対策を実現したい

導入後の効果

- パブリッククラウドで各種情報システムの共通基盤を構築し、学園全体の情報の可視化と共有を実現
- 広島国際大学では「CoursePower」のライセンスを拡張し、場所を問わない学習環境を提供

> 富士通からは、単なるシステム提案だけでなく、学園の未来のビジョンを踏まえた本質的な提案をしていただけました

学校法人 常翔学園
ICT連携機構
部長
正司 久博 氏

の環境を残しながらも、クラウドシフトを進めたのです。アカデミッククラウドを採用した理由は、長期契約による無理のないコストや安心感です。また、教育・研究・経営に新たな価値をもたらす『これからの大学ICT』を実現するという、富士通のUnified-Oneコンセプトも学園の目指すところと合致していました」（正司氏）

導入の効果

ハードのリプレースが不要に BCP対策や情報共有も加速

現在、図書館情報システム「iLiswave-J」をはじめとした各種システムがアカデミッククラウド上で稼働しており、2019年度中に人事給与システムなどの稼働も予定しています。「これまでは5年に1回ハードウェアのリプレースが必要でしたが、これからはそのことを考えなくてもよくなったので、コスト面でも効果は大きいですね」と正司氏は話します。

また同じくアカデミッククラウド上に構築している教職員情報共有サイトでは、教職員の誰でも情報提供できるようにしたことで、学園全体の動きの情報の可視化と共有が進みました。

さらに広島国際大学では、2018年の西日本豪雨での影響によって、一時的に授業を行えない事態に見舞われましたが、学修支援システム「CoursePower」を利用して、学生の自宅学習を実施しました。

「広島国際大学では、災害をきっかけに限定していたCoursePower利用ライセンス数を無制限に変更し、場所を問わない学習環境を確立しました。災害時であっても学生たちが授業を受けられるようにするというのは学園設置学校に共通した課題ですので、現在、各大学にBCP対策を促しているところです」（正司氏）

今後の展望

働き方改革推進に向け 富士通とパートナーシップを強化

今後、常翔学園ではアカデミッククラウド上へのシステムの集約をさらに進めるとともに、教職員のモバイルノートPC活用など、さらなる働き方改革に注力していきます。既に富士通が提供する「働き方改革ワークショップ」を活用し、学園全体の働き方改革実現に向けて一歩を踏み出しています。

「他社と違って富士通のメンバーは、単なるシステム提案にとどまらず、大学の未来を考えるためのビジョン策定の提案や、教育サポートに対してのビジョン提言など、顧客視点での提案をしていただき、感謝しています。働き方改革にICTは切っても切れませんので、具体的な施策が固まったら、そこでも富士通に協力してほしいと願っています」と正司氏は話し、働き方改革の実現に向けて、富士通とのパートナーシップのさらなる強化への期待を語ります。

（2019年3月取材）

常翔学園 事務系ICTシステム環境

FUJITSU Notebook LIFEBOOK Uシリーズ

圧倒的な軽さで最高のモビリティを実現した超軽量モバイルPC
第8世代インテル® Core™ プロセッサー・ファミリー搭載

購入のご相談はこちらまでお問合せください：**富士通コンタクトライン（総合窓口）0120-933-200 受付時間9:00～17:30**（土・日祝日・当社指定の休業日を除く）

VMware Cloud on AWS 事例

ワールドワイドでの主な利用実績

コスト効果のある災害対策

350

仮想マシンを VMware Cloud on AWS へ数日で移行し、既存 DR サイトを閉鎖

PHH MORTGAGE

ミッション クリティカル アプリの移行

ストレッチ クラスタ

30 秒毎に 8,000 台のバスの位置を追跡する 45TB のアプリケーションが動作

Stagecoach

Playtika | PHH MORTGAGE | CERIDIAN | MAGEN DAVID ADOM IN ISRAEL מגן דוד אדום בישראל | BLACK MOUNTAIN | Stagecoach | RoundTower Technologies

ConnectWise | FUJITSU | Playtika | CAL STATE EAST BAY | DXC.technology | HCL | AHEAD

DELL Technologies | AudienceView | FACTION | TREND MICRO | accenture | Capgemini | KEMBA CREDIT UNION

vmware Confidential | ©2019 VMware, Inc.

高等教育機関

オンプレミス データセンターの排除によるコスト削減

地域: 北米
業種: 高等教育機関

About

主要な独立系私立共学の大学で、工学、技術、応用化学、その他の領域の学問を専門としています

Challenges

- 保有するデータセンターの制限されたスペース
- リファクタリングなしにコスト効果の高い方法で 3,000 を超える VM のクラウドへの移行
- 既存のツールとスキルセットの活用

Solution

- アプリのリファクタリングなしにクラウドへの移行
- 迅速なワークロードの移行のために Hybrid Cloud Extension の利用
- 全ての DC を統合しパブリック クラウドへ移行

Impact

- 数千を超えるアプリケーションを僅か数日で移行。200 VM を 96 時間で移行
- データセンターをなくすことによりコストを削減
- 共通のプラットフォームへの迅速かつ簡単なバックアップのレプリケーション

Products

- VMware Cloud on AWS
- VMware Hybrid Cloud Extension

Strategic Priorities

- Integrate with Public Cloud
- Reduced costs

700+ ワークロードを わずか 9 日で移行

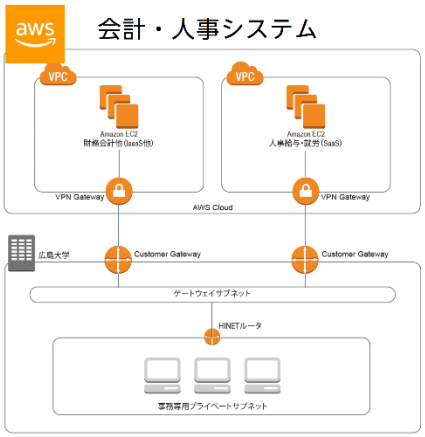
vmware Confidential | ©2019 VMware, Inc.

aws アマゾン ウェブ サービス　大学導入事例

アマゾン ウェブ サービス(AWS)のクラウドプラットフォームは、日本でも数多くのお客様にご利用いただいています。大学における学務、人事・会計のような基幹システムから、教育での利用、研究室での利用といった規模の大小にかかわらず、幅広い用途で採用されています。AWS Educate/Academyを活用した講義等も複数の教育機関で実施されています。こちらではお客様事例の一例をご紹介します。

広島大学

会計・人事システム



・クラウド利用についてのガイドラインを制定。
・運用の自動化 により利用効果を最大化
　- 運用タイムチャートに合わせたインスタンス数・タイプでの利用
　- 運用ルールの明確化とそのコード化
・ Web公開にAmazon S3のWeb配信機能を利用して大幅なコスト削減

IT 活用面での課題

従来はオンプレミスで基幹業務のシステム運用を行っていましたが、物理システムおよびデータの将来的な災害・障害対策をどのように行うかを検討していました。また、システムを拡張するための環境構築も必要であったことに加え、既存のオンプレミスのインフラも経年劣化していたため、刷新する必要がありました。

アマゾン ウェブ サービスが選ばれた理由

「検討にあたっては、クラウドサービス各社と、オンプレミスでの更新での比較を行いました。具体的には他社の導入事例や、プロバイダー側からのサポート情報といったものに加え、以下のような点を重視しました。」

- 業務に応じたサービスの充実度やスペックの拡張性
- 地震などの大規模災害など、BCP（事業継続計画）観点での対策
- データベースや SAP を使った業務システムとの親和性
- サーバーおよび周辺機器の設置場所における空きスペースの確保

「こうした比較検討の結果、拡張性や信頼性の面で AWS が最も使いやすいことがわかりました。また、AWS がSAP ERPを本番環境上で実装可能であるという認証を取得したこともあり、AWS の採用を決定しました。AWSを利用することにより、インフラ構築を迅速に行うことができるため、導入決定から本番環境の稼働まで、SAP 環境で 10 ヶ月ほどでリリースすることができました。」

「また、人事・給与システムや就労管理に、基幹業務システムである「COMPANY」を利用していますが、こちらも移行決定から、3 ヵ月ほどでリリースすることができました。」

https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies/hiroshima-university/

中央大学

研究でのAWSの活用

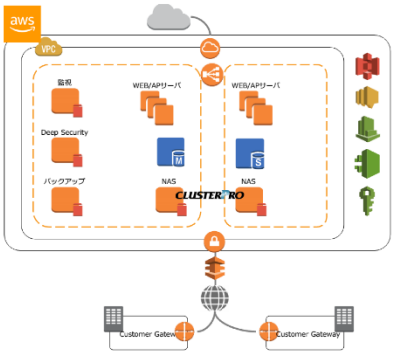
国内外の津波の被災調査やシミュレーション環境、街づくりの研究に必要なHPCの分野においてAWSクラウドを採用。クラウドを活用することで、スーパーコンピュータを用いて行うような高精細で高精度な計算を安全かつ気軽な環境で実現しています。

アマゾン ウェブ サービスが選ばれた理由

「津波の研究において、津波による破壊・避難にかかる計算を行おうとすると、高精細かつ、高精度な計算が必要とされます。他社との比較検討の中で、決め手になったのは、世界中どこでも使えそうだというところに加えて、非常にセキュリティーがしっかりしているというところでの安心感というところです。他方で、コストとしては計算機を購入することと比較すると若干割高なものの、自分たちが使いたいときにその場で使えるというところは非常に大きなメリットを感じています。特に今、大学で働いていますと学生さんたちがたくさんいます。その学生さんたちが自分で決めて計算するというようなことを、すぐに環境をつくっていけるというところは非常に大きなメリットだと考えています。」

「世界中で起きている津波や洪水の災害のために、計算を必要とされている方が実は世界中にいらっしゃってその方々に広くこちらで作った手法が普及するといいなというふうに思っています。その点から、計算機を気軽に使えて、サポートも充実しているというようなところで、そういうような仕組みをつくっていくということを行っていきたいと考えております。」

https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies/chuo-university/



早稲田大学
WASEDA University

全学向けポータルサイト「MyWaseda」

・２つのAZにWeb/APサーバ,DB(RDS),NAS用途サーバをそれぞれ配置
・Web/APサーバについてはELBによりバランシング
・スレーブ側のRDSが存在するAZ上のWeb/APサーバは基本的に待機させておき、スレーブが稼動した際に運用で稼動させる
・RDSについては、Zabbixによりフェイルオーバーするよう構築。
・NAS用途サーバについては、ClusterProで冗長化
・インターネット接続とは別に、学内とのデータ連携等の接続にVPN, Direct Connectを活用してセキュアな通信を可能とした

IT 活用面での課題

MyWasedaは、早稲田大学が提供する各種サービスの入り口となるポータルサイトのことで、PCだけでなくスマートフォンでの表示にも最適化されており、MyWasedaにログインすることで、利用者の資格・属性に応じて「大学からのお知らせの確認」、「メールの利用」、「授業支援システムの利用」、「履修申請・成績確認・研究支援等、各種システムの利用」、「各種資料の閲覧」が可能となる。2011年3月に発生した東日本大震災が転機となった。有事の際に大学内に設置したシステムが被災すれば、大学活動は停止せざるを得なくなる。また、このときは輪番停電が実施され、停電に対する備えが必要であることも痛感したという。だが逆に、システムが遠隔地のデータセンター上にあって被災しなければ、各種サービスはシステム上でも継続できるとの判断から、早稲田大学情報企画部では、「MyWaseda」をAWS化することを決断した。

アマゾン ウェブ サービスが選ばれた理由

「新ポータルサイトをクラウド上で動かしたいというのは、性能要件の変更が柔軟だからです。非常に大規模になることが自明であったため、一番最初に決めたサイジングに縛られてそこから増やせなくなるリスクを回避したいと考えました。国内ベンダーは日本企業だから漠然とした安心感がありますが、そこで実現されているサービスはAWSにも全部ありましたし、何より異なるデータセンター間でマルチサイトクラスタ構成を標準で構築できる点を高く評価しました。東京でいつ大地震が起きるかわかりません。経営からも"システムを止めないように"という指示もあり、事業継続性を担保する意味でAWSを選択しました。」

その他多くの導入事例がございます

対象		概要
教育系基幹システム	AWS Cloud roadshow 登壇: 近畿大学	教育系基幹システムをAWSに移行。その後、業務システムすべてをクラウドに移行を決定。高可用性を重視、海外リージョンにデータのバックアップも置く。
学内基盤システム	AWS summit Tokyo 登壇: 京都大学	情報基盤をAWS上へ移行。各種SaaSサービスと組み合わせて学内向けシステムを構築。
教育用計算機システム	AWS Cloud roadshow 登壇: 九州大学	柔軟かつ利便性の高い教育用計算機が必要。次世代の教育用計算機の整備の際に、ハイブリッド型クラウド環境を提供。2017年からは教育向けシステムもAWSで稼働。
全学向けポータルサイト	AWS summit Tokyo 登壇: 早稲田大学	各種サービスの入り口であるポータルサイトを移行。季節による性能要件の変更が柔軟に可能。異なるデータセンター間でマルチサイトクラスタ構成を構築、事業継続性を担保。
Webサイト/ E-learning	AWS summit Tokyo 登壇: 信州大学	有事の際においても大学機能の継続性を担保することを主目的。対外向けのWeb、E-learningサービスをAWSで運用。全学の機能を移行して行く予定。
ライブストリーミング	AWS Blackbeltにて紹介: 電気通信大学	卒業式・入学式の際のライブストリーミング配信。想定外の大量アクセスにも対応可能。使用する期間だけサービスを立ち上げ、コスト削減。
研究プロジェクト		数十万人規模の動線データに関するデータセットを作成。大規模なデータ処理環境が一時的に必要。データ処理の発生に応じ、必要数分のインスタンスを作成して利用。
流体計算		高機能・高精度流体解析ソルバを実装し、液体ロケットエンジンのターボポンプのテスト解析を実施。
国際共同研究		AWS上でアプリケーションと計算フレームワーク、データの共有。共同研究を効果的に実施。
ゲノム計算		ゲノムの解析基盤として利用。データの安全性(セキュリティ、データプライバシー、基盤)を重視しAWSを選択。
研究室GPU利用		常に新しいGPUを各学生が使用したい。卒修論・学会への論文投稿時期でもリソースを潤沢に利用して研究可能。
バックアップ利用		オンプレミスのストレージのバックアップ先として耐久性の高いAmazon S3を利用。AWS移行の前段としても利用。

アマゾン ウェブ サービス(AWS)は、2006 年に商用クラウドサービスの提供を開始しました。以後、AWSはお客様の声をもとに常に新たな機能の追加を行っています。現在サービス数は165を越え、全世界で数百万のお客様にご利用いただくサービスに成長を続けています。日本国内にある東京リージョンは複数のアベイラビリティゾーン(AZ)で構成、それぞれのAZは地理的・電源的・ネットワーク的に分離された１つ以上の物理的なデータセンターによって構成され高い耐障害性があります。アカデミック向けには、AWS Educate、AWS Academy、Global Data Egress Waiver等の各プログラムが提供されています。また、SINET5とAWS間は専用線にて接続をしており、2014年にSINET4と接続してから、既に60を超える機関/プロジェクトで利用されています。またSINET5とAWSは複数箇所のインターネットエクスチェンジ(IX)にてピアリングしていますので、通常SINETをお使いの機関であればそのままでもインターネットに抜けることなくAWSを利用頂くことが可能です。大学や研究機関内のネットワークとAWS内のVPC(Virtual Private Cloud)等を閉じた環境で接続することが可能であり、基幹系システム、セキュアにデータを取扱う必要のある解析実行環境や研究者間の共同利用で活用されています。物理回線は既に接続済みのため、申請いただいてから利用開始までの時間を短くすることが可能です。

問い合わせ先
アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社　パブリックセクター
https://aws.amazon.com/jp/government-education/
email: aws-jp-pubsec-external@amazon.co.jp

８．クラウドプロバイダ紹介

UCHIDA

株式会社　内田洋行

■ コーポレートビジョン　corporate vision

情報の価値化と知の協創をデザインする

■ 企業理念　corporate philosophy

人間の創造性発揮のための環境づくりを通じて、
より豊かな人間社会実現のために貢献し、
企業の繁栄と社員の幸福を実現する。

経営方針

「働き方変革」「学び方変革」「場と街づくり変革」の実現にむけて

当社グループは、1910年（明治43年）に創業、2020年に110周年を迎えます。

その歴史の中で、民間・公共の多様なお客様とお取引関係を培ってまいりました。また、売上の構成比率はおよそ60%となるICT関連ビジネスを基盤としつつ、その他40%を環境構築関連ビジネスが占めるユニークな事業構成をもちます。

この多様なお客様とのお取引関係とユニークな事業構成をリソースとしまして、2020年以降に想定される社会・産業構造変化のSociety5.0実現に向けて、お客様の新たな課題を解決すべく「働き方変革」「学び方変革」「場と街づくり変革」の事業創造に取り組んでまいります。

働き方変革
― 知的生産性向上 ―

1989年より「知的生産性研究所」にて、オフィスワーカーの知的生産性向上に関する調査・研究に取り組み、大手企業や官公庁・自治体のお客様向けに、生産性が向上するオフィスづくりや、それを支援するITシステム構築に取り組んでいます。

学び変革
― 主体的学び ―

1998年より「内田洋行 教育総合研究所」にて、省庁から学校現場まで幅広く協同で教育研究を進め、小中高大を中心にアクティブ・ラーニングを実現するこれからの新しい教育環境づくりに取り組んでいます。

場と街づくり変革
― 地方創生・都市活性化 ―

地域の企業、自治体・大学・図書館等の公共施設による、人が集まる場の空間の設計・デザイン、そして、それをバックエンドで支えるICT環境を整備し、地域活性化を支援していきます。

学び方変革の実現に向けて

～内田洋行グループ教育ICTビジネスのご紹介～

大学 ICT

大学・専門学校向けに、進化した学びの場をつくる

- アクティブ・ラーニング環境、学内ネットワーク・PC教室・CALL教室等の情報インフラ構築と運用管理業務支援サービスの提供。
- 学生サービス向上に寄与する証明書発行システム「PAPYRUSMATE（パピルスメイト）」、ソフトウェアライセンス「U365」の学割提供。

小樽商科大学

法政大学 市ヶ谷田町校舎 スタジオHAL

大学コンサルティング

大阪工業大学

大学の新設や学部学科設置の申請支援

- 大学の学部設置・改組転換の認可申請における支援と情報提供。
- 最適な学修空間を構築するために校具備品教具、ICT 関連品のトータルプランニングと提供。

公共クラウドサービス

学校・自治体・地域をシームレスにつなぐクラウドサービス

- 教育、自治体のIT業務を高いセキュリティで運用するクラウドマネージドサービス。
- お客様のニーズに合ったクラウド基盤（Amazon Web Services, Microsoft Azure, NIFCLOUD,LGWAN）サービスを提供。
- 深い業務知識と先進技術を持ったウチダのシステムエンジニアが、企画・設計・導入から保守までワンストップでサービス提供。

UCHIDA Public Cloud Service ウチダ公共クラウドサービス

教育 ICT（小学校～高等学校）

アクティブ・ラーニング環境の構築、ICT授業支援、校務支援システムの提供

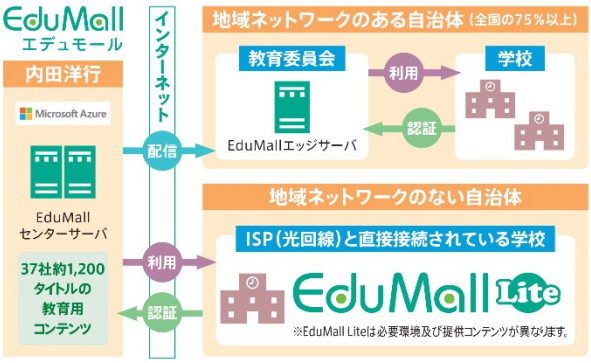
- 電子黒板や１人１台タブレットPC等のICTを活用するための学習環境構築。
- クラウド型の教育用コンテンツ配信サービス「EduMall（エデュモール）」。
- 先生の働き方改革につながる統合型校務支援システムの提供。
- 学校ヘルプデスクの運用、保守サービス、ICT支援員の派遣や授業設計。
- 高等学校を中心とした語学支援システム。

群馬県前橋市立城南小学校

横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校

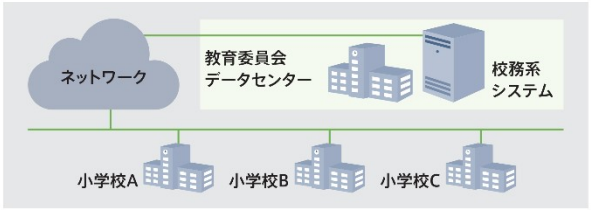
教育用コンテンツ配信サービス「EduMall（エデュモール）」

- デジタル教科書や動画、ドリル・アニメーション、プリント教材等、コンテンツメーカー各社が提供する豊富なコンテンツを年間契約で利用できるクラウド型配信サービス。
- 導入実績：約333自治体5,400校（2019年８月現在）



教育委員会ネットワーク・サーバ構築

- 統合型校務支援システムの構築。
- 教育系イントラネットの設計・構築。
- 校務系と教育系のデータ連携。



ICTシステムを活用した図書館ソリューション

読書通帳機

図書館システムと読書通帳機で利用者の充実を図る

- 全国の公共・大学図書館に、ICタグを活用した自動貸出機や蔵書点検等のICTソリューション「ULiUS（ユリウス）」を提供。
- 図書館システムと連携して読書履歴データを通帳に印字する「読書通帳機」の導入。

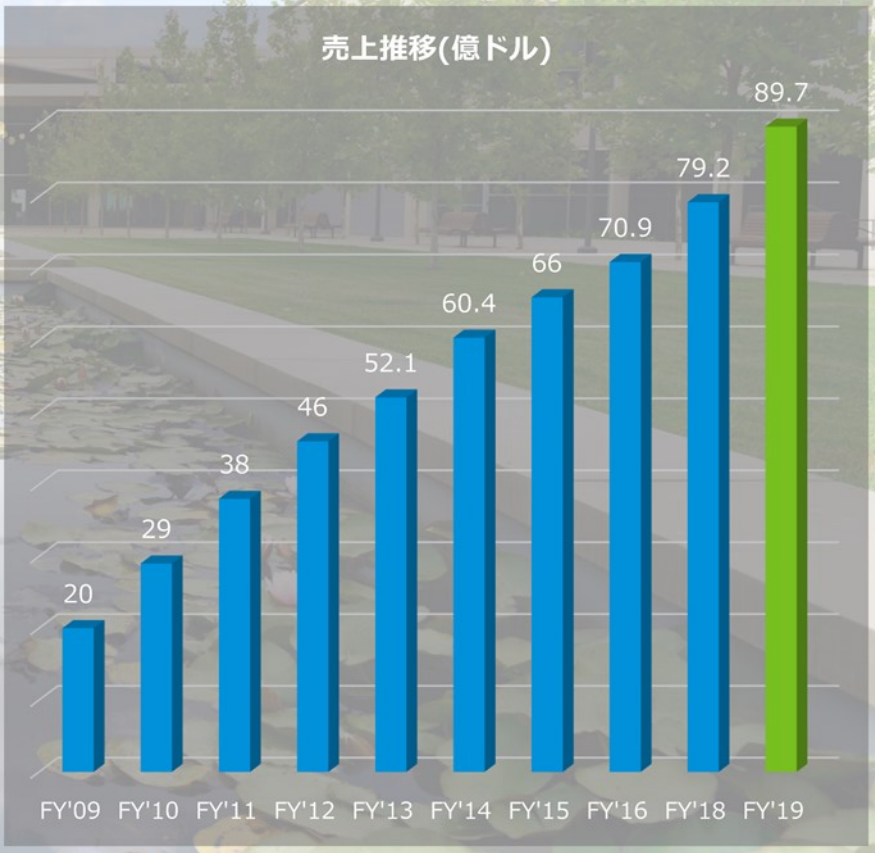
VMware企業概要

設立：	1998 年
従業員数：	24,193人
本社所在地：	米国カリフォルニア州パロアルト
顧客数：	500,000+社
パートナー数：	75,000+社

2018年度売上高：89.74億ドル

前年度比成長率： 14%

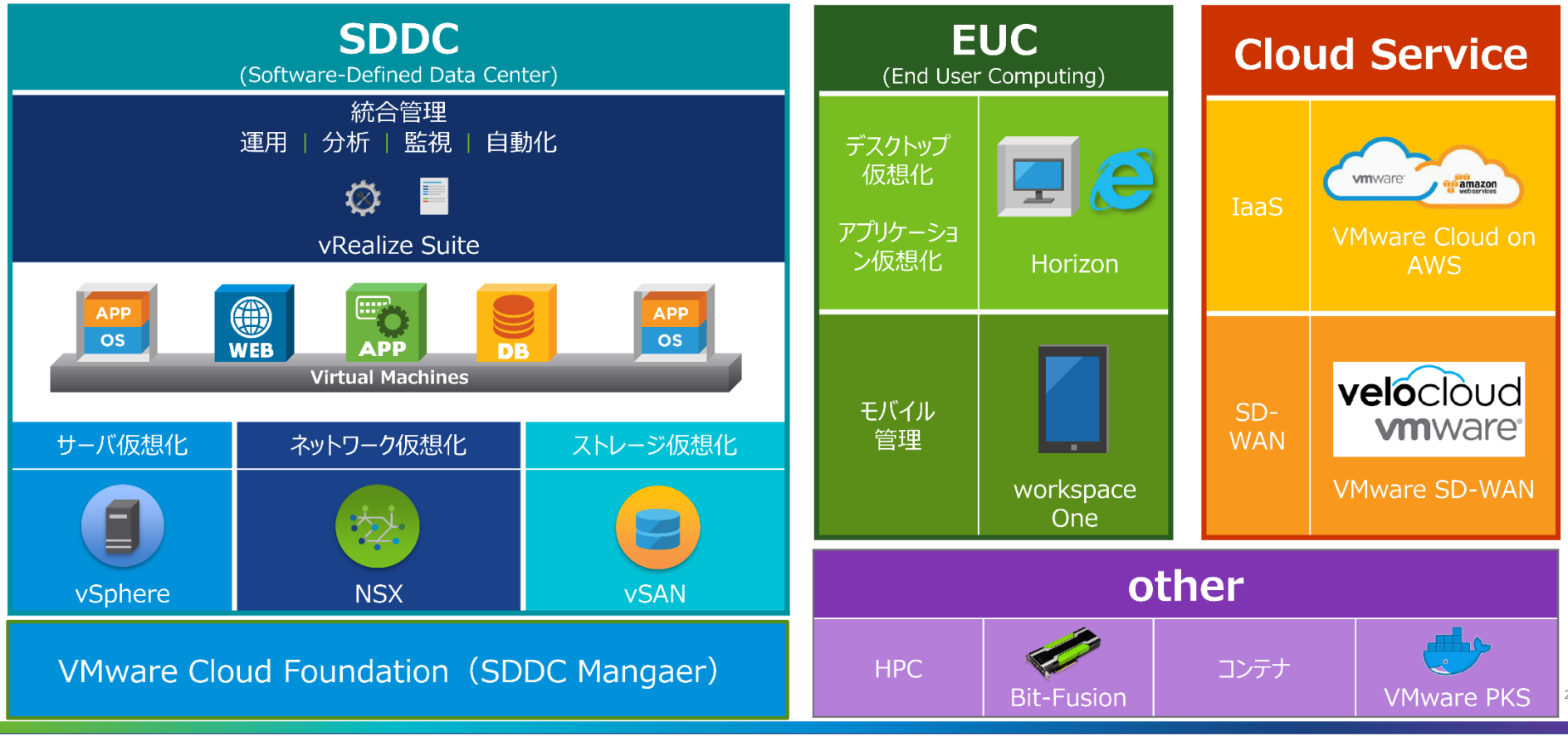
日本法人設立：	2003年
本社所在地：	東京都港区浜松町
国内営業拠点：	大阪、名古屋、福岡



弊社の基本情報

VMwareのソリューションポートフォリオ

仮想化のパイオニアとして培った仮想化技術をベースに、ITインフラの全領域を最適化



さくらインターネット株式会社のご紹介

SAKURA internet

すべては日本のインターネットと、新しいビジネスに挑むお客様のために

どこより低価格で、
どこよりも高品質なサービスを実現したい

日本にインターネットが本格的に普及し始めた1996年から、私たちさくらインターネットは、このシンプルな理念のもとでデータセンターサービスを提供して来ました。その間、私たちを取り巻く環境は大きく変わりました。これまで日本経済を支えてきた製造業はより厳しい国際競争にさらされる中で、インターネットビジネスをはじめとするITサービスの分野では日本から世界へ事業を広げようとする企業がいくつも生まれています。

この先の日本経済を支える産業はITサービスやソフトウェアになっていくと考えています。まさに産業構造の転換期にある日本において、これから世界とたたかおうとする日本企業を、ベストサービス・ベストプロダクトで応援していく。それが私たちのミッションです。

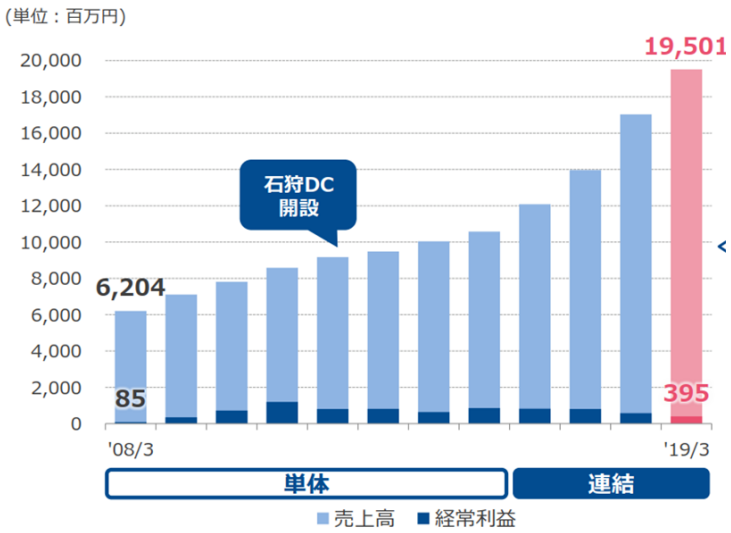
そして、私たちの生活する社会にとっても、インターネットは不可欠な存在となりました。日本を代表するデータセンター事業者として、インターネット社会を支え、さらなる発展に貢献していくことが、私たちに課せられたもう一つの使命です。それらを実現するのが、高品質を実現する技術力と低価格を実現する事業スケールです。

「すべては日本のインターネットのために」
私たちはこれからも、スケールメリットと柔軟性を兼ね備えたコスト競争力の高いITインフラで、海外のインフラ事業者とも肩を並べるサービスを、開発・提供していきます。

代表取締役社長
田中邦裕

日本のインターネットの発展に貢献します
これまでも、これからも

業績推移



会社概要

商号	さくらインターネット株式会社
本社所在地	大阪市北区大深町4番20号
創業年月日	1996年12月23日 （会社設立は1999年8月17日）
上場年月日	2005年10月12日（マザーズ） 2015年11月27日（東証一部へ市場変更）
資本金	22億5,692万円
従業員数	652名（連結）

（※2019年3月末日現在）

さくらインターネット株式会社のTOPIC

SAKURA internet

IoT

注力ポイント

引き続き顧客の活用支援・促進に注力

直近の取り組み

●当社参画のIoT活用の取り組みが、総務省「ICT地域活性化大賞2019」の「大賞/総務大臣賞」を受賞

石狩振興局と民間企業の合同の、IoT活用で灯油配送を効率化する取り組みについて受賞。当社はLTEネットワークに「sakura.io」を提供

取り組み概要イメージ図

●配送システムの効率化、配送業務の負担軽減等

AI・高火力

注力ポイント

当社グループ間の連携で公共、テックベンチャー案件を獲得

直近の取り組み

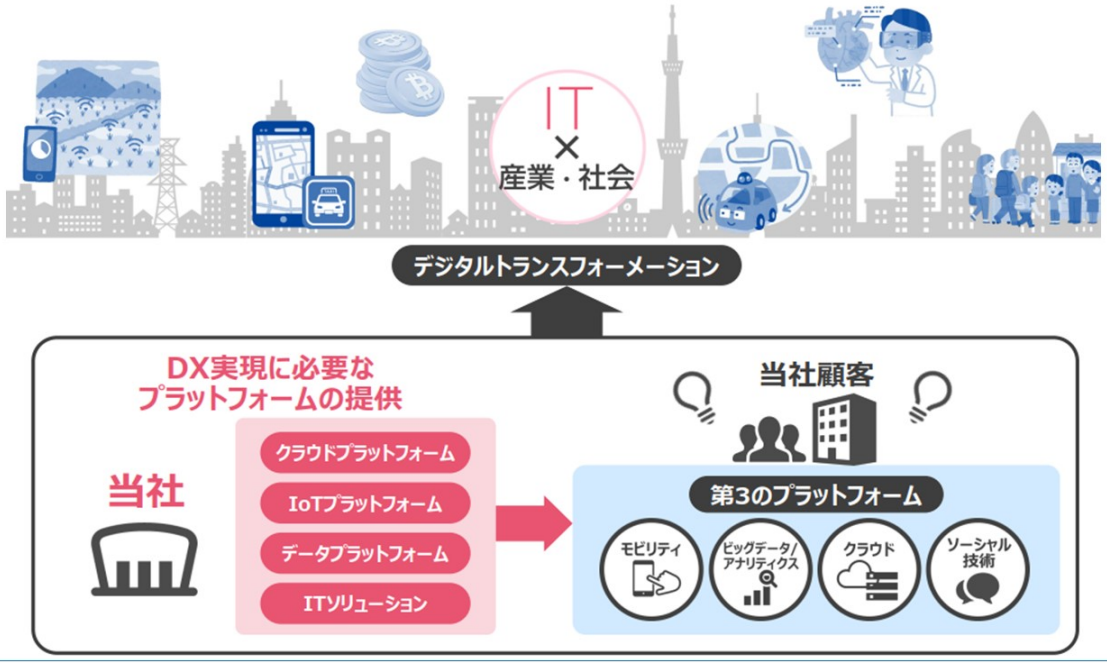
●高火力コンピューティングサービスの大型案件受注

国立研究開発法人情報通信研究機構より期間総額約25億円（期間：2019年2月~2021年3月）で、ディープラーニング翻訳高度化のための高火力コンピューティングサービスの提供案件を受注（2月）

●その他、公共分野・大企業向けの高火力コンピューティング案件を複数受注

さくらインターネット株式会社の目指すもの

当社はDX（デジタルトランスフォーメーション）を支える プラットフォーマーになる



企業別索引（五十音順）

〈A〉

Amazon Web Services Inc.

Amazon WorkSpaces　18
Amazon Chime　20
AWS IoT Core　36
AWS RoboMaker　38
Amazon SageMaker　40
アマゾン ウェブ サービス(AWS)　74
Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)　76
Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)　78
Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)　80
Amazon Redshift　82
Amazon EMR　84
Amazon Elasticsearch Service　86
AWS Lambda　88
Amazon DynamoDB　90
Amazon Kinesis　92
Amazon Route 53　94
[事例]アマゾン ウェブ サービス 大学導入事例　148

〈F〉

Fortinet Inc.

FortiCloud　110
Amazon Web Service 向けパブリッククラウドセキュリティ　112
MS Azure 向けパブリッククラウドセキュリティ　114
FortiCWP、FortiCASB　116

〈S〉

SCSK 株式会社

Prime Learning　16
DreamCampus for Cloud（ドリームキャンパス）　58
USiZE（ユーサイズ）　96

〈ウ〉

ヴイエムウェア株式会社

VMware Cloud™ on AWS　64
[事例] VMware Cloud™ on AWS 事例　146
[プロバイダ紹介]　154

内田洋行

証明書学外発行サービス　44
codemari クラウドサービス　46
IT 資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE　122
ソフトウェア配布提供システム Download Station　124
Microsoft Office 学割特別プラン U365　126
[プロバイダ紹介]　152

〈エ〉

エイチ・シー・ネットワークス株式会社

オールインワン型 USB ビデオ バー　22

〈サ〉

さくらインターネット株式会社

さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス　32
さくらのセキュアモバイルコネクト　34
SINET 接続サービス　98
さくらのクラウド　100
さくらの VPS　102
さくらの専用サーバ　104
[プロバイダ紹介]　156

〈シ〉

シスコシステムズ合同会社

Cisco WebEx，Cisco TelePresence　24
Cisco Webex Teams，Cisco Webex Board　26
Cisco Meraki クラウド管理型 IT ソリューション　106
Cisco Umbrella　108
Cisco Unified Computing System(UCS)　128

〈ヒ〉

株式会社日立製作所

TWX-21 MRO 集中購買サービス　60
エンタープライズクラウドサービス　68
フェデレーテッドクラウド　70
出前クラウドサービス　72

〈フ〉

ファルコンシステムコンサルティング株式会社

WisePoint Shibboleth on CLOUD　118

富士通株式会社

FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス　30

iLiswave-J 図書館クラウド　48

[事例]学校法人常翔学園　144

〈ニ〉

日本電気株式会社

ＮＥＣ　神奈川ＤＣ-ＳＩＮＥＴ接続サービス　66

〈リ〉

株式会社リコー

LIMEDIO クラウドサービス　50

RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん　52

RICOH カンタンストレージ活用 for Box/Dropbox/OneDrive for Business　54

カンタンバーコード活用 for Cloud　56

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会　の歩み

主　査　西村浩二（広島大学）
副主査　梶田将司（京都大学）
副主査　滝島繁則（さくらインターネット）

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会は 2012 年 9 月 28 日に活動を開始いたしました。そして大学 ICT 推進協議会の中でも活発な活動を行っている部会の一つだと自負しております。

本部会では、大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催、定期的な部会会合を通じてアカデミッククラウドに関する情報発信及び情報共有を推進して参りました。また、関係機関と協力してアカデミッククラウドに関する研究とその普及にも取り組んで参りました。

クラウド部会の活動履歴を以下に記します。

■大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催

年度	企画セッションの内容
2012年度年次大会	「大学向けクラウド利用のニーズとシーズ」 「安否確認システムの共同開発・共同利用における現状と課題」
2013年度年次大会	「学術インタークラウド基盤の実現に向けて」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」
2014年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（１）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（２）」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2014発行・配布
2015年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（１）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（２）」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2015発行・配布
2016年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ１」 「大学向けクラウドソリューションカタログ２」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2016発行・配布
2017年度年次大会	「クラウドソリューション＆ライセンスワークショップ（１）」 「クラウドソリューション＆ライセンスワークショップ（２）」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2017発行・配布
2018年度年次大会	「クラウド導入支援のあり方を考える」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2018発行・配布
2019年度年次大会	「組織のセキュリティポリシーに合致するクラウド環境の作り方」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2019発行・配布

■分科会会合の開催

回数	開催日	会場	他機関との連携等
第1回会合	2012年9月28日	京都大学	
第2回会合	2012年10月31日	学士会館	
第3回会合	2012年12月19日	神戸国際会議場	AXIES2012年度年次大会
第4回会合	2013年2月21日	国立情報学研究所	
第5回会合	2013年5月30日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第6回会合	2013年9月5日	北海道大学	CloudWeek2013
第7回会合	2013年12月20日	幕張メッセ	AXIES2013年度年次大会
第8回会合	2014年5月22日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第9回会合	2014年9月1日	北海道大学	CloudWeek2014
第10回会合	2014年12月1日	AER（アエル）	AXIES2014年度年次大会
第11回会合	2015年5月21日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第12回会合	2015年9月7日	北海道大学	CloudWeek2015
第13回会合	2015年12月4日	ウインクあいち	AXIES2015年度年次大会
第14回会合	2016年5月26日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第15回会合	2016年8月29日	北海道大学	CloudWeek2016
第16回会合	2016年12月14日	京都国際会館	AXIES2016年度年次大会
第17回会合	2017年9月5日	北海道大学	CloudWeek2017
第18回会合	2017年12月14日	広島国際会議場	AXIES2017年度年次大会
第19回会合	2018年3月9日	広島大学	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2018
第20回会合	2018年6月20日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第21回会合	2018年9月3日	北海道大学	CloudWeek2018
第22回会合	2018年11月19日	札幌コンベンションセンター	AXIES2018年度年次大会
第23回会合	2019年2月22日	広島大学	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2019
第24回会合	2019年5月29日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第25回会合	2019年9月2日	北海道大学	CloudWeek2019
第26回会合	2019年12月12日	福岡国際会議場	AXIES2019年度年次大会

以上

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会　ご入会のご案内

全国の大学でアカデミッククラウドの必要性に対する認知度が高まってきております。そのためアカデミッククラウドに関する様々な情報の共有が求められる状況にあります。

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会ではこうした大学のニーズに応えるべく、活動を活性化することを考えております。そのため、ご入会いただける大学会員及び賛助会員（企業会員）の皆様を募集しております。

本部会にご参加いただくことにより、大学会員及び賛助会員の皆様には以下のようなメリットがあると考えられます。

■大学会員のメリット

- クラウドは民間主導で急速な進化の過程にあるテクノロジです。クラウド提供企業から最新の技術動向や技術情報を入手することができます。
- 先進的な大学におけるクラウド導入事例を入手することが可能です。大学でのクラウド導入の留意点や注意点などを学ぶことができます。
- クラウド研究に携わる大学教職員及び企業のクラウド担当者との人脈を構築できます。

■賛助会員のメリット

- 自社のクラウドソリューションを、大学教職員に広報することができます。
- クラウドに対する大学側のニーズをヒアリングすることができます。
- 共同研究、実証実験などを行うパートナとなる大学を探すことができます。

つきましては、本部会へのご入会をご検討くださいますようお願い申し上げます。
入会のお申込み及びお問合せは、以下のメールアドレスまで願い申し上げます。

主査　　西村浩二（広島大学）
副主査　梶田将司（京都大学）
副主査　滝島繁則（さくらインターネット）
ご連絡先：　sig-cloud-core@axies.jp

大学向けクラウドソリューションカタログ２０１９

発行：大学 ICT 推進協議会 クラウド部会
主査　西村浩二　（連絡先）sig-cloud-core@axies.jp
編集：大学 ICT 推進協議会 クラウド部会
クラウドカタログ・ワーキンググループ
担当副主査　滝島繁則　（連絡先）sig-cloud-cat@axies.jp
発行日：２０１９年１２月１２日

※本書掲載内容の無断転載は禁止いたします。